

令和 5 年版
消 防 年 報

長 崎 市 消 防 局

はじめに

昭和23年自治体消防発足以来、火災の予防、警防はもとより、救急、救助から地震、風水害等への対応まで広範囲にわたり、国民の安全の確保に大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、近年、社会経済情勢の変化の中で、自然災害や事故の態様は複雑多様化の傾向を強めてきており、全国各地でも住民の安全・安心を脅かす災害が相次いで発生しています。

こうした中で、災害等から国民の生命、身体及び財産を守るといふ消防の責務は、ますます大きなものとなっていており、住民が安全で安心して暮らせるまちづくりに全力を挙げて取り組んでいるところです。

この令和5年版消防年報は、長崎市消防局の概況・組織と火災・救急等災害活動の概要をとりまとめたものです。

消防関係者はもとよりあらゆる方面の方々に利用していただき、御活用いただければ幸いです。

令和5年8月
長崎市消防局

昭和43年制定



Let's Scan!



長崎市消防隊の歌

作詞 梶 敏史
作曲 馬場 強
編曲 栗町 一郎

勇壮に (J=歩調の定まで)

あ ぼ え さ う い あ り こ け う う の に の つ か れ る せ ま の ほ し み か を は が た と や た
 よ き え ひ み こ る は だ ー が る ー え か す ー る す る こ の の
 は そ う た ら た の の も も ー と と だ ん け つ の
 こ こ ち り ろ も た か る く 消 防 ー の し め い に ひ え て
 か ら ら あ り あ げ 隊 さ い の ひ ま か と さ さ げ て
 ふ る る さ さ き と の の お し ー ん あ い を せ ま ま も る る お お わ れ
 ら は が ま き し 消 防 隊

- (一) 朝あけの 旗の海よ
ひるがえる この旗の下
隊旗の 誇りも高く
消防の 使命に燃えて
ふるさとの 文化を守る
おおわれら 長崎市消防隊
隊旗に 風は舞き
- (二) 見はるかす この空の下
友愛の 精神明るく
救急の 光かざして
ふるさとの しあわせを守る
おおわれら 長崎市消防隊
榮光の 歴史をたたえ
- (三) こだまする この歌の下
たくましく 力もりあげ
防災の 赤旗ささげて
ふるさとの 平和を守る
おおわれら 長崎市消防隊

第1部 ながさき消防の動き

ページ

第1 消防事務遂行のために ページ

1 長崎市消防の組織…………… 1

2 分掌事務…………… 2

3 消防職員…………… 4

4 消防予算…………… 5

5 消防施設等の整備状況…………… 6

6 消防団…………… 7

(1) 年間の主な活動・行事…………… 7

(2) 出動状況…………… 8

(3) 組織…………… 8

(4) 装備…………… 8

(2) 緊急消防援助隊…………… 2 1

(3) その他の災害時相互応援協定の締結 2 1

(4) 国際消防救助隊…………… 2 1

3 救命率の向上…………… 2 2

(1) 救急業務の高度化…………… 2 2

(2) 応急手当の普及…………… 2 2

(3) 救急協力事業所等標章交付制度…………… 2 3

(4) 救命サポートエコバックの配布…………… 2 3

(5) コロナ禍における応急手当の普及啓発…………… 2 4

第2 災害の現状

1 火災…………… 9

(1) 火災件数…………… 9

(2) 火災による死傷者…………… 9

(3) 出火原因…………… 9

(4) 損害額と焼損面積…………… 9

2 救急…………… 1 0

3 救助…………… 1 1

4 その他の災害…………… 1 1

5 119番通報の受信状況…………… 1 2

6 各種電話案内状況…………… 1 2

(1) 休日・夜間当番医の案内…………… 1 2

(2) 災害情報…………… 1 2

第5 教育訓練と安全衛生管理

1 教育訓練…………… 2 5

(1) 消防職員研修…………… 2 5

(2) 消防団員研修…………… 2 6

2 安全衛生管理…………… 2 6

(1) 職場の安全衛生…………… 2 6

(2) 職場の健康管理…………… 2 6

第3 災害を未然に防ぐために

1 広報活動…………… 1 3

2 防火指導…………… 1 4

(1) 住宅防火対策…………… 1 4

(2) 予防査察…………… 1 4

(3) 消防同意…………… 1 4

3 危険物の規制…………… 1 5

4 市民の防火組織…………… 1 5

(1) 婦人防火クラブ…………… 1 5

(2) 少年消防クラブ…………… 1 6

(3) 幼年消防クラブ…………… 1 7

(4) 自衛消防隊連絡協議会…………… 1 7

(5) 危険物安全協会…………… 1 8

5 防災体験ひろば…………… 1 9

第2部 統計編

第1 総括

1 消防局管内情勢図…………… 2 7

2 一目統計…………… 2 8

3 長崎市の平均気温と降水量…………… 2 9

4 市域の変遷…………… 2 9

5 令和4年中の主な行事…………… 3 0

6 長崎市と受託町の人口、世帯数、面積…………… 3 1

7 各署管轄区域別人口、世帯数…………… 3 1

8 消防庁舎の概要…………… 3 2

第2 人事

1 過去10年間の職員・団員の推移…………… 3 3

2 職員の所属別配置…………… 3 3

3 職員の勤続年数等…………… 3 4

(1) 職員の勤続年数…………… 3 4

(2) 職員の年齢別状況…………… 3 5

4 職員の免許・資格等取得状況…………… 3 6

第4 災害から市民を守るために

1 消防活動体制…………… 2 0

(1) 出動計画…………… 2 0

(2) 警防計画…………… 2 0

2 大規模災害時における応援体制…………… 2 0

(1) 消防組織法に基づく消防相互応援協定…………… 2 0

第3 予防

1 消防法施行令防火対象物数…………… 3 7

2 用途別中高層（4階以上）建築物…………… 3 8

3 高層建築物概要（上位10棟）…………… 3 9

4 階数別消防同意状況（棟数）…………… 4 0

5 消防用設備等に関する届出等…………… 4 1

6 火災予防条例等による届出状況…………… 4 2

7 予防査察実施状況…………… 4 3

8 火災予防指導実施状況…………… 4 4

	ページ
9 広報等実施状況	4 4
10 消防同意状況	4 5
(1) 長崎市	4 5
(2) 受託町	4 5
11 危険物施設の現況	4 6
12 危険物関係（少量危険物を除く）許認可・届出状況	4 7
13 危険物施設査察状況	4 8
14 石油類大量貯蔵地区	4 8
15 火薬類許認可等件数	4 8
第4 警防	
1 消防車両等の配置状況	4 9
2 消防自動車等の経過状況	5 0
3 特殊車両等の配置状況	5 1
4 化学消火薬剤等備蓄の状況	5 1
5 特殊機器の保有状況	5 2
6 消防水利の現況	5 4
(1) 消火栓	5 4
(2) 防火水槽	5 4
(3) その他の水利	5 4
(4) 令和4年度の消防水利の整備状況	5 4
7 初期消火用具の配置状況	5 5
(1) 目的	5 5
(2) 配置基準	5 5
(3) 配置数	5 5
(4) 配置状況図	5 5
第5 指令・通信	
1 総合消防情報システムの構成	5 6
2 総合情報システムの概要	5 7
3 救急医療機関電話案内状況	5 9
第6 各種災害の状況	
1 火災の状況	6 0
(1) 火災一目統計	6 0
(2) 火災発生状況	6 1
(3) 月・曜日・時間別火災発生状況	6 2
(4) 過去10年間の火災発生状況	6 3
(5) 過去10年間の出火率	6 4
(6) 過去10年間の出火原因	6 4
(7) 用途別建物火災発生状況	6 5
(8) 令和4年中の主な火災	6 6
(9) 火災による死者の状況	6 6
2 救急の概要	6 7
(1) 救急1目統計	6 7
(2) 救急発生状況	6 8
(3) 月・曜日・時間別救急発生状況	6 9
(4) 管轄署別救急発生状況	7 0

	ページ
(5) 過去10年間の救急発生状況	7 1
(6) 救急隊員が行った応急処置の状況	7 2
(7) 救急資格者別一覧表	7 2
(8) 年齢区分別搬送人員	7 3
3 救助の概要	7 4
(1) 救助一目統計	7 4
(2) 救助発生状況	7 5
(3) 月・曜日・時間別救助発生状況	7 6
(4) 過去10年間の救助発生状況	7 7
第7 消防団	
1 消防団の現勢	7 8
2 消防団員の勤続年数	7 9
3 消防団員の年齢	8 0
4 消防団員数の推移	8 1
5 消防団員の年額報酬	8 1
6 消防団員の出勤報酬	8 1
7 消防団員の公務災害状況	8 1
8 消防団の出勤状況	8 2
9 消防団格納庫所在地一覧	8 3
第8 広域消防	
1 受託町別消防法施行令防火対象物数	8 7
2 受託町別火災予防条例等による届出状況	8 8
3 受託町別消防同意状況（棟数）	8 9
4 受託町別危険物施設数	8 9
5 受託町別危険物関係（少量危険物を除く）許認可・届出状況	9 0
6 受託町別火災発生状況	9 1
7 受託町別救急活動状況	9 2
8 受託町別救助活動状況	9 3
9 受託町別過去10年間の火災発生状況	9 4
10 受託町別過去10年間の救急出場状況	9 4
11 受託町別過去10年間の救助出勤状況	9 4
資料編	
1 昭和20年以降（戦後）の主な建物火災	9 5
2 長崎県の風水害史	9 9
3 長崎県の被害地震一覧	1 0 3
4 長崎消防のあゆみ	1 0 4
5 歴代消防長	1 1 3
6 歴代消防団長	1 1 4

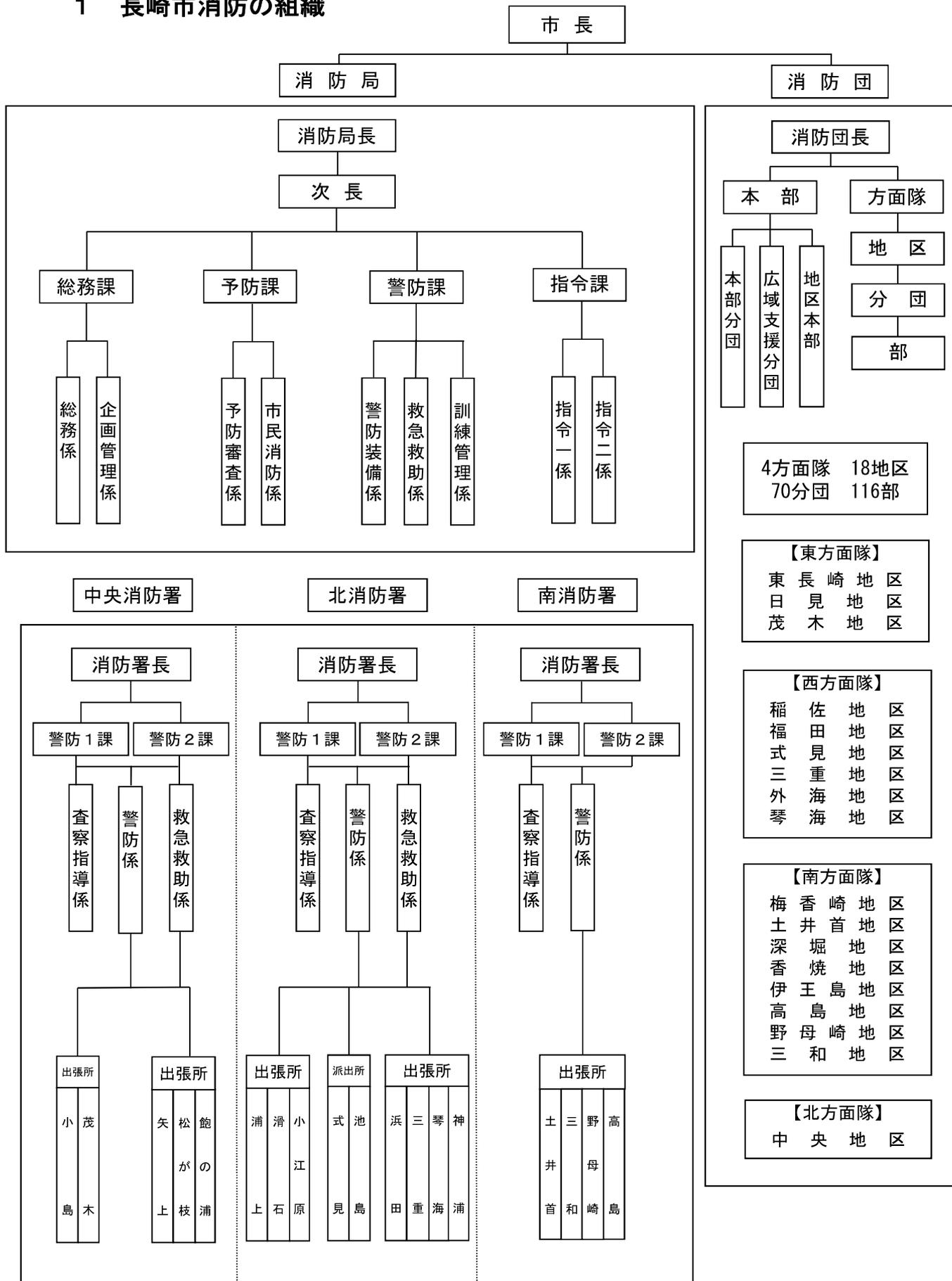
第 1 部

ながさき消防の動き

- 第1 消防事務遂行のために
- 第2 災害の現状
- 第3 災害を未然に防ぐために
- 第4 災害から市民を守るために
- 第5 教育訓練と安全衛生管理

第1 消防事務遂行のために

1 長崎市消防の組織



2 分掌事務

局・署	課	分掌事務
消防局	総務課	(1) 消防局の統括に関する事。 (2) 消防事務に係る企画及び総合調整に関する事。 (3) 公印の管理に関する事。 (4) 例規、通達等に関する事。 (5) 文書の收受等に関する事。 (6) 職員の任免、給与及び服務その他身分に関する事。 (7) 職員の福利厚生に関する事。 (8) 職員及び団員の公務災害補償に関する事。 (9) 職員の教養及び訓練に関する事。 (10) 表彰の事務に関する事。 (11) 予算、決算及び経理に関する事。 (12) 財産の管理及び処分に関する事。 (13) 長崎県消防長会の事務に関する事。 (14) 局内事務の連絡調整に関する事。 (15) 他の課の所管に属しない事務に関する事。
	予防課	(1) 火災予防の計画、広報及び指導に関する事。 (2) 住宅防火対策に関する事。 (3) 消防用設備等の規制に関する事。 (4) 建築物の新築、増築等に伴う消防審査に関する事。 (5) 危険物の規制に関する事。 (6) 火薬類の規制に関する事。 (7) 消防署が行う火災原因調査の支援に関する事。 (8) り災証明（火災に係るものに限る。）の交付に関する事。 (9) 団員の任免、給与及び服務その他身分に関する事。 (10) 団員の福利厚生に関する事。 (11) 市民防火組織の事務に関する事。 (12) その他火災予防事務に関する事。

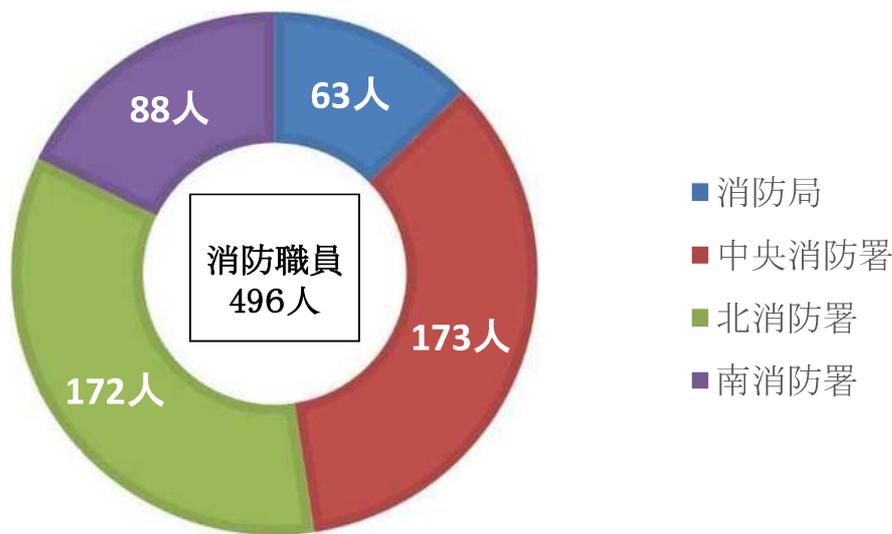
局・署	課	分掌事務
消防局	警防課	<ul style="list-style-type: none"> (1) 警防、救急及び救助の業務に関する事。 (2) 職員及び団員の非常招集に関する事。 (3) 消火栓及び防火水槽などの消防水利に関する事。 (4) 長崎市宅地等開発行為に係る防火水槽の設置等に関する事。 (5) 職員及び団員の研修及び訓練に関する事。 (6) 救急及び救助の統計及び報告に関する事。 (7) 機械器具及び装備の整備に関する事。 (8) 車両及び船舶の整備に関する事。 (9) 緊急消防援助隊等に係る連絡調整に関する事。 (10) 国際消防救助隊に係る連絡調整に関する事。 (11) 防災ヘリコプター、ドクターヘリコプター等に係る連絡調整に関する事。 (12) その他警防事務に関する事。
	指令課	<ul style="list-style-type: none"> (1) 火災及び救急等の119番受信に関する事。 (2) 出動部隊の指令管制及び運用に関する事。 (3) 気象及び災害の情報に関する事。 (4) 総合消防情報システム及び消防救急デジタル無線の運用に関する事。 (5) 電子計算機器の管理に関する事。 (6) その他指令事務に関する事。

局・署	課	分掌事務
消防署		消防署の分掌事務は、火災等の災害現場における警防活動のほかおおむね次のとおりとする。
	警防1課 及び 警防2課	<ul style="list-style-type: none"> (1) 警防、救急及び救助の業務に関する事。 (2) 署員の人事、給与及び服務その他身分に関する事。 (3) 消防施設、車両及び機械器具の維持管理に関する事。 (4) 火災予防の計画、広報及び指導に関する事。 (5) 住宅防火対策に関する事。 (6) 建築物の防火管理に関する事。 (7) 消防用設備等の規制に関する事。 (8) 火災原因調査に関する事。 (9) 火災証明（火災に係るものに限る。）の交付に関する事。 (10) 斜面地等消防活動困難区域などの警防計画に関する事。 (11) 消火栓及び防火水槽などの消防水利の管理に関する事。 (12) 消防団等の訓練指導に関する事。 (13) 市民防火組織の事務に関する事。 (14) 署内事務の連絡調整に関する事。

3 消防職員

長崎市消防局は、令和5年4月1日現在、496人の消防職員（再任用32人含む）で各種災害の警戒・鎮圧及び予防業務等の活動を行っています。

【消防職員の所属別配置人員】



【消防職員の職名と階級別人員】

階級	職名	人数(人)
消防正監	消防局長	1
消防監	消防局次長・消防署長	4
消防司令長	消防局の課長・消防署の課長	10
消防司令	消防局の課長補佐・係長 消防署の課長補佐・係長・出張所長	34
消防司令補	消防局の主任・主事、消防署の主任・主事	102
消防士長	消防局の専門官・主事・係員、消防署の専門官・主事・係員	147
消防副士長	消防局の係員・消防署の係員	81
消防士	消防局の係員・消防署の係員	117
計		496

4 消防予算

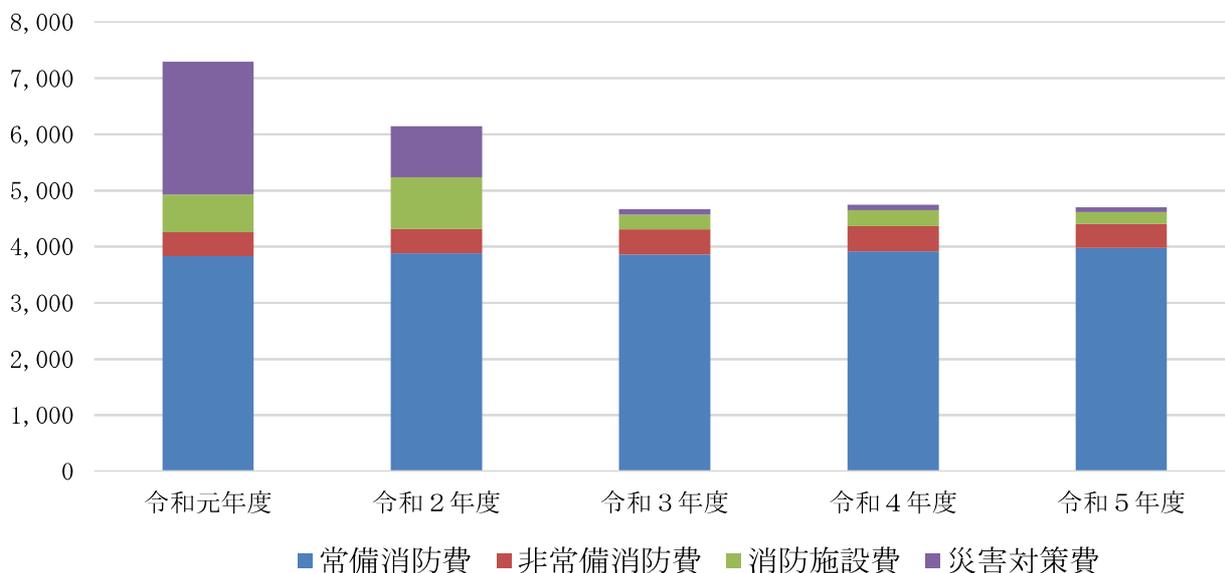
令和5年度の消防予算は約46億9,189万円であり、前年と比較し、1.1%の減額となっています。その内訳としては、消防施設や消防車両等整備による消防体制の充実が主なものです。

【消防予算の費目別内訳】

(単位:百万円)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
常 備 消 防 費	3,829	3,879	3,852	3,912	3,978
非 常 備 消 防 費	429	435	452	448	423
消 防 施 設 費	664	919	262	289	213
災 害 対 策 費	2,363	908	96	97	78
合 計	7,285	6,141	4,662	4,746	4,692

(単位:百万)



5 消防施設等の整備状況

近年の都市化の進展や社会経済の変化に伴い、災害の態様も複雑多様化大規模化しています。このような社会情勢に的確に対応し、地域住民の安全を確保するとともに消防防災対策に万全を期すため、令和4年度も計画的に消防車両、資機材等の整備を図りました。

区分	事業名	数量	摘要
消防車両等	消防ポンプ自動車	3台	中央消防署 矢上小隊 第6分団（今博多町） 第13分団（松が枝町）
	高規格救急自動車	1台	南消防署 三和救急小隊
	小型動力ポンプ積載車	5台	第25分団1部（小江町） 第27分団3部（四杖町） 第28分団5部（現川町） 第34分団5部（北浦町） 第55分団2部（蚊焼町）
	小型動力ポンプ	6台	第27分団3部（四杖町） 第29分団1部（松原町） 第34分団1部（茂木町） 第47分団3部（高島町） 第48分団2部（野母崎樺島町） 第54分団3部（藤田尾町）
庁舎 消防	消防団格納庫建設	1棟	第58分団1部・2部・3部（神浦下大中尾町）
機器 消防	自動体外式除細動器	3器	中央消防署本署、松が枝出張所 北消防署 三重出張所



中央消防署 矢上小隊車



南消防署 三和救急小隊車



第25分団1部小型動力ポンプ積載車

6 消防団

本市の消防団は明治27年4月、公設長崎消防組として発足。昭和22年9月に現在の消防団として長崎、梅香崎、稲佐、土井首、水上の5消防団33個分団、1,619人の陣容で第1歩を記しました。

その後、周辺部の市編入等により組織体制の改編を繰り返し、平成17年1月4日及び平成18年1月4日の1市7町の合併から10年が経過したことを契機として、消防団の実情を総合的に勘案した平成29年4月の改編により、現在1団4方面隊、18地区70分団116部、定員2,944人の組織体制となっており、地域における防火防災の要として幅広い活動を行っています。

なお、令和4年中の主な活動状況等については次表のとおりです。

(1) 年間の主な活動・行事

月日	活 動・行 事
1月7日	消防出初式
1月26日	文化財防火デー
3月1日 ～7日	春季火災予防運動
8月13日 ～15日	うら盆消防警備
8月中旬 ～9月上旬	消防団地区別教育訓練
11月9日 ～15日	秋季火災予防運動
12月15日 ～31日	歳末消防警戒

(2) 出動状況

(令和4年中)

種別	出動件数 (件)	出動台数 (台)	出動延人員 (人)
火 災	48	136	1,446
警戒出動	3	6	29
救助出動	0	0	0
誤報・ 虚報出動	1	4	60
風水害等	0	0	0
電気事故	0	0	0
合 計	52	146	1,535

(3) 組織

(令和5年4月1日現在)

	組織数	定員 (人)	現員 (人)
団本部	1	2,944	2,391
地区本部	18		
分 団	70		
部	116		

(4) 装備

(令和5年4月1日現在)

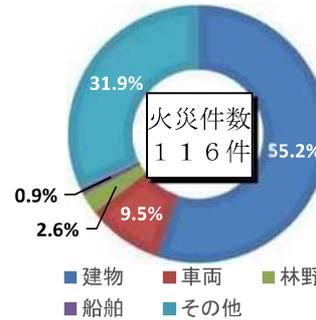
装 備	装備数
消防ポンプ自動車	34台
小型動力ポンプ	111台
積 載 車	111台
無 線 受 令 機	155基

第2 災害の現状

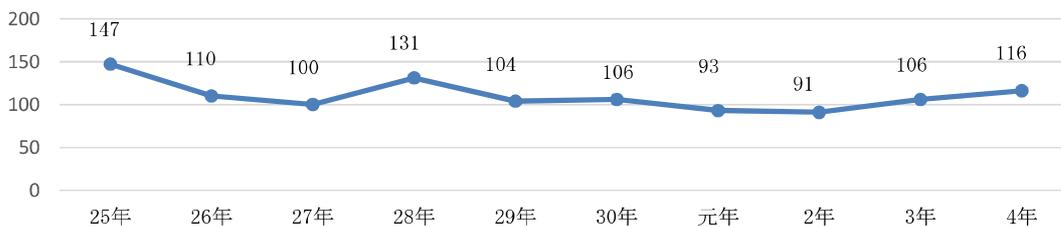
1 火 災

(1) 火災件数

令和4年中の火災発生件数は116件で、前年の106件に対し、10件増加しました。



【過去10年間の火災発生件数】



(2) 火災による死傷者

死者は8人、負傷者は11人です。

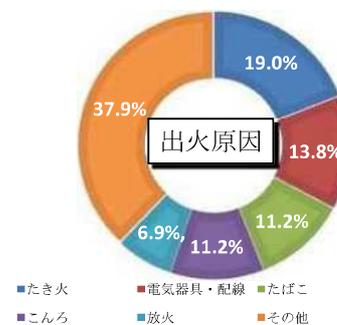
前年と比較すると死者は増加していますが、負傷者は減少しています。

	死者 (人)	負傷者 (人)
令和4年	8	11
令和3年	3	13

(3) 出火原因

出火原因の1位は「たき火」で22件、2位は「電気器具・配線」で16件、3位は「たばこ」及び「こんろ」で各13件、5位は「放火」で8件となっています。

「こんろ」は「食油発火」を、「放火」は「放火の疑い」を含みます。



(4) 損害総額と焼損面積

損害総額は、319,748千円で、前年より145,824千円増加しています。

建物焼損面積は、5,138㎡で、前年より3,598㎡増加しています。

林野焼損面積は、5aで、前年より5a減少しています。

	令和3年	令和4年	対前年比
損害総額	173,924千円	319,748千円	145,824千円増
建物焼損面積	1,540㎡	5,138㎡	3,598㎡増
林野焼損面積	10a	5a	5a減

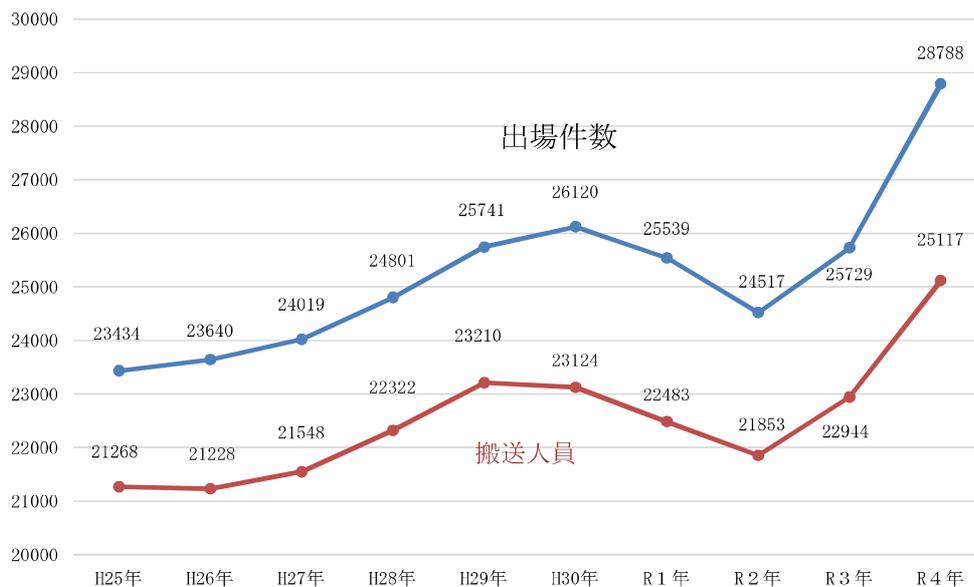
なお、詳細については第2部統計編 第6各種災害の状況をご覧ください。

2 救 急

(1) 出場件数と搬送人員

令和4年中の救急出場件数は28,788件(対前年比11.9%増)で、前年の25,729件と比較し、3,059件増加しました。

また、搬送人員は、25,117人(対前年比9.5%増)で、前年の22,944人と比較し、2,173人増加しました。



	令和3年	令和4年	対前年比
出場件数(件)	25,729	28,788	3,059件増
搬送人員(人)	22,944	25,117	2,173人増

(2) 事故種別ごとの出場件数

出場件数が最も多いのは急病で、全体の64.6%を占めており、次いで一般負傷、交通事故の順になっています。

これらの3種別だけで、全体の約85.7%を占めています。

「その他」の事故種別については、「火災事故」「加害事故」「自損行為」「自然災害」「水難事故」「運動競技」「労働災害事故」「転院搬送」「その他」等が含まれます。

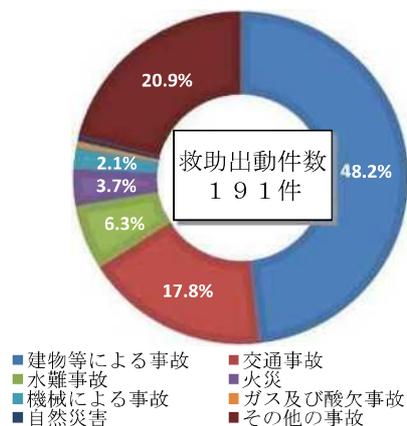


3 救 助

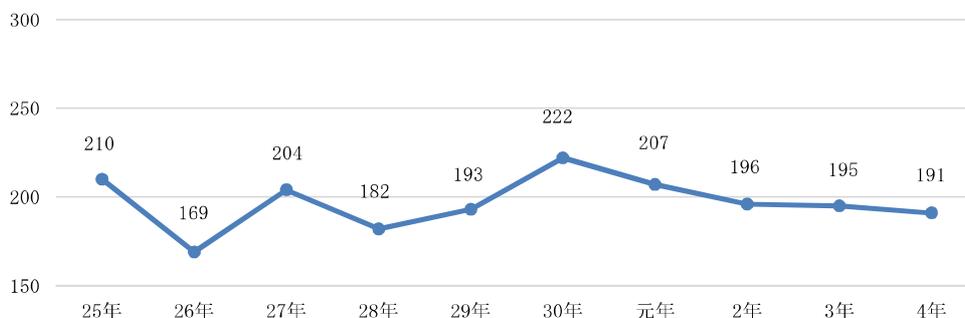
事故種別ごとの出動件数

令和4年中の救助出動件数は191件で(対前年比2.1%減少)、前年の195件と比較し、4件減少しました。

事故種別では、建物等による事故が92件と最も多く、全体の48.2%を占め、次いで交通事故が34件、水難事故が12件、火災が7件、機械による事故が4件、ガス及び酸欠事故が1件、自然災害が1件となっています。



出動件数



	令和3年	令和4年	対前年比
出動件数(件)	195	191	4件減
救助人員(人)	136	140	4人増

4 その他の災害

火災・救急・救助の災害出動のほかに自然災害やガス漏れなどの事故や災害に出動しています。

事故種別	出動件数(件)
警戒出動 (油流出事故等)	1959
ガス漏れ	8
自然災害	1
電気事故	17
誤報・虚報	2

5 119番通報の受信状況

令和4年中の119番通報（警察電話含む）の受信件数は43,291件で、平均すると1日約119件、12分に1件の割合で通報を受信したことになります。

種別ごとにみると、火災救急等の緊急通報が33,225件と全体の76.7%を占め、ほか、全体の23.3%の10,066件が緊急通報以外の通報となっています。

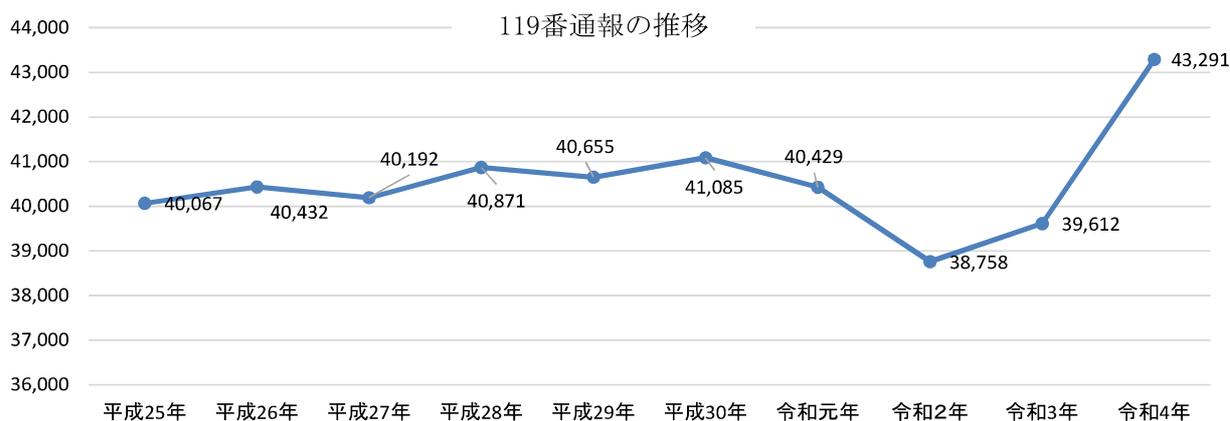


《令和4年中119番通報受信件数内訳》

種別	緊急通報						緊急通報以外						合計
	火災	救急	救助	警戒	警察電話	転送回線	問合せ	間違い	悪戯	試験	訓練	その他	
件数(件)	241	28,374	73	960	3,418	159	2,286	3,246	634	1,945	1,286	669	43,291
割合	0.5%	65.5%	0.2%	2.2%	7.9%	0.4%	5.3%	7.5%	1.5%	4.5%	3.0%	1.5%	100%

《過去10年間の119番通報受信件数（うち携帯電話受信数）》

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
受信総数(件)	40,067	40,432	40,192	40,871	40,655	41,085	40,429	38,758	39,612	43,291
(携帯電話)	(12,506)	(12,897)	(13,541)	(15,160)	(15,002)	(15,920)	(17,085)	(16,676)	(17,741)	(21,061)



6 各種電話案内状況

(1) 休日・夜間当番医の案内件数（病院照会用専用電話）

	合計	電話対応								自動音声案内
		内科	小児科	整形外科	外科	耳鼻科	眼科	歯科	その他	
受付件数(件)	8,911	373	180	179	117	38	32	23	236	7,733

(2) 災害情報案内件数《火災・救助等災害の自動音声案内》

災害情報案内(0180-999-001)	122,871件
防災行政無線放送内容案内(0180-999-002)	14,562件

第3 災害を未然に防ぐために

1 広報活動

令和4年中の火災件数は116件で、火災による死者が8人となっています。

火災から尊い人命や貴重な財産を守るためには、火災の発生防止と円滑な初期消火活動が必要であり、そのためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と協力が不可欠です。

消防局では、新聞、テレビ等のマスメディアを始め、ホームページ等を活用した広報活動のほか、広報紙、パンフレット、ポスター等の作成、配布、あるいは、婦人防火クラブ員等による巡回広報、ふれあい学習に伴う消防車による幼稚園訪問、学校や事業所を対象とした防火講習会の実施など直接住民の方々と対話することにより地域ぐるみの広報活動を積極的に展開しています。

【令和4年度中の主な広報活動】

項目	実施回数等	対象
市の広報誌掲載	3回	消防局管内住民
巡回広報	1,256回	消防局管内一円
防火指導	1,278回 77,736人	事業所、学校、自治会、婦人防火クラブ等
防火チラシ等配布	35,000枚	一般家庭等
防火ポスター配布	227枚	事業所、学校、幼稚園等
会報紙発行	5,300部	婦人防火クラブ、少年消防クラブ、自衛消防隊
消防施設見学	375回 6,895人	小学生等
消防車の幼稚園訪問	134回 11,791人	幼稚園、保育園
防火ポスター募集・展示	応募作品 212点	市内小学生

《令和4年度防火ポスター 最優秀作品》



長崎市立高城台小学校 栗山 夏波さん

《2023防火カレンダー》



2 防火指導

(1) 住宅防火対策

令和4年中の火災のうち、建物火災は64件発生しており、そのうち約7割が住宅火災となっています。また、過去5年間において、他の火災と比較すると住宅火災による死者の発生率は高く、特に高齢者の死者数は住宅火災による死者の約6割を占めています。

消防局では、住宅火災による死者数を減少させるとともに、住民の防火意識と共助の精神の高揚を図るため「長崎市消防局住宅防火対策基本計画」に基づき、斜面地の高齢者家庭を中心とした防火訪問や各種防火指導を通して、火災予防についての助言や住宅用防災機器等の普及促進を図り、地域に根ざした住宅防火対策を推進しています。

【令和4年度中の防火訪問実施件数】

	防火訪問	ポスティング	計
消防団員による訪問（件）	778	2,248	3,026

(2) 予防査察

近年の建築物は、快適性、利便性を求めることにより、大規模化及び複雑多様化が進んでいます。

このような状況の中、各事業所等への予防査察を行い、消防用設備等の設置などのハード面及び防火管理などのソフト面に対する総合的な指導の強化を図っています。

令和4年度中の予防査察実施状況は、次表のとおりです。

対象物	合計	第1種 査察対象物	第2種 査察対象物	第3種 査察対象物	第4種 査察対象物	第5種 査察対象物
査察対象物数（件）	5,457	659	1,848	1,472	1,180	298
査察延人員（人）	11,573	1,362	4,018	3,043	2,498	652

(3) 消防同意

消防同意事務は、建築物の計画段階において防火の専門機関としての立場から実態に即した指導を行い、特定行政庁等と緊密な連絡協調を図り、建築物の防災に万全を期すための制度であり、過去5年間の同意棟数は次表のとおりです。

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
同意棟数	798	828	715	665	703

3 危険物の規制

製造所等に係る災害発生原因の多くが、人の不注意などの人的要因であることから、これらを防止するため、定期的に適正な貯蔵・取扱いの指導を行い、保安管理体制の確立と関係者の防災意識の高揚を図っています。

毎年6月の「危険物安全週間」では、事業所等の自主保安体制の確立と一般市民への危険物に関する知識の普及啓発を図るため、危険物施設の立入検査及び消防訓練を実施しています。

令和4年度中の危険物施設の査察実施状況は、次表のとおりです。

対象物	合計	第1種 査察対象物	第2種 査察対象物	第3種 査察対象物	第4種 査察対象物	第5種 査察対象物
査察対象物数	574	10	99	88	34	343
査察延人員（人）	1,353	20	198	176	68	891

4 市民の防火組織

複雑多様化する社会環境の中で、火災等の災害から市民生活を守り、安全で安心な暮らしを確保するためには、消防・防災業務に対する市民の理解と協力が必要です。

特に、長崎市は、「坂のまち長崎」と形容されるように、平地に乏しく、周囲を山で囲まれ、市街地の大部分が山腹まで階段状に展開しており、このような地形的特殊性から火災危険も大きく、従って市民の防火に対する深い認識と適切な初期消火活動が大変重要な役割を担うこととなります。

長崎市には、婦人防火クラブをはじめとする市民防火組織が結成され、それぞれ火災予防等の啓発活動を積極的に展開しています。

また、これらの防火組織が有効かつ健全に育成されるよう、少年婦人防火委員会、婦人防火クラブ連絡協議会、少年消防クラブ連絡協議会、自衛消防隊連絡協議会が設置されています。

(1) 婦人防火クラブ

火災予防には、市民一人ひとりが防火意識を持ち、住民間の協力体制を確立することが必要不可欠です。中でも、家庭を守る主婦はその中心的存在であると言えます。こうしたことから、長崎市では、昭和38年11月、市中心部から遠隔地で、かつ密集地である式見町に第1号の婦人防火クラブが誕生しました。以来、市中心部や高台の家屋密集地などを中心に順次結成が進み、現在では、市内全域に302クラブ29,543人の大きな組織に成長し、市民防火組織の中心的役割を担っています。

市民防火のつどい



消防出初式



【年間の主な活動・行事（婦人防火クラブ）】

実施日	活動・行事
4月	婦人防火クラブ幹部研修会
8月	普通救命講習
11月	市民防火のつどい
1月7日	消防出初式
1月	視察研修
火災予防運動期間中	巡回広報
3月	婦防だより発行

(2) 少年消防クラブ

少年少女の火災予防知識の習得と健全な育成を図るとともに、真の防災マナーを身につけた社会人としての将来の成長を期待することを目的に結成されており、小・中学生を対象に、主として自治会、子供会などの地域単位に組織され昭和52年に2クラブが誕生して以来、現在39クラブ1,622人が活動しています。

消防わくわく探検隊



【年間の主な活動行事（少年消防クラブ）】

実施日	活動・行事
8月	消防学校体験入校（大村市）
夏休み期間中	消防わくわく探検隊
1月7日	消防出初式
春の火災予防運動中	消防体験ひろば
3月	少年消防クラブだより発行

(3) 幼年消防クラブ

子供の火遊びによる火災のほとんどは、幼年期の子供たちによるものです。

こうしたことから幼少のころから火災の恐ろしさと火の用心の大切さを認識させるため、昭和55年12月、第1号の幼年消防クラブが発足し現在94クラブに8,582人がクラブ員として登録されています。

【年間の主な活動行事（幼年消防クラブ）】

実施日	活動・行事
年中	園や「防災体験ひろば」における防火防災教育
1月7日	消防出初式
火災予防運動期間中	消防ハッピーを着用した防火啓発

(4) 自衛消防隊連絡協議会

自らの職場は自らの手で守ることを目的に、職場の火災予防思想の普及向上、消防訓練の実施、消防用設備等の維持管理などを学びながら、それぞれの事業所の防火管理体制の充実強化を図っており、現在、長崎市及び受託町における管内204事業所によって組織されています。

防火研修会Online2023



【年間の主な活動行事（自衛消防隊連絡協議会）】

実施日	活動・行事
5月・10月	消防学校研修課程入校
9月・2月	普通救命講習
10月	初期消火操法競技大会
11月	視 察 研 修
1月7日	消防出初式
2月	部門別防火研修会
3月	会 報 発 行

(5) 危険物安全協会

危険物による災害を防止し、社会福祉の増進に寄与することを目的に昭和36年5月に設立され、現在、長崎市及び受託町における管内96の危険物施設の管理者、所有者を主体として組織されています。

【年間の主な活動行事（危険物安全協会）】

実施日	活動・行事
危険物安全週間中	安全管理講習会
6月	第1回危険物取扱者試験実務講習会
6月（第2週の日～	危険物安全週間
9月	普通救命講習
10月	視 察 研 修
11月	第2回危険物取扱者試験実務講習会
1月7日	消防出初式
3月	第3回危険物取扱者試験実務講習会

5 防災体験ひろば

「防災体験ひろば」は、市民の皆様へ、見たり体験したりすることで防火・防災に関する知識を身につけていただくことを目的として平成19年4月に開設されました。

初期消火・煙避難体験・救急救護や暴風体験コーナーなど、気軽に体験し楽しみながら学習できる場所となっております。

年度別	入場者数
平成25年度	8,146人
平成26年度	7,644人
平成27年度	5,341人
平成28年度	7,413人
平成29年度	6,997人
平成30年度	7,105人
令和元年度	8,104人
令和2年度	2,530人
令和3年度	3,081人
令和4年度	5,155人

消太くん



シアター



フローア



暴風体験

第4 災害から市民を守るために

1 消防活動体制

(1) 出動計画

複雑多様化、大規模化する火災等の災害に対応するため、組織をはじめ、指揮体制、防ぎょ方法等、消防活動全体にわたって警防活動をより円滑に推進する必要があります。

本市における出動計画は、適時、見直しを行いながら、直近選別出動方式及び計画出動方式により、火災、救急、救助、その他の災害の警戒、鎮圧及び防除等について万全を期しています。

主な内容としては、中高層建物火災、特殊建物火災、危険物等施設火災等における出動区域の指定や出動小隊の編成などです。

(2) 警防計画

特定の消防対象物又は区域に火災その他の災害が発生した場合、消防隊、消防通信の適正な運用を図り、警防活動を効率的かつ円滑に実施するため、事前計画である「警防計画」を作成しています。

警防計画は、火災危険予想区域、特殊建築物、大規模危険物施設等の「通常警防計画」と火災警報その他異常気象、道路通行不能及び断水等により人命危険または延焼拡大が予想される「特殊警防計画」に区分しています。

2 大規模災害時における応援体制

大規模災害に対応するため、長崎市は、他の市町及び関係機関と次のような相互応援協定の締結を行っています。

(1) 消防組織法に基づく消防相互応援協定

名 称	協定機関名	内 容	締結年月日
長崎市と長崎海上保安部の船舶火災の消火に関する業務協定	長崎海上保安部	・火災 ・火災予防運動 (協定区域内)	昭和46年1月11日
長崎県広域消防相互応援協定書	佐世保市、県央地域広域市町村圏組合、島原地域広域市町村圏組合、五島市、平戸市、松浦市、壱岐市、対馬市、新上五島町	・火災 ・救急救助 ・その他の災害	昭和51年4月1日
消防団の相互応援協定書	長与町、時津町	・火災 ・その他の災害	昭和51年11月15日

(2) 緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、平成7年に発生した阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ、大規模災害発生時における人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施する消防の援助体制を確保する目的で、平成7年6月に創設されました。平成15年6月の消防組織法改正により平成16年4月から法制化され、大規模災害発生時には、消防庁長官の求め又は指示により出動する制度が確立しました。

令和3年4月1日現在、全国で6,456(721消防本部)の部隊が緊急消防援助隊に登録していますが、予想される大規模地震の発生に備え、部隊、装備のさらなる充実強化が図られています。

長崎県内では、10消防本部が登録し、長崎市は、統合機動部隊指揮隊1隊、土砂・風水害機動支援部隊指揮隊1隊、NBC災害即応部隊指揮隊1隊、都道府県大隊指揮隊2隊、消火小隊9隊、救助小隊2隊、救急小隊6隊、特殊装備小隊2隊、特殊災害小隊1隊、後方支援小隊3隊の計28隊に登録しています。

これまで、東日本大震災(平成23年3月)、平成28年熊本地震(平成28年4月)、平成29年九州北部豪雨(平成29年7月)、令和2年7月豪雨(令和2年7月)災害へ応援出動しています。

また、毎年九州8県の部隊が各県輪番で合同訓練を実施し、長崎市の部隊も参加しています。

なお、長崎市で大規模災害が発生し、緊急消防援助隊を要請した場合は、基本計画に基づき次の県から応援を受けます。

第1次出動	(4県)	福岡県・佐賀県・熊本県・大分県
出動準備	(12県)	兵庫県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県 徳島県・香川県・愛媛県・高知県・宮崎県・鹿児島県

(3) その他の災害時相互応援協定の締結

平成7年1月の阪神・淡路大震災を教訓として、大規模災害が発生した場合に、被災都市において、応急復旧対策には他の自治体からの広域的な支援が効果的であるため、全国類似都市等間との協定、近隣市町村間との協定の締結が全国的に進められています。

本市においても、防災活動の早期確立を支援するため、迅速な情報連絡及び的確な応急対策の支援が円滑に遂行できるような災害時相互応援協定を締結しています。

また、大規模災害などの緊急時に食料、衣類などの生活用品を確保する目的で全国にネットワークを持つ百貨店、大型スーパー等8店舗と物資の供給協定を締結しています。

(4) 国際消防救助隊(International Rescue Team of Japanese Fire-service: 略称“IRT-JF”)

国際消防救助隊は、国際協力の一環として、昭和61年4月に発足し、海外で大規模災害が発生した際に登録消防本部の救助隊員から編成され、被災国への組織的な救助活動を行う部隊です。

昭和62年9月には、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」の施行に伴い国際緊急援助隊(JDR)の救助チーム(消防庁、警察庁、海上保安庁)の一員として位置付けられました。

現在、全国で77消防本部599人が登録し、万一の出動要請に備えており、長崎市もこの国際消防救助隊に6人の救助隊員を登録しています。

3 救命率の向上

(1) 救急業務の高度化

長崎市の救急業務の高度化については平成4年に初の救急救命士が誕生し、平成6年4月に高規格救急自動車と高度救命処置用資機材を導入配備し、運用を開始しました。

現在14台の高規格救急自動車を配備し、運用しています。

救急救命士は厚生労働大臣が行う国家試験に合格した者だけに与えられる資格で、気管挿管・薬剤投与等の認定制度も追加されています。(令和5年4月1日現在)

(2) 応急手当の普及

救命率をより向上させるためには、救急業務の高度化に加えて、救急患者の身近にいる市民等が素早い応急手当を行い、救急隊員、医師へと救命リレーすることが必要です。

こうしたことから少しでも多くの市民に、救急知識と技術を習得してもらうため「上級救命講習」及び「普通救命講習」を平成7年9月から行っています。

また、平成17年8月から自動体外式除細動器(AED: Automated External Defibrillator)の使用を含む救命講習を実施しており、平成24年6月から少しでも多くの方々が応急手当を学べるように、「救命入門コース」や「応急手当 Web 講習」を開始しています。

さらに、平成25年5月から市内の中学1年生を対象として、心肺蘇生法の実技の習得と応急手当の重要性や、命の大切さを学ぶ「スクール救命サポーター育成事業」を行っています。令和3年度からは、コロナ禍における新しい取り組みとして「オンライン救急講習」を開始しています。

【住民に対する応急手当の指導等】

(令和4年度中)

指 導 内 容	講習時間	回数	人員	
上級救命講習	心肺蘇生法、止血法、 外傷手当、他	8時間	4回	60人
普通救命講習	心肺蘇生法、止血法、他	3時間	148回	1,605人
応 急 手 当 普 及 員	心肺蘇生法等の指導方法	1440分	0回	0人
救 急 講 習	応急手当の方法・知識 救急自動車の利用法 他	3時間 未満	262回	8,195人
合 計			414回	9,860人

(3) 救急協力事業所等標章交付制度

平成19年9月9日「救急の日」に合わせて、不特定多数の人が利用する施設（医療機関を除く）を対象に「救急協力事業所（救急サポートステーション）」の標章を交付する制度を開始しました。

標章の交付については、普通救命講習又は上級救命講習を受講した従業者等が勤務していることを要件として、119番通報や救急隊到着までの間の応急手当等の協力ができる事業所を交付の対象としており、消防局管内で537施設が登録されています。

登録施設数 (令和5年4月1日現在)

AEDあり	341施設
AEDなし	196施設
合計	537施設



(4) 救命サポートエコバッグの配布 (令和2年～)

救命率の向上を図るため、市民の身近なツールとして、簡単な心肺蘇生の手順をプリントした「救命サポートエコバッグ」を作成し、救命講習やイベント等で配布しました。



収納時



展開時

(5) コロナ禍における応急手当の普及啓発

ア 新型コロナウイルス感染症防止に対応した心肺蘇生法の映像を作成し、YouTubeに公開しています。(令和3年～)

コロナ禍における応急手当
 ～新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う心肺停止傷病者への対応～

動画作りました!
 長崎市消防局
 警防課 救急救助係 作成

新型コロナウイルス感染が拡大しており、人との接触には常に感染リスクがあります。それは、倒れている人を助けようとした時と同じで、救助者には感染してしまう危険性が付きまといます。安全に応急手当をする方法をたくさんの人に伝えたい!

安全に!お互いの大切な命を守るために!!

救急への熱い想いを込めて、**新型コロナウイルス感染対策版**の心肺蘇生法解説動画を作成しましたので、ぜひ!!ご覧ください!!!

自宅でできる練習方法も紹介しています!ご家族や職場の皆様へも拡散をお願いします!!

コロナを乗り越え
 ともに助け合う長崎へ!
 長崎市消防局

YouTube
 長崎市公式チャンネルをチェック
 動画はもちろんコロナ対策版です!

よろしくお願ひします!!
<https://youtu.be/EHJLhSCLkww>

コロナ禍における応急手当
 ～新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う心肺停止傷病者への対応～

小児・乳児編
 長崎市消防局
 警防課 救急救助係 作成

新型コロナウイルスの感染拡大により、人と人との接触には常にリスクがあります。倒れている人を助けようとした時でも、救助者には感染のリスクが付きまといます。**安全に!お互いの大切な命を守るために!!**

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた**小児・乳児**に対する応急手当の解説動画を作成しましたので、ぜひ!!ご覧ください!!!

小児の場合
 乳児の場合

YouTube
 長崎市公式チャンネルで配信
 新型コロナウイルス感染対策版
 応急手当の解説

視聴はこちらから

小児・乳児編
<https://www.youtube.com/watch?v=0017h082a> (小児・乳児編)

成人編もあります
<https://www.youtube.com/watch?v=7H11kH11kww> (成人編)

担当 消防署長 前川・下川
 直通 822-0448
 内線 62-2322

イ WEB会議システムを活用した非集合型救急講習を始めました。

**オンライン
 救急講習
 はじめました**
WITH コロナ

・事前に心肺蘇生トレーニングキットを貸出
 ・警防課員がオンラインで実技指導

消防局
 学校
 職場
 自宅

長崎市消防局は、オンライン救急講習を新たにスタートさせました。場所を選ばず(自宅でも受講可能!)応急手当を学ぶことができますので、この機会に救急講習を受けてみませんか。詳しくは、QRコードをチェック!!

心肺蘇生トレーニングキット

警防課 救急救助係
 電話 095-822-0448

第5 教育訓練と安全衛生管理

1 教育訓練

複雑、多様化する災害や高度化する救急業務、火災予防業務に消防職団員が適切に対応するためには、その知識や技能の向上が不可欠であり、これらに対する教育訓練は極めて重要です。

消防局では令和4年度教養訓練基本計画に基づき、次のとおり派遣研修及び職場研修を実施しています。

(1) 消防職員研修

	機関名称等	研修名	人数	研修名	人数
学校研修	消防大学校	幹部科	1	救急科	
	県消防学校	初任科	17	救急科	8
		初級幹部科	1	中級幹部科	1
		女性消防職員課程	2		
	救急救命研修所	救急救命士新規養成	1		
外部研修	全国消防長会九州支部	各県事務担当者研修会	1	予防事務担当者研修会	1
		消防長研修会	1	消防情報通信シンポジウム	1
	全国消防協会九州地区支部	予防実務研修会	0		
	県消防長会	予防事務研修会	5	救急隊員研修会	10
		警防事務研修会	4	調査員研修会	4
	免許取得	小型移動式クレーン技能	3	大型自動車運転免許	2
		玉掛技能	4	第1種衛生管理者	1
		小型車両系建設機械特別教育 (整地・運搬・積込み用及び掘削用)	2	小型車両系建設機械特別教育 (解体用)	0
	その他	救急救命士就業前研修	2	全国消防技術者研修	1
		ターニケット及び骨盤固定具研修	4	国際消防救助隊セミナー	1
		惨事ストレス初級研修	1	火薬取締法研修会	0
内部研修	警防隊員研修(3回)	132	救急隊員(2回)	206	
	救助隊員研修(5回)	152			

(2) 消防団員研修

	研修名	人数	研修名	人数
県消防学校	団長課程	0	部長・班長課程	4
	分団指揮課程	1	現場指揮課程	1
	副団長課程	3	女性消防団員課程	2
	分団長・副分団長課程	3		
県消防協会	長崎県女性消防団員研修会			23
日本消防協会	指導員研修（県消防学校）			1
外部研修	消防団幹部候補中央特別研修（女性消防団員2名参加）			0
内部研修	幹部研修（分団長以上）			87
訓練	予防運動期間中の訓練（春季・秋季）			2,270
	地区別教育訓練（18地区）			1,031

2 安全衛生管理

(1) 職場の安全衛生

多様化する社会の中で、職員の健康管理及び健康増進は最重要課題となってきていることから、労働安全衛生法の規定に基づき安全衛生管理を推進し、職場での安全向上、健康増進に努めています。

具体的な職場での安全衛生管理としては、産業医による職場巡視やうがい薬等の常備薬の定期配布などを行っています。

また、毎月開催される安全衛生委員会では、職場の安全衛生面について問題点を審議し、職場の良好な環境づくりを目指しています。

(2) 職場の健康管理

交替勤務者と毎日勤務者に分けて、特殊健康診断と定期健康診断を行って職員の健康チェックを行っています。また、必要な場合は、保健師との面談も実施しています。

また、年に1回、B型肝炎抗原・抗体検査を実施し、災害、救急現場での感染防止に努めています。

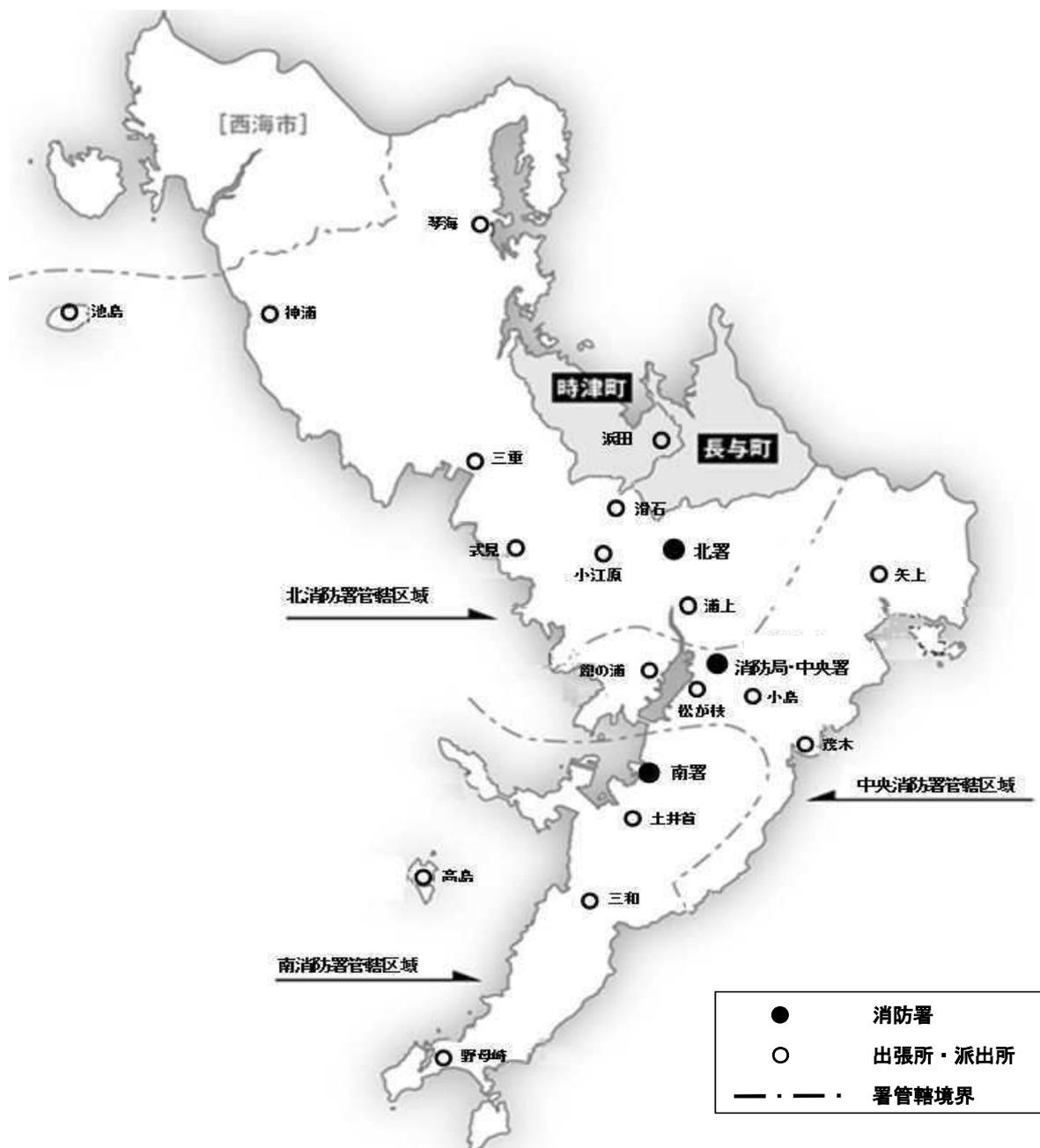
区分	対象者	実施回数	受診延人数
特殊健康診断	交替制勤務者	2	824
定期健康診断	上記以外	1	71
雇入れ健康診断	新規採用職員	1	18
B型肝炎抗原・抗体検査	全職員（事務職員以外）	1	59

第 2 部
統 計 編

- 第 1 総括
- 第 2 人事
- 第 3 予防
- 第 4 警防
- 第 5 指令・通信
- 第 6 各種災害の状況
- 第 7 消防団
- 第 8 広域消防

第1 総括

1 消防局管内情勢図



	長崎市	受託町	計
消防局	1	—	1
消防署	3	—	3
出張所	15	1	16
派出所	2	—	2
管轄面積 (km ²)	405.86	49.67	455.53

2 一 目 統 計

○ 自然環境 ○ 人口・世帯数 ○ 消防予算					
下段は管内全体 (令和5年4月1日現在)	面積 (Km ²)	人口密度 (人/Km ²)	人口 (住基人口)	世帯数 (世帯)	消防予算 (千円)
	405.86	989	398,747	205,395	4,691,893
	455.53	1034	468,097	235,801	

○ 組織 ○ 機械 ○ 水利				消防車両等 指揮車 8台 ポンプ車 22台 タンク車 3台 救急車 19台 (うち高規格18台) はしご車 4台 救助工作車 4台 化学車 1台 重機・重機搬送車 1台 資機材搬送車 2台 燃料補給車 1台 人員搬送車 1台 消防艇 1艇	
	署所	消防職員 (人)	消防団員 (人)		消防水利
	消防局 1	定員 512	定員 2,944		消火栓
	消防署 3	現員 497	現員 2,390		4,135 栓
	出張所 16	平均年齢 37.7	平均年齢 43.7		防火水槽
	派出所 2	(再任用職員 33)			1,509基
(令和5年5月1日現在)					

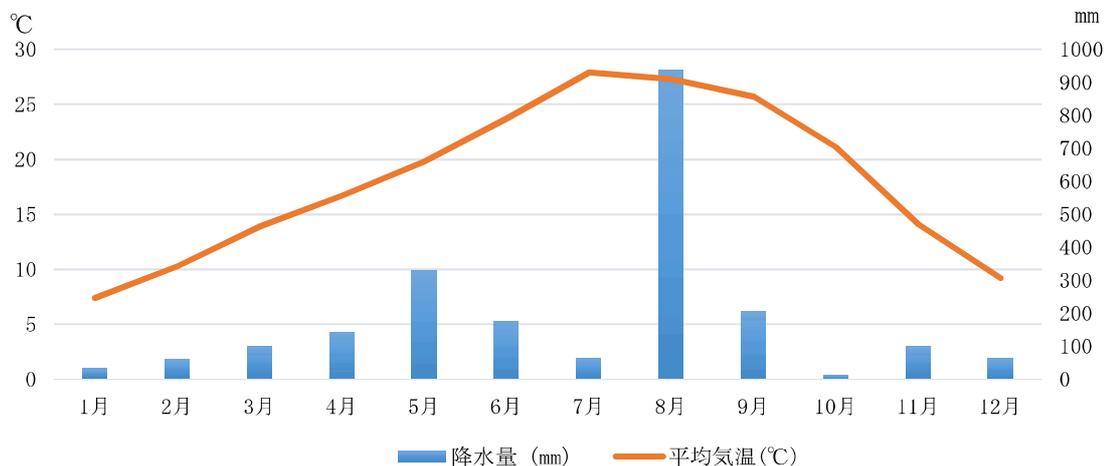
○ 火災 ○ 救急 ○ 救助 ○ 災害事故 ○ 119番通報					
	火災 (件)	救急 (件)	救助 (件)	災害事故 (件)	119番通報 (件)
	発生件数 116	出場件数 28,788	発生件数 191	発生件数 1,987	受信件数
	市内 88	市内 25,817	市内 176	警戒・虚誤報	43,291
	受託 28	受託 2,971	受託 15	ガス漏れ・風水害	
	管外 0	管外 0	管外 0	電気事故等	
(令和4年中)					

○ 予防 ○ 市民防火組織			
	防火対象物数	危険物施設数	市民防火組織
	17条 14,750	製造所 1	婦人防火クラブ 302
	8条 4,579	貯蔵所 496	少年消防クラブ 38
		取扱所 253	幼年消防クラブ 94
			自衛消防隊連絡協議会 204
			危険物安全協会 96
(令和5年4月1日現在)			

3 長崎市の平均気温と降水量

(令和4年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
降水量 (mm)	63.1	84	123.2	153	160.7	335.9	292.7	217.9	186.6	102.1	100.7	74.8	1894.7	157.9
平均気温 (℃)	7.2	8.1	11.2	15.6	19.7	23	26.9	28.1	24.9	20	14.5	9.4	-	17.4



4 市域の変遷

拡張年月日	面積 (k m ²)	人 (人)	拡張地域
明治 22 年 4 月 1 日 市制施行	推) 7.00	54,502	
明治 31 年 10 月 1 日 第 1 次市域拡張	推) 16.00	113,307	下長崎村・上長崎村の一部・戸町村・淵村・浦上山里村の一部
大正 9 年 10 月 1 日 第 2 次市域拡張	41.10	232,912	上長崎村・浦上山里村
昭和 13 年 4 月 1 日 第 3 次市域拡張	90.54	268,945	小櫛村・土井首村・小ヶ倉村・西浦上村
昭和 25 年 4 月 1 日 第 4 次市域拡張	90.60	247,248	福田村の一部
昭和 30 年 1 月 1 日 第 5 次市域拡張	114.2	292,765	深堀村・福田村
昭和 30 年 2 月 1 日 第 6 次市域拡張	121.32	296,323	日見村
昭和 37 年 1 月 1 日 第 7 次市域拡張	165.41	372,027	茂木町・式見村
昭和 38 年 4 月 20 日 第 8 次市域拡張	206.62	392,072	東長崎町
昭和 48 年 3 月 31 日 第 9 次市域拡張	238.12	431,181	三重村
昭和 48 年 4 月 1 日 第 10 次市域拡張	239.03	433,196	時津町の一部
平成 17 年 1 月 4 日 第 11 次市域拡張	338.72	447,103	香焼町・伊王島町・高島町・野母崎町・三和町・外海町
平成 18 年 1 月 4 日 第 12 次市域拡張	406.35	454,739	琴海町
平成 18 年 10 月 1 日	406.36	451,738	公有水面の埋立等
平成 19 年 10 月 1 日	406.37	448,831	公有水面の埋立等
平成 20 年 10 月 1 日	406.40	445,822	公有水面の埋立等
平成 22 年 10 月 1 日	406.43	441,749	公有水面の埋立等
平成 23 年 10 月 1 日	406.46	441,199	公有水面の埋立等
平成 25 年 10 月 1 日	406.47	437,315	公有水面の埋立等
平成 26 年 10 月 1 日	405.81	434,332	国土地理院による「全国都道府県市区町村面積調」の算出方法の変更によるもの。
平成 27 年 10 月 1 日	405.86	433,729	公有水面の埋立等
平成 28 年 10 月 1 日	405.86	426,578	公有水面の埋立等

資料 市総務部統計課

5 令和4年中の主な行事

月	行事名	月	行事名
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・事務始め式（4日） ・長崎市消防出初式（7日） ・防災とボランティア週間（15日～21日） ・文化財防火デー（26日） ・長崎県消防長会通信担当課長会議（28日web会議） ・全国消防長会九州支部各県通信担当課長会議（21日web会議） ・長崎地域MC協議会検証委員会（21日） ・消防職員第25期救急科（18日～3/9） 	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県消防長会総務担当課長会議（14日/新上五島町） ・九州地区消防救助技術指導会（22日/諫早市）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県消防長会臨時総会（17日web会議） 	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆犠牲者慰霊平和祈念式典警備（9日） ・うら盆特別消防警備（13～15日） ・長崎県消防長会警防事務研修会（26日/平戸市）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・春季火災予防運動（1～7日） ・長崎地域MC協議会（11日） 	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県消防長会調査員研修会（2日/諫早市） ・長崎県消防長会予防事務研修会及び消防法令違反是正事例研究会（9日/長崎市） ・救急医療週間（4～10日） ・消防大学校救急科（28日～10/28） ・長崎救急医学会学術集会（10日～17日） ・消防職員第79期初任科卒業式（27日/大村市） ・長崎県消防長会秋季総会（30日/長崎市） ・救助隊員研修（10日、13日/解毒剤注射器（10日、15日/長崎電気軌道）
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・消防職員第80期初任科入校式（5日/大村市） ・長崎県消防長会春季総会（14日/壱岐市） ・第45回長崎県消防職員意見発表会（15日/壱岐市） 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・全国消防長会九州支部救急担当課長会議（28日/北九州市）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県消防長会違反是正推進連絡会及び住宅用火災警報器設置・維持管理対策連絡会（13日/長崎市） ・平成新山防災視察登山（16日/雲仙市） ・長崎県消防救助技術指導大会（20日/諫早市） 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季火災予防運動（9～15日） ・消防職員惨事ストレス研修会（16日/長崎市） ・救助隊員研修（8日/八郎岳、24日/九州クボタ） ・大規模災害救助合同訓練（19日/佐世保市） ・長崎市消防殉職者追悼の日（26日） ・緊急消防援助隊全国合同訓練（10日～15日/静岡県） ・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（23日～29日/沖縄県）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・九州一斉住宅用火災警報器普及啓発キャンペーン（1日から14日） ・危険物安全週間（5日～11日） ・火薬類危害予防週間（10日～16日） ・消防長会九州支部違反是正推進連絡会（24日/熊本市） 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎三重式見港・松島港テロ対策合同訓練（2日/松が枝岸壁） ・九州地区警防実務研修会（6～17日/福岡市） ・歳末消防警戒（15～31日） ・長崎トンネル異常時訓練（8日/長崎市） ・救助隊員研修（16日、19日/長崎市田中町）

6 長崎市と受託町の人口、世帯数、面積

(令和5年4月1日現在)

区 分		人口(人)	世帯数(世帯)	面積(K㎡)
長 崎 市 (住民基本台帳に基づく人口)		398,747	205,395	405.86
受 託 町	長 与 町	40,042	17,085	28.73
	時 津 町	29,308	13,321	20.94
	小 計	69,350	30,406	49.67
合 計		468,097	235,801	455.53

7 各署管轄区域別人口、世帯数 (住民基本台帳に基づく)

(令和5年4月1日現在)

区 分		人口(人)	世帯数(世帯)	備 考
中 央 消 防 署		158,475	82,641	
北 消 防 署	長 崎 市	181,998	93,580	受託町 長与町・時津町
	受 託 町	69,350	30,406	
	小 計	251,348	123,986	
南 消 防 署		58,274	29,174	
合 計		468,097	235,801	

8 消防庁舎の概要

(令和5年5月1日現在)

名 称	住 所	敷地面積 (㎡)	建 物					電 話	経過年数 (年)
			建築年月日	構造	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	所 管		
消防局庁舎 中央消防署	興善町3番1号	747.81	H19.02.28	SRC 9F, B1	657.76	5,207.11	消防局	822-0461 820-0119	16
矢上出張所	東町1936番地1	1,172.31	H22.05.13	S 3F	382.66	804.36	消防局	838-3655	12
松が枝出張所	松が枝町4番31号	346.94	H16.03.12	RC 2F	192.50	365.53	消防局	822-4978	19
鮑の浦出張所	鮑の浦町10番2号	251.88	H24.02.15	S 3F	95.20	296.70	消防局	861-0834	11
小島出張所	桜木町6番47号	347.90	H14.12.20	S 2F	222.40	435.74	消防局	824-4097	20
茂木出張所	茂木町75番地10	1,823.19	S56.03.31	RC 2F	支所内	200.59	消防局	836-0227	42
北消防署	大橋町16番1号	2,664.00	H13.08.15	RC 3F	819.29 (1147.66)	2470.65 (2862.65)	消防局	848-0119	21
浜田出張所	西彼時津町浜田郷824番地2	738.17	H21.11.30	S 2F	349.93	718.84	時津町	882-3345	13
浦上出張所	平野町10番29号	134.68	S52.06.20	RC 2F	87.35	181.63	消防局	846-7974	45
滑石出張所	滑石3丁目9番8号	299.23	H27.12.28	S 2F	158.27	313.45	消防局	822-0054	7
小江原出張所	小江原2丁目28番12号	268.45	S54.03.12	RC 2F	136.75	204.55	消防局	846-7204	44
三重出張所	畝刈町28番地7	2,778.50	H15.03.15	S 2F	合 庁	433.15	消防局	860-9119	20
式見派出所	式見町357番地	1,019.19	S58.03.25	RC 2F	支所内	175.32	消防局	840-4119	40
神浦出張所	神浦江川町2番地	339.93	H26.02.28	S 2F	205.90	408.23	消防局	(0959) 24-0119	9
池島派出所	池島町1009番地1	113.05	S49.03.31	RC 1F	96.00	96.00	消防局	(0959) 26-0119	49
琴海出張所	長浦町2606番地1	515.50	H24.02.27	S 2F	201.24	388.44	消防局	886-3811	11
南消防署	小ヶ倉町3丁目76番地78	1,489.61	S62.03.25	RC 3F	551.37	1,471.43	消防局	879-6119	36
土井首出張所	柳田町45番地1	576.69	S57.02.13	RC 2F	248.30	423.99	消防局	878-8853	41
三和出張所	布巻町111番地1	11,210.03	H6.08.29	RC 5F	行 政 センター内	268.60	消防局	898-7099	28
野母崎出張所	野母町1665番地	7,510.94	S49.03.31	RC 1F	131.25	131.25	消防局	893-0291	49
高島出張所	高島町1728番地1	7,471.37	H9.09.30	S 2F	行 政 センター内	161.96	消防局	896-3333	25

第2 人事

1 過去10年間の職員・団員の推移

区分 年度	消 防 職 員								消 防 団 員	
	条例定員	現 員	消防吏員		事務吏員	年度中の採用等の状況			条例定員	現 員
			うち 再任用			採用	退職	休職		
平成25年度	512	500	499	30	1	25	33	4	3,314	2,762
平成26年度	512	507	506	48	1	22	30	1	3,314	2,793
平成27年度	512	499	498	50	1	21	31	0	3,314	2,783
平成28年度	512	498	497	59	1	21	27	2	3,314	2,779
平成29年度	512	500	499	64	1	24	27	1	2,944	2,763
平成30年度	512	497	497	54	0	18	19	1	2,944	2,737
平成31年度	512	497	497	41	0	18	18	1	2,944	2,662
令和2年度	512	498	498	44	0	13	16	1	2,944	2,608
令和3年度	512	496	496	40	0	19	14	2	2,944	2,581
令和4年度	512	495	495	33	0	19	25	2	2,944	2,446
令和5年度	512	496	496	32	0	19	27		2,944	2,391

2 職員の所属別配置

(令和5年4月1日現在)

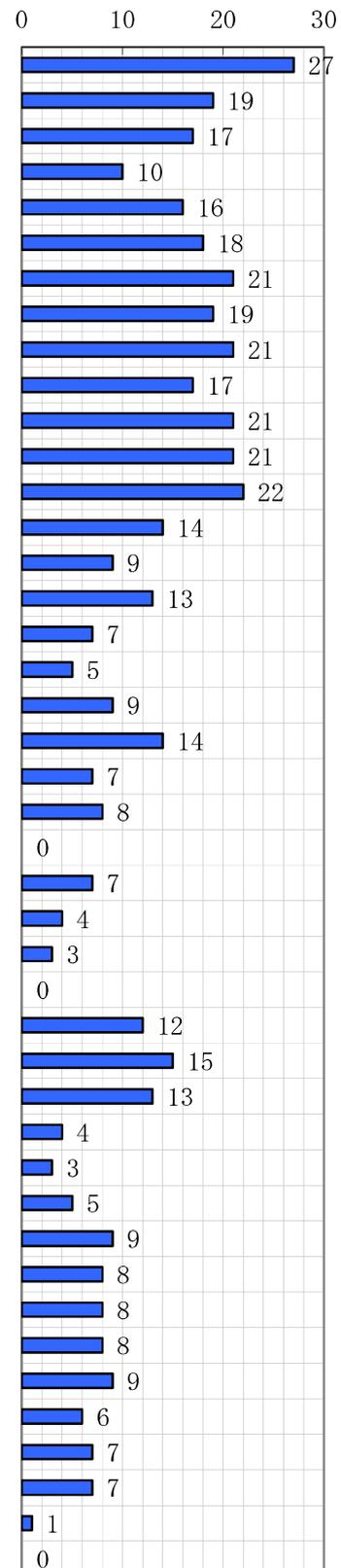
区 分	合 計	消 防 吏 員										事 務 職 員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	再 任 用		
合 計	496	1	4	10	34	93	124	81	117	32	0	
消 防 局	総務課	15	1	1	1	3	3	5	1			
	予防課	12			1	2	2	6		1		
	警防課	16			1	3	5	7				
	指令課	20			1	4	3	6	2		4	
中 央 署	警防1課	90		1	1	5	18	18	19	24	4	
	警防2課	83			1	3	15	16	15	30	3	
北 署	警防1課	90		1	1	5	16	22	15	23	7	
	警防2課	82			1	3	15	19	15	23	6	
南 署	警防1課	47		1	1	4	8	13	8	8	4	
	警防2課	41			1	2	8	12	6	8	4	

消防学校派遣教官（消防司令補・1）及び長崎県防災航空隊派遣（消防司令・1）は総務課へ含む。

3 職員の勤続年数等

(1) 職員（再任用除く）の勤続年数（令和5年4月1日現在）

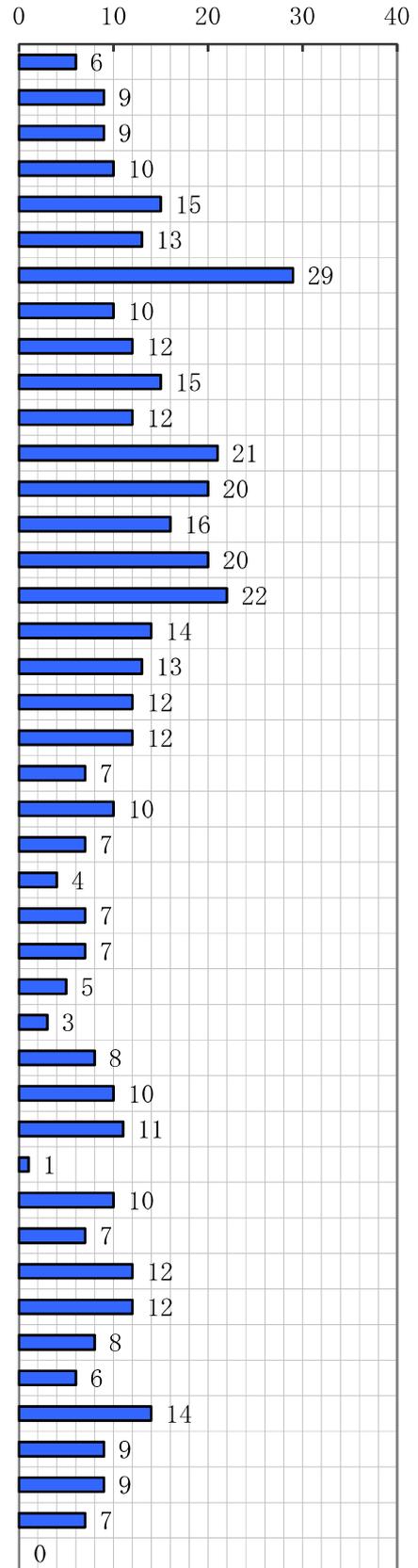
年数	人数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
合計	464	1	4	10	34	93	124	81	117	0
平均	14.7	40.0	38.3	34.6	27.8	25.5	15.4	8.6	2.8	0.0
0	27								27	
1	19								19	
2	17								17	
3	10							2	8	
4	16							5	11	
5	18							6	12	
6	21							9	12	
7	19						7	1	11	
8	21						7	14		
9	17						7	10		
10	21						9	12		
11	21						10	11		
12	22						16	6		
13	14						9	5		
14	9						9			
15	13					2	11			
16	7					2	5			
17	5				1	1	3			
18	9					5	4			
19	14					9	5			
20	7				2	4	1			
21	8				1	7				
22	0									
23	7				2	5				
24	4				1	1	2			
25	3				1	2				
26	0				0					
27	12				3	8	1			
28	15			1	2	10	2			
29	13				4	6	3			
30	4			1		2	1			
31	3			1	1		1			
32	5				2	1	2			
33	9				3	5	1			
34	8			2	1	4	1			
35	8			1	4	2	1			
36	8				2	6	0			
37	9		2	1	1	2	3			
38	6			1	1	4				
39	7		1	1	1	3	1			
40	7	1	1	1	1	1	2			
41	1					1				
42	0									



(2) 職員（再任用除く）の年齢別状況

(令和5年4月1日現在)

年齢	人数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
計	464	1	4	10	34	93	124	81	117	0
平均	36.1	59.0	56.8	55.7	51.1	47.9	37.3	29.7	22.9	0.0
18	6								6	
19	9								9	
20	9								9	
21	10								10	
22	15								15	
23	13								13	
24	29								29	
25	10							2	8	
26	12							5	7	
27	15							8	7	
28	12							10	2	
29	21						4	15	2	
30	20						6	14		
31	16						9	7		
32	20						11	9		
33	22						14	8		
34	14						13	1		
35	13						11	2		
36	12						12			
37	12					4	8			
38	7					2	5			
39	10					5	5			
40	7					4	3			
41	4					4				
42	7					6	1			
43	7				3	4				
44	5				1	3	1			
45	3				1	1	1			
46	8				2	6				
47	10				2	5	3			
48	11				3	6	2			
49	1					1				
50	10			1	2	5	2			
51	7				2	4	1			
52	12				4	7	1			
53	12			1	2	5	4			
54	8			1	2	5				
55	6		1		2	1	2			
56	14		1	2	4	6	1			
57	9		1	3	1	3	1			
58	9			1	3	3	2			
59	7	1	1	1		3	1			
60	0									



4 職員の免許・資格等取得状況（再任用除く）

（令和5年4月1日現在）

区分	免許種別		取得者数（人）		
			計	司令以上	司令補以下
自動車	大型自動車運転免許		203	28	175
	中型自動車運転免許		111	21	90
	準中型自動車運転免許		143	0	143
	はしご自動車操作員		129	4	125
	機械員		404	49	355
救急	救急救命士		76	4	72
	救急資格		154	25	129
	応急手当指導員		202	23	179
救助	救助隊員資格者		202	29	173
	潜水士		52	4	48
	小型移動式クレーン技能		114	13	101
	玉掛け技能		118	17	101
	車両系建設機械技能講習（整地・運搬・積み込み用及び掘削用）		5	0	5
	車両系建設機械技能講習（解体用）		3	0	3
	小型車両系建設機械特別教育（整地・運搬・積み込み用及び掘削用）		31	2	29
	小型車両系建設機械特別教育（解体用）		20	2	18
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		40	7	33
通信	1級陸上特殊無線技士		5	4	1
	航空特殊無線技士		2	1	1
消防艇	1級小型船舶操縦士		22	3	19
	第2級海上特殊無線技士		13	1	12
予防	予防技術資格者	防火査察専門員	18	10	8
		消防用設備等専門員	20	8	12
		危険物専門員	9	5	4
	火災調査員		148	11	137

第3 予防

1 消防法施行令防火対象物数（延べ面積150㎡以上）

（令和5年4月1日現在）

防火対象物の別		防 火 対 象 物						消防法第8条対象物					
		署別	局 消 防	中 央 署	北 署		南署	合計	中 央 署	北 署		南署	合計
					市内	受託				市内	受託		
合 計		10	5,564	5,525	2,134	1,517	14,750	2,036	1,535	564	444	4,579	
1	イ 劇場、映画館		1	4	1	1	7		1	1	1	3	
	ロ 公会堂、集会場		14	10	6	9	39	12	6	5	8	31	
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等							1				1	
	ロ 遊技場、ダンスホール		13	9	5	4	31	15	7	7	4	33	
	ハ 風俗営業等の規制対象施設												
3	イ 待合、料理店等		11				11	13				13	
	ロ 飲食店		138	51	49	18	256	139	47	46	13	245	
4	百貨店、マーケット、物品販売		154	116	99	61	430	108	80	73	55	316	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所		83	20	13	28	144	77	22	11	12	122	
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅		1,492	2,009	681	373	4,555	252	337	72	61	722	
6	イ 病院、診療所、助産所		113	131	48	40	332	52	38	17	10	117	
	ロ 老人福祉施設、児童福祉施設等		58	81	23	31	193	50	61	24	29	164	
	ハ ロに該当しない老人福祉施設、児童福祉施設等		101	118	45	52	316	78	87	38	33	236	
ニ 幼稚園、特別支援学校		12	16	15	13	56	12	10	6	3	31		
7	小、中、高校、大学等		198	278	62	70	608	67	56	20	22	165	
8	図書館、博物館、美術館等		17	6	2	3	28	8	5	3	1	17	
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場等			1			1		1			1	
	ロ イ以外の公衆浴場			1	3	3	7			2	2	4	
10	停車場、発着場		3	1	1	1	6	1	1			2	
11	神社、寺院、教会		112	62	15	29	218	50	26	9	14	99	
12	イ 工場、作業場		214	260	241	209	924	15	3	7	1	26	
	ロ 映画、テレビスタジオ		4	1			5	5	1			6	
13	イ 自動車車庫、駐車場		97	92	23	21	233	1		1		2	
	ロ 航空機の格納庫		1				1						
14	倉庫		185	148	121	84	538	6	4		1	11	
15	前各項に該当しない事業場	9	684	621	253	210	1,777	258	130	54	51	493	
16	イ 特定複合用途防火対象物	1	930	679	177	118	1,905	600	437	115	81	1,233	
	ロ イ以外の複合用途防火対象物		890	801	250	136	2,077	202	170	52	41	465	
16の2	地下街												
16の3	準地下街												
17	文化財施設等		34	5		3	42	7	3		1	11	
18	アーケード(50m以上)		3	2			5						

2 用途別中高層（4階以上）建築物

令和5年4月1日現在

用途別		階別															
		合 計	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	16 階	17 階以上	
合 計		5,194	1,985	1,447	534	333	257	166	169	77	51	40	82	39	6	8	
1	イ 劇場、映画館	3	3														
	ロ 公会堂、集会場	10	7	1	1		1										
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等																
	ロ 遊技場、ダンスホール	14	7	3	2	2											
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等																
	ニ カラオケボックス等	4		3	1												
3	イ 待合、料理店等	4		2		2											
	ロ 飲食店	67	22	30	12	3											
4	百貨店、マーケット、物品販売	44	20	16	8												
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	75	15	11	14	6	7	5	9	5	2		1				
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	2,202	657	656	166	144	116	94	117	57	46	33	72	35	5	4	
6	イ 病院、診療所、助産所	124	47	37	21	12	3	2					1	1			
	ロ 老人福祉施設、児童福祉施設等	43	28	3	6	1	3	2									
	ハ ロに該当しない老人福祉施設、児童福祉施設等	25	10	7	4	2	1		1								
	ニ 幼稚園、特別支援学校	2	2														
7	小、中、高校、大学等	195	140	28	14	6	3	2	1			1					
8	図書館、博物館、美術館等	2	2														
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場等																
	ロ イ以外の公衆浴場																
10	停車場、発着場																
11	神社、寺院、教会	19	8	6	3	2											
12	イ 工場、作業場	22	14	7	1												
	ロ 映画、テレビスタジオ	5		1	2	2											
13	イ 自動車車庫、駐車場	21	6	5	4	4	1		1								
	ロ 航空機の格納庫																
14	倉庫	21	13	8													
15	前各項に該当しない事業場	374	172	80	41	21	37	14	5	2	1		1				
16	イ 特定複合用途防火対象物	1,053	430	307	137	74	44	17	23	5	2	3	4	3		4	
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	865	382	236	97	52	41	30	12	8		3	3		1		
16の2	地下街																
16の3	準地下街																
17	文化財施設等																
18	アーケード(50m以上)																

3 高層建築物概要（上位10棟）

（令和5年4月1日現在）

順位	対象物名称	所在地	用途	階数	高さ (m)	延べ面積 (㎡)	建築年月
1	新大工町 ファンスクエア	長崎市新大工町5-35	複合用途 (店舗・飲食 店・共同住 宅・駐車場)	地上26階 地下1階	93.80	35,244	令和4年7月
2	タワーシティ長崎	長崎市旭町4-1	複合用途 (共同住宅・ 飲食店・事務 所・診療所)	地上28階 地下1階	91.45	23,049	平成16年2月
3	長崎市庁舎	長崎市魚の町4-1	複合用途 (集会場・飲 食店・売店・ 駐車場・官公 署)	地上19階 地下1階	90.89	51,745	令和4年11月
4	長崎大学病院	長崎市坂本1-7-1	病 院	地上14階 地下1階	67.70	113,340	平成21年3月
5	日本赤十字社 長崎原爆病院	長崎市茂里町3-15	病 院	地上15階	64.45	26,439	平成30年3月
6	THE GLOBAL VIEW 長崎	長崎市宝町2-26	複合用途 (ホテル・診 療所・店舗)	地上14階 地下1階	59.80	24,163	平成2年6月
7	ポレスタータワー 出島水辺の森	長崎市出島町13-8	共同住宅	地上20階	59.29	10,670	平成23年3月
8	MJR出島 ベイサイドタワー	長崎市出島町3-15	共同住宅	地上19階 地下1階	58.94	5,464	平成24年1月
9	クリアホームズ 赤迫ザ・タワー	長崎市赤迫2-2-24	共同住宅	地上20階	58.51	5,668	令和5年2月
10	レジデンシャル 中島川 ザ・タワー	長崎市魚の町7-13	共同住宅	地上18階	57.36	8,072	令和5年3月

4 階数別消防同意状況（棟数）

（令和4年度中）

階数	合	地	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
区分	計	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階以上
合計	703	16	270	280	52	5	14	11	10	6	3	9	4	4	5	11				3
専用住宅等	281	5	58	201	17															
1項	イ	2	2																	
	ロ																			
2項	イ																			
	ロ																			
	ハ ニ																			
3項	イ																			
	ロ	9	1	7	1															
4項	11		8	2	1															
5項	イ	7			2					2	2						1			
	ロ	66		18	12	1	7		3	3		6	4	3	1	6				2
6項	イ	22		16	1	2		1	1						1					
	ロ	5		1	1	2		1												
	ハ	8		1	6	1														
	ニ	1		1																
7項	24		13	5	5		1													
8項																				
9項	イ	1		1																
	ロ																			
10項																				
11項	3		2	1																
12項	イ	14		9	4	1														
	ロ																			
13項	イ	30	9	12	4	1		4												
	ロ																			
14項	23		21	2																
15項	138		113	19	4		2													
16項	イ	37		3	9	2	3	1	5	4		1	1		1	2	4			1
	ロ	21	1	2	7	1	1	2	1	2	1		2			1				
16の2																				
16の3																				
17項																				
18項																				

5 消防用設備等に関する届出等

(令和4年度中)

設備別	区分	着工届			設置届			設置検査		
		合計	市内	委託	合計	市内	委託	合計	市内	委託
合計		335	312	23	1,029	934	95	381	364	17
消火器具		1	1		229	191	38	83	78	5
屋内消火栓設備		22	19	3	26	22	4	12	11	1
スプリンクラー設備		34	33	1	41	41		15	15	
水噴霧消火設備										
泡消火設備		1	1		2	2		3	3	
不活性ガス消火設備		4	4		5	5		5	5	
ハロゲン化物消火設備		2	2		8	8		2	2	
粉末消火設備		13	12	1	18	17	1	7	7	
屋外消火栓設備		12	11	1	17	16	1	8	7	1
動力消防ポンプ設備										
自動火災報知設備		199	183	16	421	389	32	117	113	4
ガス漏火災警報設備										
漏電火災警報器					4	4		1	1	
消防機関へ通報する火災報知設備		15	15		15	15		8	8	
非常警報設備		1	1		39	34	5	24	24	
非常警報器具		1	1		9	8	1	1	1	
避難器具		10	9	1	14	14		11	10	1
誘導灯		1	1		142	131	11	54	50	4
消防用水					3	2	1	4	3	1
排煙設備					3	3		3	3	
連結散水設備										
連結送水管		19	19		23	22	1	15	15	
非常コンセント設備					10	10		8	8	
無線通信補助設備										

※消火器具、非常警報設備、非常警報器具、誘導灯、連結送水管については、着工届の義務はないが、任意に提出されたものを含んでいます。

6 火災予防条例等による届出状況

(令和4年度中)

区 分		届 出 件 数				
		合計	市内	受託		
合 計		8,585	7,488	1,097		
条 例	23条	喫煙等承認申請	121	100	21	
	51条	防火対象物使用開始届	461	394	67	
	52	1号	熱風炉設置届			
		2号	炉設置届	4	4	
		3号	炉（前号の他、すえ付け面積2㎡以上）設置届			
		3号の2	厨房設備（入力合計350キロワット以上）設置届			
		4号	温風暖房機（入力70キロワット以上）設置届			
		5号	ボイラー、給湯湯沸設備（入力70キロワット以上）設置届	19	14	5
		6号	乾燥設備設置届	2	2	
		7号	サウナ設備設置届	2	2	
		7号の2	ヒートポンプ冷暖房機（内燃機関入力70キロワット以上）設置届			
		8号	火花を生ずる設備設置届			
	8号の2	放電加工機設置届				
	9号	高圧又は特別高圧の変電設備設置届	54	43	11	
	10号	燃料電池発電設備設置届	14	12	2	
	11号	急速充電設備設置届	2		2	
	12	12号	内燃機関による発電設備設置届			
		13号	蓄電池設備設置届	31	27	4
		14号	ネオン管灯設備（設備容量2KVA以上）設置届			
		15号	水素ガスを充填する気球設置届	1	1	
		16号				
	53	1号	火災とまぎらわしい行為等届			
		2号	煙火の打上げ又は仕掛け届			
		3号	催物開催届			
		4号	水道の断水又は減水届			
		5号	道路工事届			
		6号	露店等の開設届			
53条の2	指定洞道等の届出					
54条	少量危険物・指定可燃物 貯蔵・取扱届	82	78	4		
規則	7条	たき火等の制限の一時解除許可申請				
消 防 法 関 係	8条	防火管理者選任・解任届	705	615	90	
	8条	消防計画作成届	733	638	95	
	8条の2の2	防火対象物点検報告	320	274	46	
	8条の2の5	自衛消防組織設置届	11	11		
	9条の3	圧縮アセチレンガス・液化石油ガス貯蔵・取扱届	49	35	14	
	17条の3の3	消防用設備等点検結果報告	5,903	5,167	736	
	36条	防災管理者選任・解任届	2	2		
36条	防災管理点検報告	28	28			
火災予防規程20条	旅館等に関する意見申請	41	41			

7 予防査察実施状況

(令和4年度中)

設備別	対象物	合計	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種	
			査察対象物	査察対象物	査察対象物	査察対象物	査察対象物	
査察実施対象物		5,457	659	1,848	1,472	1,180	298	
査察延人員		11,573	1,362	4,018	3,043	2,498	652	
指示 指導 件数	合計	848	83	309	210	230	16	
	消火設備	175	29	45	60	36	5	
	警報設備	168	19	55	37	56	1	
	避難設備	107	9	55	15	27	1	
	上記以外の 消防用設備等	11		3	6	2		
	防火管理者 防災管理者	未選任	45		20	14	9	2
		未届	3	2	1			
	消防計画	21		5	13	3		
	防火対象物点検報告 防災管理点検報告	19		5	8	6		
	消防用設備等点検報告	180	3	51	46	76	4	
	火気・電気設備等	9		3	5	1		
	建築設備・構造	11	1	7	2	1		
	その他	99	20	59	4	13	3	

8 火災予防指導実施状況

(令和4年度中)

項目	対象	合 計	婦人防火	少年消防	自 衛	学校幼	消防団	自治会	その他
			クラブ	クラブ	消防隊	稚園等			
合計	回数	1,278	2	3	647	350	21	104	151
	人員	77,736	40	87	21,946	41,657	1,216	7,411	5,379
	出向者	2,907	8	9	1,209	997	72	254	358
防火・防災 (講話)	回数	369	1	1	184	104	5	35	39
	人員	23,945	20	29	6,234	12,433	321	3,593	1,315
	出向者	848	4	3	351	288	15	84	103
防火・防災 (視聴覚等教材 使用による指導)	回数	40	0	0	8	21	0	4	7
	人員	2,531	0	0	484	1,715	0	70	262
	出向者	88	0	0	14	59	0	5	10
消火・通報 訓練指導	回数	443	1	1	227	111	10	41	52
	人員	26,202	20	29	7,449	13,250	578	3,002	1,874
	出向者	1,000	4	3	420	314	33	103	123
避難誘導 訓練指導	回数	373	0	0	217	102	0	8	46
	人員	21,894	0	0	7,041	12,855	0	225	1,773
	出向者	803	0	0	398	276	0	19	110
住宅用火災 警報器指導	回数	24	0	0	4	4	1	11	4
	人員	1,213	0	0	165	458	27	466	97
	出向者	59	0	0	10	15	0	29	5
消防訓練	回数	29	0	1	7	8	5	5	3
	人員	1,951	0	29	573	946	290	55	58
	出向者	109	0	3	16	45	24	14	7

9 広報等実施状況

項目	回数等	対象
巡回防火広報	1,256 回	消防局管内一円
防火チラシ等配布	35,000 枚	一般家庭等
防火ポスター配布	227 枚	事業所、学校、幼稚園等
機関紙発行	5,300 部	婦人防火クラブ、自衛消防隊連絡協議会

10 消防同意状況

(1) 長崎市

(令和4年度中)

工事別 構造別		合 計	新 築	増 築	改 築	修 模	繕 様	用 変	途 更	移 転
合 計	件数	527	472	38			1		16	
	棟数	633	564	49			1		19	
耐火構造	面積 (㎡)	1,440,484	1,355,810	50,786			976		32,912	
	棟数	136	106	14					16	
準耐火構造	面積 (㎡)	1,264,380	1,216,826	20,118					27,436	
	棟数	73	63	7			1		2	
その他	面積 (㎡)	52,544	28,261	22,288			976		1,018	
	棟数	424	395	28					1	
その他	面積 (㎡)	123,560	110,722	8,380					4,458	
	棟数									

(2) 受託町

(令和4年度中)

工事別 構造別		合 計	新 築	増 築	改 築	修 模	繕 様	用 変	途 更	移 転
合 計	件数	52	44	8						
	棟数	70	50	20						
耐火構造	面積 (㎡)	39,695	35,973	3,722						
	棟数	12	6	6						
準耐火構造	面積 (㎡)	16,362	14,881	1,480						
	棟数	9	8	1						
その他	面積 (㎡)	9,252	8,528	724						
	棟数	49	36	13						
その他	面積 (㎡)	14,082	12,565	1,518						
	棟数									

11 危険物施設の現況

(令和5年4月1日現在)

区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所						
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
倍 数 別	合 計	750	1	496							253					
	5倍以下	253		82	98	35	117	2	133	29	148	5	7	1	92	
	5倍を超え10倍以下	140	1	28	18	8	30		3	14	11				27	
	10 " 50 "	136		17	24	3	21		10	6	31	1	7		16	
	50 " 100 "	71		4	2		1		50		13				1	
	100 " 150 "	28		1	2				8		16				1	
	150 " 200 "	27			1						25				1	
	200 " 1000 "	67			20						41				6	
	1000 " 5000 "	24			21									1	2	
	5000 " 10000 "	2			1										1	
	10000倍を超えるもの	2			2											
種 類 別	合 計	750	1	82	98	35	117	2	133	29	148	5	7	1	92	
	単 独	第1類														
		第2類														
		第3類	1		1											
		第4類	741	1	77	98	34	117	2	133	29	148	5	7	1	89
		第5類	3				1									2
		第6類														
混 在	5		4											1		

12 危険物関係（少量危険物を除く）許認可・届出状況

（令和4年度中）

区 分		合 計	長 崎 市	受 託 町	
申 請 事 項	計	272	227	45	
	設 置 許 可	10	9	1	
	設 置 完 成 検 査	10	9	1	
	変 更 許 可	67	57	10	
	変 更 完 成 検 査	61	50	11	
	仮 使 用	55	44	11	
	完 成 検 査 前 検 査	水 圧 検 査	1	1	
		水 張 検 査	4	4	
		溶 接 部 検 査	1	1	
	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	25	24	1	
	予 防 規 程	34	24	10	
	そ の 他 の 申 請	4	4		
届 出 事 項	計	267	235	32	
	譲 渡 引 渡	7	7		
	品 名 数 量 変 更	7	6	1	
	用 途 廃 止	29	27	2	
	保 安 監 督 者 選 解 任	49	41	8	
	名 称 等 変 更	69	60	9	
	使 用 休 止				
	取 下 願				
	変 更 届	79	67	12	
	そ の 他 の 届 出	27	27		

13 危険物施設査察状況

(令和4年度中)

設備別		対象物	合計	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種
				査察対象物	査察対象物	査察対象物	査察対象物	査察対象物
査察実施対象物数			574	10	99	88	34	343
査察延人数			1,353	20	198	176	68	891
指示指導件数	合計		80		15	7	3	55
	位置		1					1
	構造・設備		4					4
	消火設備		16		4	2	1	9
	警報設備							
	電気・火気							
	定期点検		1		1			
	予防規程							
	危険物取扱者免許等 標識・掲示板 その他		46		7	5	1	33
		12		3		1	8	

14 石油類大量貯蔵地区

(令和5年4月1日現在)

地名・場所	敷地面積 (㎡)	タンク容量 (KL)	従業員数		管轄分団
木鉢地区	57,726	36,019.8	昼 8	夜 1	23分団
小ヶ倉地区	35,115	21,912.3	昼 19	夜 2	17分団
土井首地区	12,506	36,364.0	昼 6	夜 0	36分団
三重地区	8,450	4,280.0	昼 8	夜 0	40分団

(注) その地区のタンク容量の総計が、1,000KL以上のもの (特定屋外タンクと同量を想定)

15 火薬類許認可等件数

(令和4年度中)

件名		件数
火薬類販売営業許可	競技用紙雷管のみの販売 その他	
火薬庫設置等許可		
火薬庫変更許可		
火薬類製造施設完成検査		
火薬庫完成検査	設置又は移転の工事に係るもの 構造又は設備の変更工事に係るもの	
火薬類譲渡許可		4
火薬類譲受許可	火工品	9
	上記以外	2.5kg以下 1 2.5kgを超える 7
消費許可		16
火薬類輸入許可	爆薬の数量が2.5kg以下 爆薬の数量が2.5kgを超える	
煙火消費許可		9
廃棄許可		
火薬類製造特定施設又は火薬庫保安検査		4
火薬庫外貯蔵所指示		2
保安教育計画認可		
許認可等合計		52
立入検査		37

第4 警防

1 消防車両等の配置状況

(令和5年5月1日現在)

種別 所属別	車両合計	ポンプ車(CDI)	水槽付ポンプ車	はしご自動車	化学消防車	救助工作車	指揮調査車	救急自動車	高規格救急車	消防艇	査察広報車	人員搬送車	資機材搬送車	重機・重機搬送車	燃料補給車	積載車	その他	小型動力ポンプ
合計	224	57	3	4	1	4	8	1	18	1	6	1	2	1	1	111	5	111
消防局・署(計)	78	22	3	4	1	4	8	1	18	1	6	1	2	1	1		5	
消防局	総務課	1					1											
	予防課	3									2							1
	警防課	7									1	1	2	1	1			1
中央消防署	本署	9		1	1		1	2	2		1							1
	松が枝出張所	2	1						1									
	飽の浦出張所	2	1						1									
	小島出張所	1	1															
	矢上出張所	3	1		1				1									
	茂木出張所	1	1															
北消防署	本署	9		1	1		1	2	2		1							1
	浦上出張所	1	1															
	滑石出張所	1	1															
	小江原出張所	1	1															
	三重出張所	2	1						1									
	浜田出張所	2	1						1									
	琴海出張所	2	1						1									
	式見派出所	1	1															
	神浦出張所	2	1						1									
池島派出所	1	1																
南消防署	本署	9	1		1	1	1	2		1	1							1
	土井首出張所	2	1						1									
	三和出張所	2	1						1									
	野母崎出張所	2	1						1									
	高島出張所	2	1						1									
非常用車両	10	3	1			1	1		4									
消防団	145	34														111		111
非常用車両	1	1																1

2 消防自動車等の経過状況

(令和5年5月1日現在)

車種別	使用年数																									合計		
	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満	8年以上9年未満	9年以上10年未満	10年以上11年未満	11年以上12年未満	12年以上13年未満	13年以上14年未満	14年以上15年未満	15年以上16年未満	16年以上17年未満	17年以上18年未満	18年以上19年未満	19年以上20年未満	20年以上21年未満	21年以上22年未満	22年以上23年未満	23年以上24年未満	24年以上25年未満			
合計	15	15	20	17	15	17	18	20	27	23	16	13	22	6	5	6	6	2	8	10	11	13	6	8	9	10	338	
消防局	ポンプ車(CD-I)	1	1	1	1	1	1	2	3	1	2	1			2	1					1						18	
	水槽付ポンプ車							1							1													2
	はしご自動車						1			1	1										1							4
	化学消防車														1													1
	救助工作車					1						1							1									3
	指揮調査車			1		1			1		1	1	1													1		7
	救急自動車																1											1
	高規格救急車	1	1	1	1	1	2	2	1	1	2	1																14
	消防艇																										1	1
	査察広報車				1			1	1			1	1													1		6
	人員搬送車			1																								1
	資機材搬送車				1							1																2
	重機・重機搬送車			1																								1
	燃料補給車						1																					1
事務車両						1				1	1						1								1		5	
小計	2	2	5	4	3	5	5	3	4	6	7	4	4	0	2	3	2	1	0	0	2	0	0	1	2	1	67	
非常用車両			1					1						3	1								1	3			10	
消防団	ポンプ車(CD-I)	2	1	2	1		2	1	2	2	4	2	2	2			1				2	1	2	1		1	34	
	積載車	5	6	6	6	6	5	6	7	10	5	3	3	7	1	1	1		1	2	3	3	5	2	7	6	4	111
	小計	7	7	8	7	6	7	7	9	12	9	5	5	9	3	1	1	1	1	2	5	4	7	3	7	7	5	145
	非常用車両																										1	1
	小型動力ポンプ	6	6	6	6	6	5	6	7	11	8	4	4	6	2	2	2	3			6	5	5	5	0	0		111
予備(小型動力ポンプ)																										3	3	

3 特殊車両等の配置状況

(令和5年4月1日現在)

車両等別	配 置	社 名	年 式	登録年月日	エンジン		ポンプ		備考
					種別	出力	社名	級別	
はしご自動車 (38m級)	中央はしご小隊	日 野	H28	H28.9.26	ディーゼル	8.86 リットル			モリタ
はしご自動車 (30m級)	北はしご小隊	日 野	H23	H23.2.14	ディーゼル	8.86 リットル			モリタ
はしご自動車 (30m級)	南はしご小隊	日 野	H24	H24.10.25	ディーゼル	8.86 リットル			モリタ
はしご自動車 (30m級)	矢上はしご小隊	ニッサン ディーゼル	H15	H15.2.6	ディーゼル	21.20 リットル			日機
化学消防車 (IV型)	南第1小隊	日 野	H21	H21.1.19	ディーゼル	8.86 リットル			モリタ
救助工作車 (III型)	中央特別救助小隊	日 野	H18	H18.2.24	ディーゼル	6.40 リットル			日機
救助工作車 (III型)	高度救助隊	日 野	H24	H24.2.23	ディーゼル	6.40 リットル			テイソ
救助工作車 (II型)	南特別救助小隊	日 野	H30	H30.1.19	ディーゼル	6.40 リットル			モリタ
消 防 艇	南第1小隊	—	H7	H7.3.22	ディーゼル	600ps ×2	浪速	13,000 ^{リットル} /分	長崎 造船

4 化学消火薬剤等備蓄の状況

(令和5年4月1日現在)

種 別	消防局	中央署	北 署	南 署	合 計
水成膜泡消火薬剤	0 ^{リットル}	0 ^{リットル}	0 ^{リットル}	700 ^{リットル}	700 ^{リットル}
3%界面活性系泡消火薬剤	0 ^{リットル}	568 ^{リットル}	1,009 ^{リットル}	2,400 ^{リットル}	3,977 ^{リットル}
油 処 理 剤	0 ^{リットル}	324 ^{リットル}	283 ^{リットル}	162 ^{リットル}	769 ^{リットル}
油 吸 着 マ ッ ト	0 枚	221 枚	292 枚	255 枚	768 枚

5 特殊機器の保有状況

(令和5年4月1日現在)

分類	種類	合計	中央署	北署		南署
				市内	受託町	
一般用救助器具	かぎ付きはしご	9	5	3	0	1
	三連はしご	26	9	10	1	6
	金属製折りたたみはしご又はワイヤーはしご	12	3	5	0	4
	空気式救助マット	4	1	2	0	1
	救命索発射銃	3	1	1	0	1
	サバイバースリング又は救助用縛帯	17	6	6	0	5
	平担架	3	1	1	0	1
重量物排除器具	油圧ジャッキ	6	2	3	0	1
	油圧スプレッダー	3	1	2	0	0
	可搬ウインチ	4	1	1	0	2
	マンホール救助器具	4	1	2	0	1
	マット型空気ジャッキ	7	1	3	1	2
	大型油圧スプレッダー	8	1	3	1	3
	救助用支柱器具	2	1	0	0	1
	チェーンブロック	4	1	2	0	1
切断用器具	油圧切断機	3	1	1	0	1
	エンジンカッター	28	9	12	1	6
	ガス溶断機	0	0	0	0	0
	チェーンソー	25	8	11	1	5
	鉄線カッター	49	19	20	2	8
	空気鋸	9	3	4	0	2
	大型油圧切断機	8	1	3	1	3
	コンクリート・鉄筋切断機用チェーンソー	3	1	1	0	1
破壊器具	万能斧	52	18	19	2	13
	ハンマー	13	6	5	0	2
	携帯用コンクリート破壊器具	3	1	1	0	1
	削岩機	3	1	1	0	1
	ハンマドリル	5	3	1	0	1
検知・測定器具	生物剤検知器	2	0	0	0	2
	可燃性ガス測定器	42	15	15	2	10
	有毒ガス測定器	53	25	16	2	10
	酸素濃度測定器	41	15	14	2	10
	放射線測定器	107	34	30	0	43
呼吸保護用器具	空気呼吸器	123	43	43	4	33
	酸素呼吸器	12	4	3	0	5
	簡易呼吸器	10	5	2	0	3
	防塵マスク	410	166	155	5	84
	送排風機	6	1	2	0	3

分 類	種 類	合 計	中央署	北署		南署
				市内	受託町	
隊員保護用器具	耐電手袋	32	11	12	1	8
	耐電衣	14	4	4	0	6
	耐電ズボン	14	4	4	0	6
	耐電長靴	24	10	7	0	7
	携帯警報機	124	44	41	4	35
	化学防護服	52	14	9	0	29
	陽圧式化学防護服	18	4	4	0	10
	放射線防護服	8	2	2	0	4
除染用器具	除染シャワー	1	0	0	0	1
	除染剤散布器	2	0	0	0	2
水難救助用器具	潜水器具	8	8	0	0	0
	救命胴衣	168	69	47	6	46
	水中投光器	6	6	0	0	0
	救命浮環	50	18	20	2	10
山岳救助用器具	登山器具一式	0	0	0	0	0
	バスケット担架	15	5	5	0	5
検索用器具	簡易画像探索器	1	0	1	0	0
高度救助用器具	画像探索器	3	2	0	0	1
	地中音響探知機	1	1	0	0	0
	熱画像直視装置	3	1	1	0	1
	夜間用暗視装置	1	1	0	0	0
	地震警報器	1	1	0	0	0
その他の器具	投光器一式	40	17	14	1	8
	携帯投光器	70	31	25	4	10
	携帯拡声器	51	20	21	1	9
	携帯無線機	217	80	77	7	53
	車両移動器具	3	1	1	0	1
	発電機	10	6	2	0	2
救急器具	自動体外式除細動器	34	13	12	2	7
	自動心臓マッサージ器	14	5	5	1	3
	人工呼吸器一式	15	5	5	1	4
	患者監視装置	15	5	5	1	4
	血中酸素飽和度測定器	20	6	7	1	6
	スクープストレッチャー	27	9	8	2	8
	バックボード	43	14	14	3	12

6 消防水利の現況

(令和5年4月1日現在)

(1) 消火栓

区 分		合 計	基準適合	基準外	
消 火 栓	公 設	150mm以上	1,595	1,524	71
		150mm未満	2,306	751	1,555
		小 計	3,901	2,275	1,626
	私 設	150mm以上	7	7	0
		150mm未満	227	2	225
		小 計	234	9	225
合 計		4,135	2,284	1,851	

(2) 防火水槽

区 分		合 計	給水装置設置数	基準適合	基準外		
防 火 水 槽	公 設	100t以上	20	15	20	0	
		40t以上100t未満	836	746	824	12	
		20t以上40t未満	436	397	372	64	
		20t未満	20	15	4	16	
		小 計	1,312	1,173	1,220	92	
	私 設	100t以上	8	4	7	1	
		40t以上100t未満	112	94	110	2	
		20t以上40t未満	76	59	55	21	
		20t未満	1	0	0	1	
		小 計	197	157	172	25	
		合 計		1,509	1,330	1,392	117

防火水槽のうちの二次製品防火水槽数

種 別	合 計	公 設	私 設
プレキャストコンクリート製	459	360	99
鋼 製	28	25	3
F R P 製	14	14	0
合 計	501	399	102

(3) その他の水利

区 分	合 計	基準適合	基準外
プール(学校プール含む)	97	60	37
井 戸	5	0	5
池・泉水	27	10	17
堤	4	1	3
そ の 他	20	5	15
合 計	153	76	77

(4) 令和4年度の消防水利の整備状況 ()内は、開発行為による設置

区 分	新 設		撤 去	
消 火 栓	公 設	5 (2)	公 設	4
	私 設	0 (0)	私 設	0
防 火 水 槽	公 設	5 (5)	公 設	3
	私 設	0 (0)	私 設	0
合 計	10 (7)		7	

私設消防水利のうち指定消防水利は、68箇所。

消防水利の「基準適合」とは、取水可能水量が毎分1立方メートル以上、かつ連続40分以上の取水能力を有するものをいう。

【例】防火水槽40t以上(20t以上の給水装置付)、150mm以上の水道管に設置された消火栓等。

7 初期消火用具の配置状況

(1) 目的

初期消火用具は、消防自動車が進入不可能な高台地等において消防隊が到着するまでの間、地域住民の方々の手により初期消火を実施し、被害の軽減を図ることを目的に配置しています。

(2) 配置基準

- ア 配管75mm以上の消火栓が設置されており、水圧が0.4MPa以上であること。
- イ 高台地または消防署所から遠隔地であること。
- ウ 消防自動車が進入不可能または進入困難な地域であること。
- エ 木造建物が密集(おおむね50棟以上)していること。

(3) 配置数(令和5年4月1日現在)

市内設置数 352カ所

(4) 配置状況図

ア 格納庫



イ 消防ホース(20m)5本、消火栓開閉金具、管そう



ウ 消火栓



第5 指令・通信

1 総合消防情報システムの構成

(令和5年4月1日現在)

【高機能消防指令管制システム】

1	指令装置	
	(1) 指令台	5式
	(2) 自動出動指定装置	2式
	(3) 地図検索装置	7式
	(4) 長時間録音装置	1式
	(5) 扱者録音装置	14式
	(6) 指令制御装置	1式
	(7) 非常用指令設備	1式
	(8) 署所端末装置	23式
2	指揮台	1式
3	無線統制台	1式
4	表示盤	
	(1) 車両運用表示盤	1式
	(2) 支援情報表示盤	
	(3) 多目的情報表示装置	
	(4) 情報表示盤 (警防課用)	1式
	(5) 情報表示盤 (本署用)	3式
	(6) 情報表示盤 (作戦室用)	1式
	(7) 情報表示盤 (災害対策本部用)	1式
	(8) 映像制御装置	1式
5	現場映像送受信設備	1式
6	指令電送装置	
	(1) 指令情報出力端末	22式
	(2) 指令情報出力プリンタ	22式
7	災害状況等自動案内装置	2式
8	順次指令装置	
	(1) 順次指令装置 (電話回線)	1式
	(2) メール指令装置	1式
9	音声合成装置	1式
10	車両運用管理装置	
	(1) 管理装置	2式

11	電源設備	
	(1) 直流電源装置	1式
	(2) 無停電電源装置 (本部用)	1式
	(3) 避雷ユニット	3式
	(4) 無停電電源装置 (署所用)	21式
	(5) 非常用発動発電機	19式
12	システム監視装置	1式
13	非常用受付電話	18台
14	統合型位置情報通知システム	1式
15	経路探索装置	1式
16	緊急通報受信装置	
	(1) メール119受信装置	1式
	(2) FAX119受信装置	1式
	(3) NET119受信装置	1式
17	防災無線連動装置	1式
18	情報共有装置	1式
19	消防通信ネットワーク装置	1式

【消防情報支援システム】

1	消防情報支援システムサーバ機器	
	(1) APサーバ	1式
	(2) DBサーバ	1式
	(3) バックアップサーバ	1式
	(4) WEB-GISサーバ	1式
	(5) 管理サーバ	1式

【防災情報システム】

1	ホームページ連携用サーバ	2式
---	--------------	----

【消防団関係】

1	無線受令機	155台
---	-------	------

【無線通信施設等状況】

設置場所		合計	消防局	中央署	北署	南署
設備名						
固定局		5	1	2	1	1
基地局		6		2	1	3
	陸上移動中継局	1			1	
移動局	車載型 (5W) 複信用	78	24	18	21	15
	可搬型移動局	3		1	1	1
	携帯型 2W	63	13	17	19	14
	署活系 1W	177	10	63	65	39
署所設備	署所端末受令機	24	3	6	10	5
	卓上型固定移動局	4	1	1	1	1
船舶局		1				1
防災相互波携帯無線機		3	3			
119通報用回線数	加入・携帯	18				
	衛星	2				
代表電話回線数		26	14	4	4	4
テレドーム回線		1	1			

2 総合消防情報システムの概要

高機能消防指令管制システム

○ 指令台

タッチパネルディスプレイ4画面で構成され、119番通報の受付のほか指令管制業務に必要な有線、無線通信を行います。

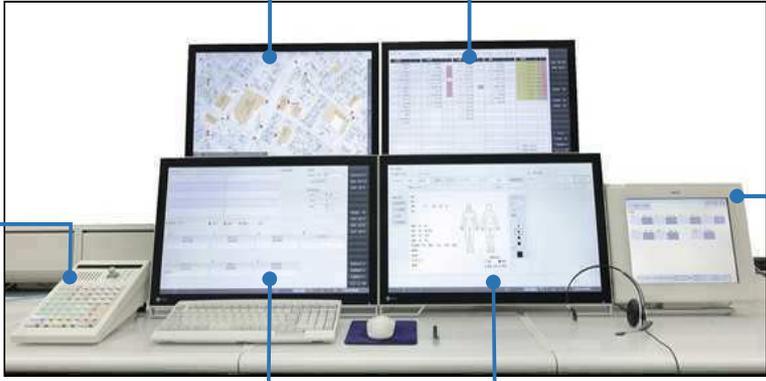
地図等検索装置
119番通報受付時に現場付近の詳細地図を表示します。また、消防車・救急車のリアルタイムの位置情報等を表示することができます。



多目的表示機能
車両一覧や病院情報等の指令管制業務に必要な情報を状況に応じて表示させることができます。



統合型位置情報通知システム
通報者から正確な位置情報が得られない場合でも、通報地点を素早く特定することができます。



盤面操作部
119番通報時の受付や出動隊等との無線交信等の操作を行う際に使用します。



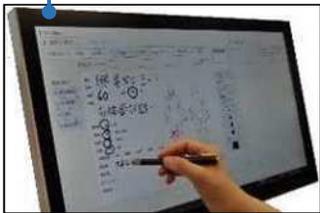
タッチパネル
別の指令台での119番受報中の内容の聴取やあらかじめ登録している関係機関へ連絡等の操作を行う際に使用します。



自動出動指定装置
災害地点や災害種別・規模等の情報から、災害現場に近く、災害種別に応じた最適な車両を自動的に選別し、迅速に出動指令を行うことができます。



手書きメモ機能
文字情報や必要事項を書き込んだ地図等を手書きで作成し、画像として出動車両の端末装置へ送ることができます。



〈 大規模災害に対応した指令台運用 〉

通常は指令台1台につき4画面を使用しますが、大規模災害時など通報が集中する状況下においては、指令員を増員し1台2画面モードに切り替えることで、より多くの119番通報に対応できる受付体制を確立します。



【通常時】4画面運用



【大規模災害時】2画面運用×2に分離

○ NET119緊急通報システム



聴覚、言語機能障害等を有している方や音声通話による通報に不安がある方が、スマートフォン等を用いて音声によらない緊急通報を行うことができるシステムです。GPSによる位置情報から通報場所を特定できるなど簡単な操作で通報内容を伝えることができます。

○ メール指令装置・順次指令装置



消防団員の携帯電話や関係機関に、指令情報をEメールや電話音声で自動的に一斉配信し、消防団員や関係者に迅速な情報伝達を行います。また、防災メールと連動し、市民に災害発生を知らせます。

○ 現場映像送受信システム



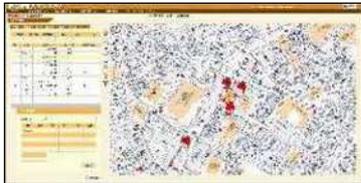
災害現場の隊員が端末で撮影した現場の映像をリアルタイムに指令室や消防署に伝送します。視覚情報で現場情報を共有することにより、現場に必要な支援などをより正確に把握し、的確に対応することができます。

○ 車両運用端末装置



消防車・救急車に設置しており、指令情報、道路情報、水利情報、他の出動隊の位置などの各種支援情報を確認することにより、効率的な消防業務を行います。出向中に出勤指令を受けた場合でも、端末画面で各種情報の確認を行うことで、円滑に活動することができます。

○ 消防情報共有システム



活動中の災害事案や車両の運用状況などのリアルタイムの情報を各消防署所で検索し、確認することができます。消防局、署所間で情報を共有し、連携して迅速・的確な災害対応を行うことができます。

○ 災害対策本部設備



大規模災害時に災害対応の中心となる災害対策本部に設置しています。災害発生・対応状況や車両運用状況、気象情報などのあらゆる情報を迅速に把握・共有し、災害規模や状況に応じて部隊運用などの指揮統制を行います。

消防情報支援システム



防火対象物、危険物施設、水利、道路等の情報を一元管理するシステムであり、高性能消防指令管制システムと連携し、消防・救急活動時に有効な情報として活用します。また、活動時に登録されたデータを基にした報告書作成、統計業務のほか、通常業務を支援し、効率的な業務運営を行います。

3 救急医療機関電話案内状況

(令和4年中)

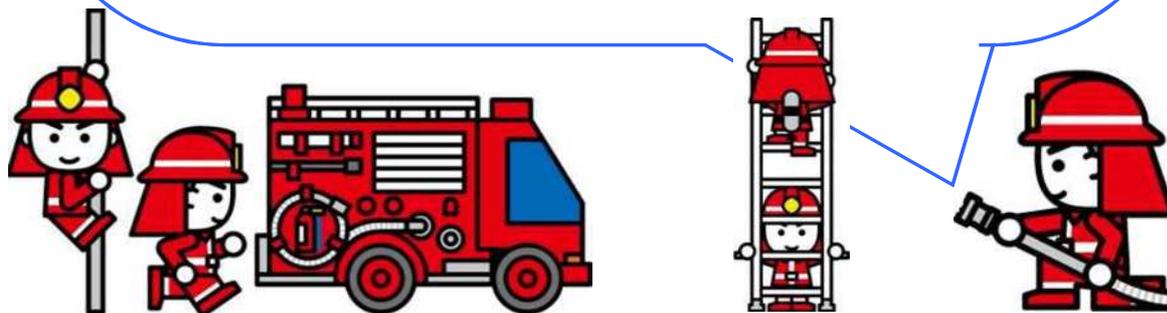
種別	月別												累 計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
合 計	756	516	583	609	859	703	881	975	658	751	707	913	8,911	
職 員 対 応	内 科	47	19	12	19	40	21	43	78	24	24	30	16	373
	小 児 科	9	7	2	9	10	13	20	61	21	10	12	6	180
	外 科	12	3	3	16	11	8	17	11	14	9	10	3	117
	整形外科	22	18	15	21	26	16	15	4	12	13	11	6	179
	耳 鼻 科	5	3	5	5	3	1	4	4	1	3	2	2	38
	歯 科	1	1	1	4	2	3	2	6	0	0	1	2	23
	眼 科	5	1	4	2	4	2	2	2	0	5	4	1	32
そ の 他	17	24	14	18	15	8	25	23	22	26	25	19	236	
テレホン 録音案内	638	440	527	515	748	631	753	786	564	661	612	858	7,733	

第6 各種災害の状況

1 火災の状況

(1) 火災一目統計

火災件数	令和 4 年	116 件 (市内 88件)				
	令和 3 年	106 件 (市内 94件)				
損害総額	令和 4 年	319,748 千円				
	令和 3 年	173,924 千円				
火災種別	種 別	発生件数	損 害 額			
	建 物 火 災	64 件	312,660 千円			
	林 野 火 災	3 件	0 千円			
	車 両 火 災	11 件	6,040 千円			
	船 舶 火 災	1 件	900 千円			
	航 空 機 火 災	0 件	0 千円			
	その他の火災	37 件	148 千円			
焼損面積	建 物 損 害	焼損面積	1 件当たりの焼損面積			
		5,138 m ²	80.3 m ²			
		(市内 3,247 m ²)	(市内 67.7 m ²)			
	林 野 損 害	5 a	1.7 a			
	(市内 1 a)	(市内 1 a)				
出 火 率	令和 4 年	2.45件 (市内 2.18件)				
	(人口1万人あたりの出火件数) 令和 3 年	2.21件 (市内 2.3件)				
火 災 の 多 い 月	3月	(14 件)				
火 災 の 少 な い 月	6月	(4 件)				
出火原因	1位	2位	3位	3位	5位	
	(上位5)	たき火	電気器具・配線	たばこ	こんろ (食油発火含む)	放火 (疑い含む)
		22件	16件	13件	13件	8件
死 傷 者		死者	負傷者			
	令和 4 年	8 人	11 人			
	令和 3 年	3 人	13 人			



(2) 火災発生状況

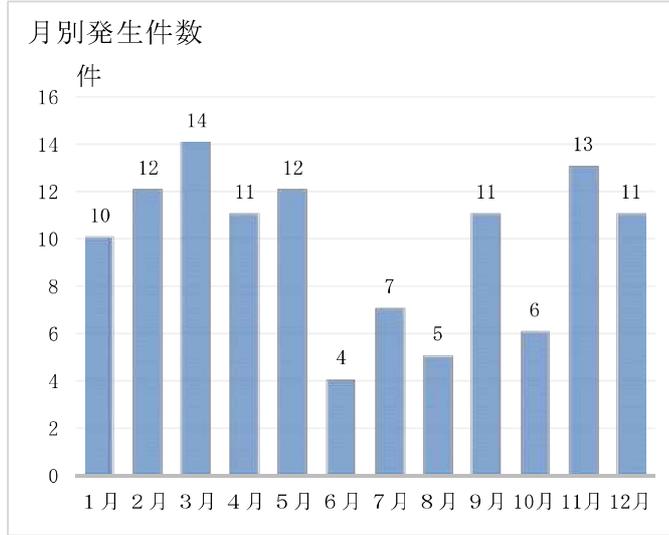
▲は減少

管轄別		消 防 局 管 内			長 崎 市 内			受 託 町		
年 別		4年	3年	増減	4年	3年	増減	4年	3年	増減
火 災 種 別	合 計	116	106	10	88	94	▲ 6	28	12	16
	建 物	64	55	9	48	52	▲ 4	16	3	13
	林 野	3	5	▲ 2	1	4	▲ 3	2	1	1
	車 両	11	9	2	9	5	4	2	4	▲ 2
	船 舶	1	3	▲ 2	1	3	▲ 2	0	0	0
	航 空 機	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	37	34	3	29	30	▲ 1	8	4	4
火災のうち爆発		0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼 損 棟 数	合 計	106	60	46	83	55	28	23	5	18
	全 焼	33	12	21	22	11	11	11	1	10
	半 焼	3	1	2	2	1	1	1	0	1
	部 分 焼	22	10	12	17	9	8	5	1	4
	ぼ や	48	37	11	42	34	8	6	3	3
り 災 世 帯 数	合 計	108	45	63	94	43	51	14	2	12
	全 損	23	12	11	17	11	6	6	1	5
	半 損	2	3	▲ 1	1	3	▲ 2	1	0	1
	小 損	83	30	53	76	29	47	7	1	6
り 災 人 員		205	85	120	174	80	94	31	5	26
死 者		8	3	5	7	3	4	1	0	1
負 傷 者		11	13	▲ 2	6	13	▲ 7	5	0	5
焼 損 面 積	床面積(m ²)	5,138	1,540	3,598	3,247	1,344	1,903	1,891	196	1,695
	表面積(m ²)	233	11	222	221	3	218	12	8	4
	林 野 (a)	5	10	▲ 5	1	7	▲ 6	4	3	1
損害額(千円)		319,748	173,924	145,824	228,175	169,737	58,438	91,573	4,187	87,386

(3) 月・曜日・時間別火災発生状況

ア 月別

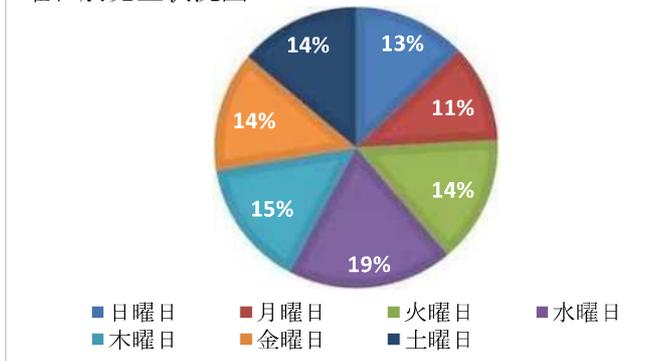
月	件数	発生率
1月	10	8.6%
2月	12	10.3%
3月	14	12.1%
4月	11	9.5%
5月	12	10.3%
6月	4	3.4%
7月	7	6.0%
8月	5	4.3%
9月	11	9.5%
10月	6	14.2%
11月	13	11.2%
12月	11	9.5%
合計	116	109%



イ 曜日別

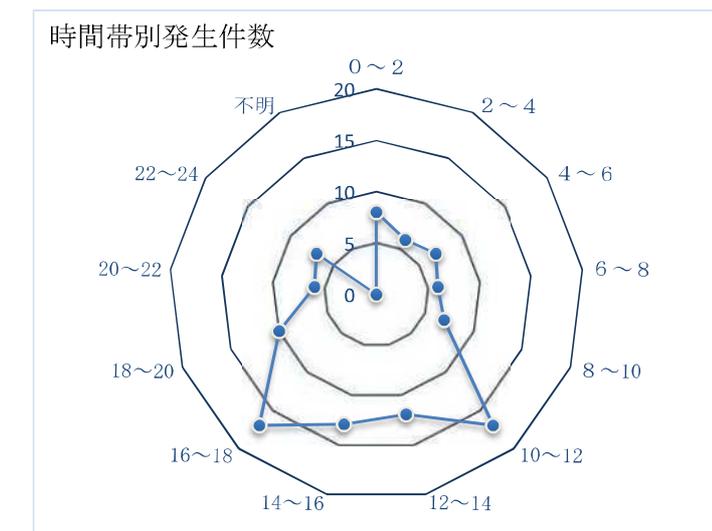
曜日	件数	発生率
日曜日	15	12.9%
月曜日	13	11.2%
火曜日	17	14.7%
水曜日	22	19.0%
木曜日	17	14.7%
金曜日	16	13.8%
土曜日	16	13.8%
合計	116	100%

曜日別発生状況図



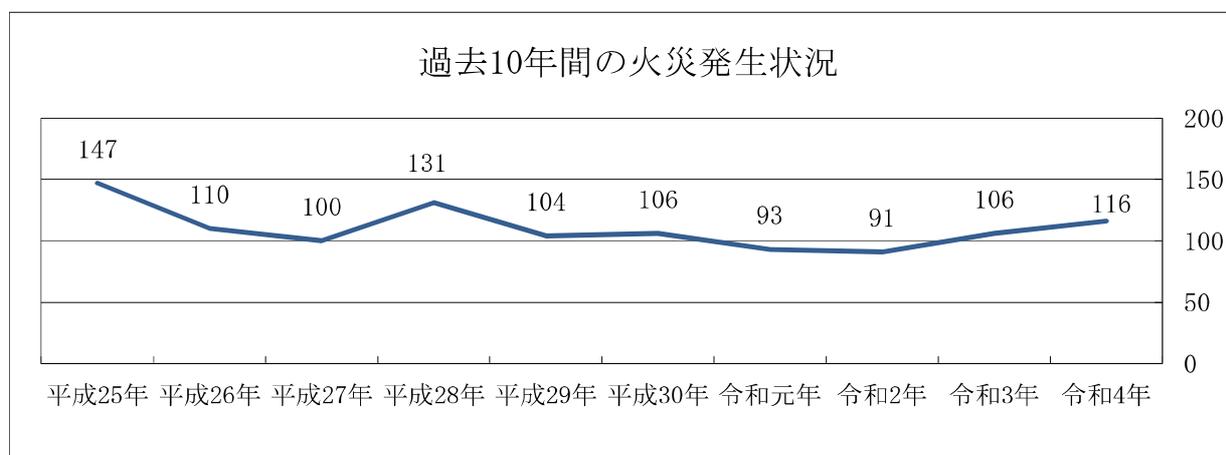
ウ 時間帯別

時間	件数	発生率
0～2	8	6.9%
2～4	6	5.2%
4～6	7	6.0%
6～8	6	5.2%
8～10	7	6.0%
10～12	17	14.7%
12～14	12	10.3%
14～16	13	11.2%
16～18	17	14.7%
18～20	10	8.6%
20～22	6	5.2%
22～24	7	6.0%
不明	0	0.0%
合計	116	100%



(4) 過去10年間の火災発生状況

年別		10か年 平均	令和 4年	令和 3年	令和 2年	令和 元年	平成 30年	平成 29年	平成 28年	平成 27年	平成 26年	平成 25年
火災 種別	合計	110.4	116	106	91	93	106	104	131	100	110	147
	建物	63.1	64	55	62	58	56	67	79	52	65	73
	林野	2.4	3	5	1	0	2	2	1	2	4	4
	車両	10.9	11	9	8	8	12	4	15	11	14	17
	船舶	2.0	1	3	1	1	2	0	4	2	3	3
	航空機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	32.0	37	34	19	26	34	31	32	33	24	50
焼 損 棟 数	合計	93.5	106	60	90	101	96	90	113	95	87	97
	全焼	20.4	33	12	20	18	22	15	20	25	21	18
	半焼	4.1	3	1	2	6	11	5	6	2	3	2
	部分焼	21.2	22	10	18	29	23	18	31	25	19	17
り 災 世 帯 数	合計	72.7	108	45	63	82	72	61	89	75	60	72
	全損	17.5	23	12	15	17	19	12	22	24	15	16
	半損	4.3	2	3	3	8	9	3	5	4	3	3
	小損	50.9	83	30	45	57	44	46	62	47	42	53
り災人員	159.1	205	85	118	169	179	144	217	164	141	169	
死者	6.2	8	3	3	6	10	8	6	11	3	4	
負傷者	17.3	11	13	13	11	13	16	24	19	29	24	
焼 損 面 積	床面積 (m ²)	2,816.5	5,138	1,540	3,898	2,111	3,054	2,960	2,466	2,375	2,670	1,953
	表面積 (m ²)	323.5	233	11	329	221	174	105	1,862	152	80	68
	林野 (a)	8.7	5	10	10	0	8	9	25	6	5	9
損害額(千円)	174,118	319,748	173,924	282,758	89,060	183,654	226,222	183,601	97,301	88,827	96,087	



(5) 過去10年間の出火率

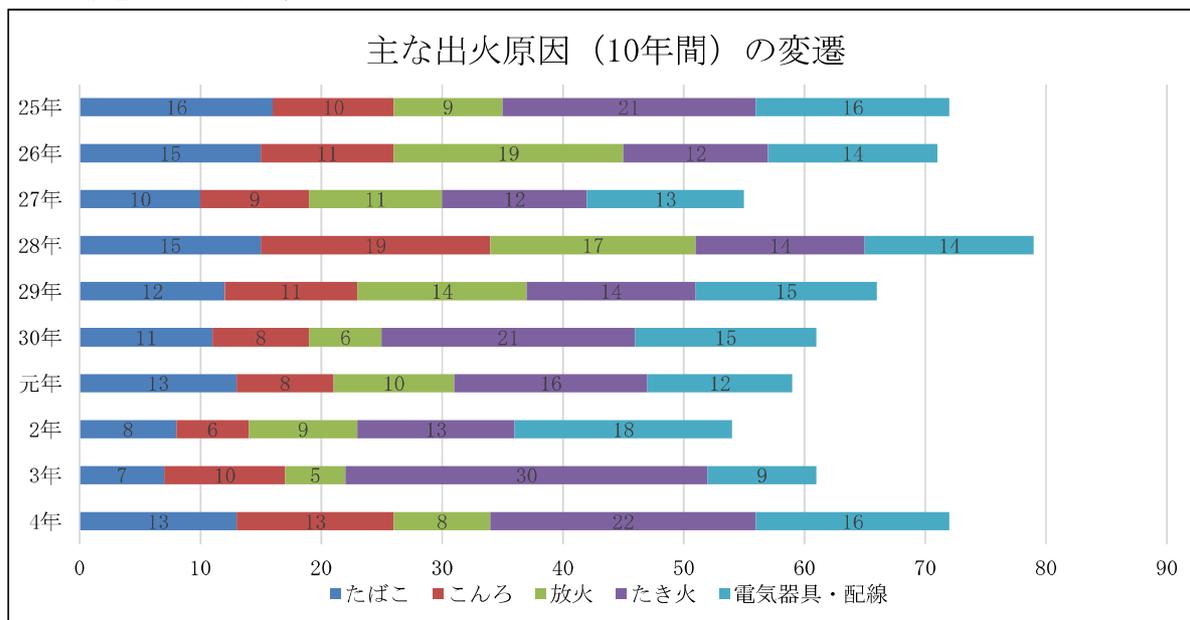
項目	年 別	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和
		25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
出火率	全火災	2.87	2.16	1.97	2.59	2.07	2.14	1.90	1.88	2.21	2.45
	建物火災	1.43	1.27	1.03	1.56	1.33	1.13	1.18	1.28	1.15	1.35

「出火率」とは人口1万人あたりの火災件数を表しています。

(6) 過去10年間の出火原因

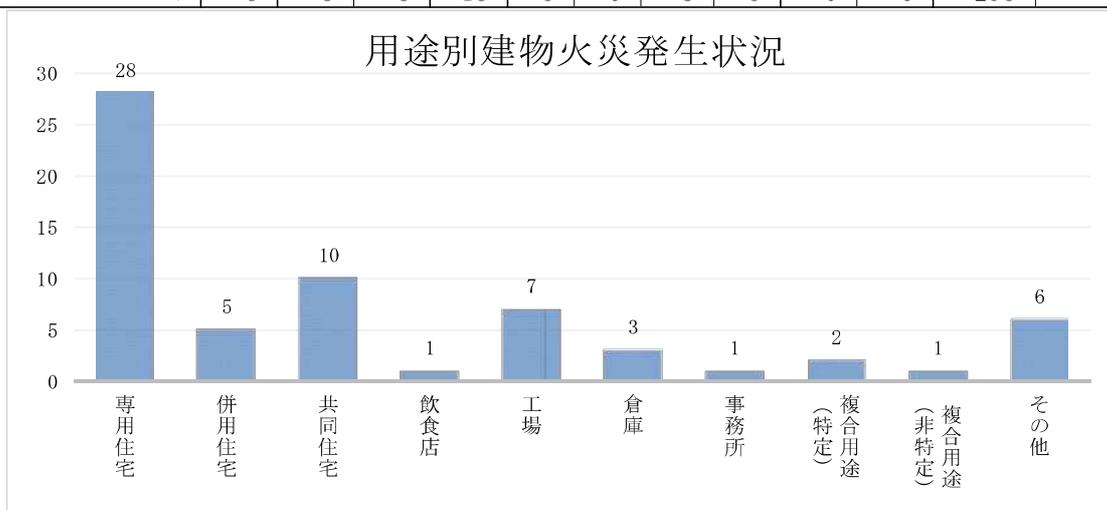
順位	年別 区分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和
		25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
1位	原因	たき火	放火	電気器具・配線	こんろ	たき火	たき火	たき火	電気器具・配線	たき火	たき火
	件数	21	19(7)	13	19(7)	14	21	16	18	30	22
2位	原因	たばこ	たばこ	たき火	放火	放火	電気器具・配線	たばこ	たき火	こんろ	電気器具・配線
	件数	16	15	12	17(10)	14(3)	15	13	13	10(5)	16
3位	原因	電気器具・配線	電気器具・配線	放火	たばこ	電気器具・配線	たばこ	電気器具・配線	放火	電気器具・配線	たばこ
	件数	16	14	11(7)	15	14	11	12	9(5)	9	13
4位	原因	こんろ	たき火	たばこ	電気器具・配線	たばこ	こんろ	放火	たばこ	たばこ	こんろ
	件数	10(7)	12	10	15	12	8(2)	10(1)	8	7	13(7)
5位	原因	放火・火遊び	こんろ	こんろ	たき火	こんろ	放火	こんろ	こんろ	放火	放火
	件数	9(5), 9	11(5)	9(6)	14	11(8)	6(4)	8(7)	6(2)	5(4)	8(6)

「放火」の件数の () 内には、「放火の疑い」の件数を、「こんろ」の () 内には、「食油発火」の件数を表しています。



(7) 用途別建物火災発生状況

用途別	区分	火災件数			焼 損 棟 数				死者	負傷者	焼損面積 (㎡)		
		合 計	延 焼	非延焼	計	全 焼	半 焼	部分焼			ぼ や	床面積	表面積
合 計		64	16	48	106	33	3	22	48	7	10	5,138	233
住 宅	専 用 住 宅	28	10	18	59	22	1	11	25	7	5	3,125	201
	併 用 住 宅	5	1	4	6	0	0	3	3	0	2	169	1
	共 同 住 宅	10		10	10	0	0	3	7	0	1	93	5
劇 場		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公 会 堂		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キ ャ バ レ ー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遊 技 場		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性 風 俗 店		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
料 理 店		0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0
飲 食 店		1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	60	5
物 品 販 売 店 舗		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅 館		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病 院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福 祉 施 設		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼 稚 園		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学 校		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
図 書 館		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特 殊 浴 場		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公 衆 浴 場		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停 車 場		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神 社 ・ 寺 院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工 場		7	0	7	7	1	1	1	4	0	1	1,272	11
ス タ ジ オ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐 車 場		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉 庫		3	1	2	5	5	0	0	0	0	0	126	0
事 務 所		1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1
複 合 用 途 (特 定)		2	0	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0
複 合 用 途 (非 特 定)		1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1
文 化 財		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		6	3	3	13	5	0	3	5	0	0	293	8



(8) 令和4年中の主な火災

焼損床面積150㎡以上又は、損害額1,000万円以上

発 生 月 日	発 生 時 間	火 災 種 別	発 生 場 所	焼 損 面 積 (㎡)	り災棟数				り災世帯数			災 害 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 額 (千円)		
					計	全 焼	半 焼	部 焼	ぼ や	計	全 損					半 損	小 損
2月3日	2時50分	建物	長崎市深堀町1丁目	39	2		1	1	1		1	1		1	11,758		
2月15日	19時00分	建物	西彼杵郡長与町丸田郷	153	1	1				1	1		2	1	17,415		
3月3日	4時25分	建物	長崎市五島町	107	1			1	19	1	18	37		1	50,299		
3月22日	4時10分	建物	長崎市本河内3丁目	258	6	2			4	6	2	4	11		17,991		
4月4日	9時35分	建物	西彼杵郡長与町平木場郷	495	3	3				1	1		2		8,393		
4月6日	22時25分	建物	長崎市弥生町	778	1	1									54,043		
7月11日	23時50分	建物	西彼杵郡時津町西時津郷	494	1		1								33,618		
8月30日	16時50分	建物	長崎市古賀町	158	3	1			2	2	1	1	8		17,971		
11月9日	18時15分	建物	長崎市千々町	252	2	1			1	2	1	1	10	1	10,961		
12月18日	4時25分	建物	西彼杵郡時津町浜田郷	172	1	1				1	1		2	1	7,500		

(9) 火災による死者の状況

ア 死者の発生した火災 (令和4年中)

火災種別	発生日	出火時間	発生場所	性別
建物火災	2月 2日	22時20分	長崎市出雲2丁目	男
車両火災	2月18日	3時10分	長崎市柿泊町	女
建物火災	8月16日	9時30分	長崎市三原2丁目	女
建物火災	11月 9日	18時15分	長崎市千々町	男
建物火災	12月 6日	13時15分	長崎市油屋町	男
建物火災	12月 6日	13時15分	長崎市油屋町	女
建物火災	12月 6日	13時15分	長崎市油屋町	女
建物火災	12月18日	4時25分	西彼杵郡時津町浜田郷	男

イ 死者の発生した経過

(単位:人)

年	経過							計
	逃げ遅れ	出火後 再進入	着衣着火	放火自殺	その他	不明		
令和4年	6	0	0	0	0	2	8	
令和3年	2	0	0	1	0	0	3	

ウ 死 因

(単位:人)

年	死因							計
	一酸化炭素 中毒、窒息	火 傷	打 骨 折 等	自 殺	その他	不明		
令和4年	2	6	0	0	0	0	8	
令和3年	1	1	0	1	0	0	3	

エ 死者の年齢別状況

(単位:人)

年	年齢										計
	5才 以下	6~9 才	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才 以上	不明	
令和4年	0	1	0	0	0	1	0	1	5	0	8
令和3年	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3

2 救急の概要

(1) 救急一目統計

救急車 19 台 (予備車 4 台含む)	令和 3 年	令和 4 年
出場件数	25,729 件	28,788 件
搬送人員	22,944 人	25,117 人
救急隊 15 隊 (うち高規格救急車 14 台)	不搬送	2,884 件
	3,727 件	
	1 日当たり	
救急告示病院 18 病院	平均出場件数	70.5 件
	平均搬送人員	62.9 人
救急告示診療所 1 診療所	出場件数の最も多い月	8 月 (2,905 件)
	少ない月	2 月 (2,062 件)
	搬送人員の最も多い月	12 月 (2,480 人)
	少ない月	2 月 (1,813 人)
	事故種別出場件数及び搬送人員	
	急 病	18,597 件
	一般負傷	5,026 件
	交通事故	1,044 件
		15,817 人
		4,578 人
		870 人



(2) 救急発生状況【前年比較】

▲は減少

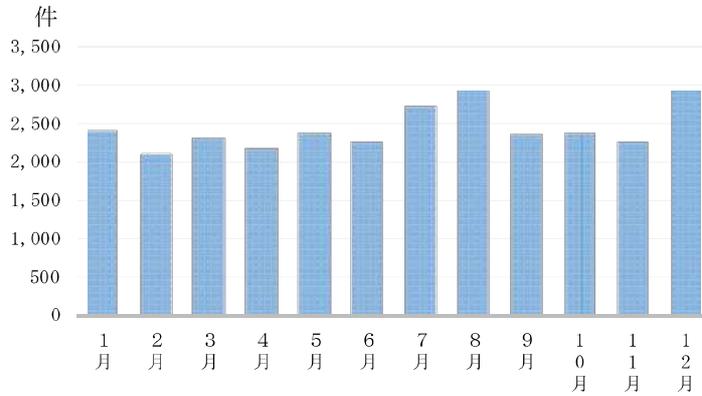
管轄別		合計			長崎市内			受託町			管外		
年別		4年	3年	増減	4年	3年	増減	4年	3年	増減	4年	3年	増減
合計	出場件数	28,788	25,729	3,059	25,817	23,249	2,568	2,971	2,473	498	0	7	▲7
	搬送人員	25,117	22,944	2,173	22,484	20,732	1,752	2,633	2,205	428	0	7	▲7
急病	出場件数	18,597	15,918	2,679	16,783	14,479	2,304	1,814	1,433	381	0	6	▲6
	搬送人員	15,817	13,906	1,911	14,253	12,656	1,597	1,564	1,244	320	0	6	▲6
一般負傷	出場件数	5,026	4,769	257	4,553	4,319	234	473	450	23	0	0	0
	搬送人員	4,578	4,366	212	4,149	3,954	195	429	412	17	0	0	0
交通事故	出場件数	1,044	972	72	921	839	82	123	132	▲9	0	1	▲1
	搬送人員	870	853	17	763	737	26	107	115	▲8	0	1	▲1
自行損傷	出場件数	233	254	▲21	211	232	▲21	22	22	0	0	0	0
	搬送人員	157	180	▲23	141	168	▲27	16	12	4	0	0	0
労災働害	出場件数	148	143	5	127	120	7	21	23	▲2	0	0	0
	搬送人員	142	141	1	123	118	5	19	23	▲4	0	0	0
運動競技	出場件数	100	81	19	91	66	25	9	15	▲6	0	0	0
	搬送人員	96	77	19	87	64	23	9	13	▲4	0	0	0
加害事故	出場件数	64	50	14	60	46	14	4	4	0	0	0	0
	搬送人員	46	36	10	43	33	10	3	3	0	0	0	0
火災	出場件数	42	36	6	26	33	▲7	16	3	13	0	0	0
	搬送人員	9	10	▲1	5	10	▲5	4	0	4	0	0	0
水事難事故	出場件数	12	18	▲6	9	17	▲8	3	1	2	0	0	0
	搬送人員	7	9	▲2	6	8	▲2	1	1	0	0	0	0
自然災害	出場件数	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	出場件数	3,521	3,488	33	3,035	3,098	▲63	486	390	96	0	0	0
	搬送人員	3,395	3,366	29	2,914	2,984	▲70	481	382	99	0	0	0

(3) 月・曜日・時間別救急発生状況

ア 月別

月	出場件数	搬送人員
1月	2,371	2,087
2月	2,062	1,813
3月	2,277	1,990
4月	2,147	1,910
5月	2,340	2,086
6月	2,223	1,987
7月	2,679	2,340
8月	2,905	2,401
9月	2,319	2,016
10月	2,337	2,044
11月	2,224	1,963
12月	2,904	2,480
合計	28,788	25,117

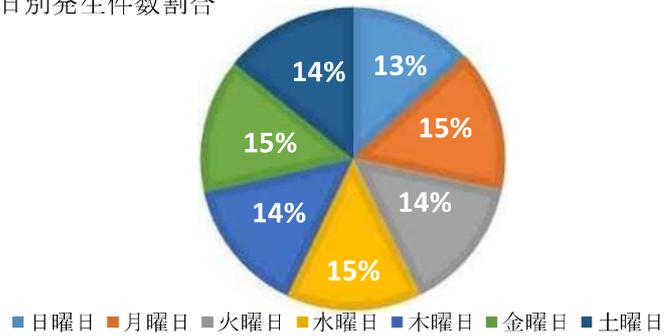
月別発生件数



イ 曜日別

曜日	出場件数	搬送人員
日曜日	3,796	3,232
月曜日	4,366	3,848
火曜日	4,118	3,587
水曜日	4,158	3,638
木曜日	4,128	3,629
金曜日	4,157	3,670
土曜日	4,065	3,513
合計	28,788	25,117

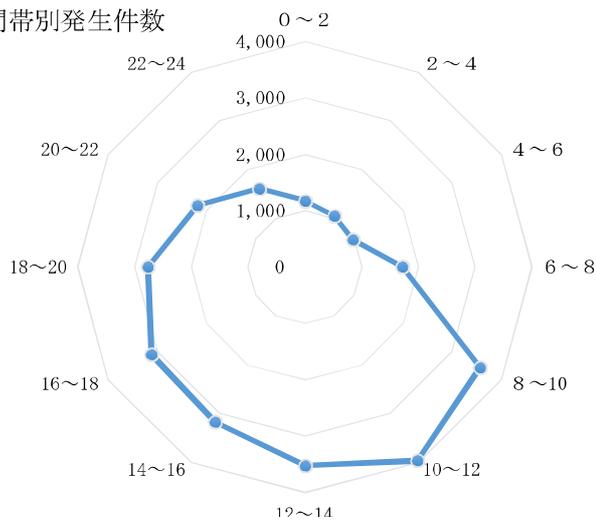
曜日別発生件数割合



ウ 時間帯別

時間帯	出場件数	搬送人員
0～2	1,166	941
2～4	1,047	850
4～6	978	791
6～8	1,723	1,446
8～10	3,559	3,281
10～12	3,959	3,597
12～14	3,525	3,177
14～16	3,168	2,833
16～18	3,110	2,724
18～20	2,761	2,377
20～22	2,188	1,807
22～24	1,604	1,293
合計	28,788	25,117

時間帯別発生件数



(4) 管轄署別救急発生状況

事故別 小隊別		出 場 件 数					搬 送 人 員				
		合 計	急 病	一 般 負 傷	交 通 事 故	そ の 他	合 計	急 病	一 般 負 傷	交 通 事 故	そ の 他
合 計		28,788	18,597	5,026	1,044	4,121	25,117	15,817	4,578	870	3,852
中 央 消 防 署	計	13,196	8,424	2,309	473	1,990	11,463	7,092	2,090	404	1,877
	中救急第1小隊	3,142	2,049	524	116	453	2,716	1,731	459	97	429
	中救急第2小隊	3,162	2,095	526	109	432	2,719	1,742	477	92	408
	松が枝救急小隊	2,864	1,802	546	102	414	2,560	1,574	510	93	383
	矢上救急小隊	1,635	1,044	298	67	226	1,416	875	269	59	213
	鮑の浦救急小隊	2,377	1,424	412	78	463	2,037	1,161	372	62	442
	(A) その他	16	10	3	1	2	15	9	3	1	2
北 消 防 署	計	11,974	7,913	2,093	449	1,519	10,431	6,722	1,917	369	1,423
	北救急第1小隊	3,331	2,241	593	109	388	2,835	1,848	538	87	362
	北救急第2小隊	3,399	2,316	574	140	369	2,946	1,960	530	110	346
	三重救急小隊	1,900	1,310	327	67	196	1,654	1,121	298	56	179
	浜田救急小隊	2,513	1,573	449	94	397	2,217	1,361	406	78	372
	琴海救急小隊	609	350	97	32	130	575	320	93	32	130
	神浦救急小隊	206	111	52	7	36	189	101	51	6	31
	(B) その他	16	12	1	0	3	15	11	1	0	3
南 消 防 署	計	2,994	1,892	530	108	464	2,632	1,656	484	84	408
	土井首救急小隊	1,680	1,084	283	75	238	1,471	943	254	55	219
	三和救急小隊	919	560	168	27	164	858	512	163	25	158
	野母崎救急小隊	307	203	70	5	29	259	166	62	4	27
	高島救急小隊	78	36	9	1	32	34	26	5	0	3
	(C) その他	10	9	0	0	1	10	9	0	0	1
局	警防救急	624	368	94	14	148	591	347	87	13	144

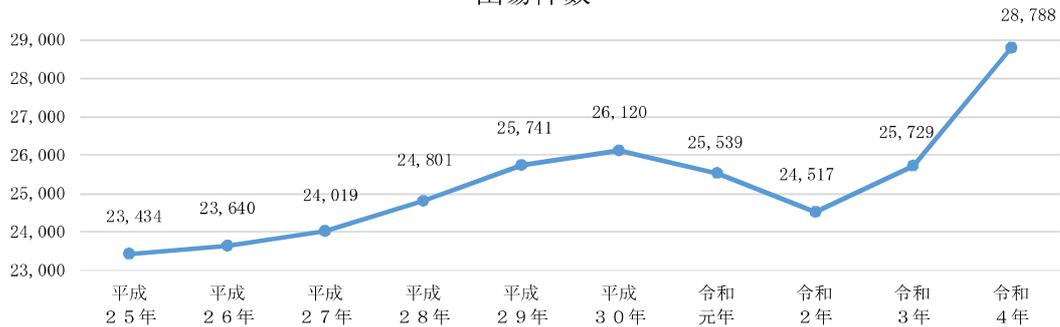
(A) (B) (C)に分類されるその他について、救急予備車、人員搬送車、指揮調査車等の救急車以外の消防車をいう

(5) 過去10年間の救急発生状況

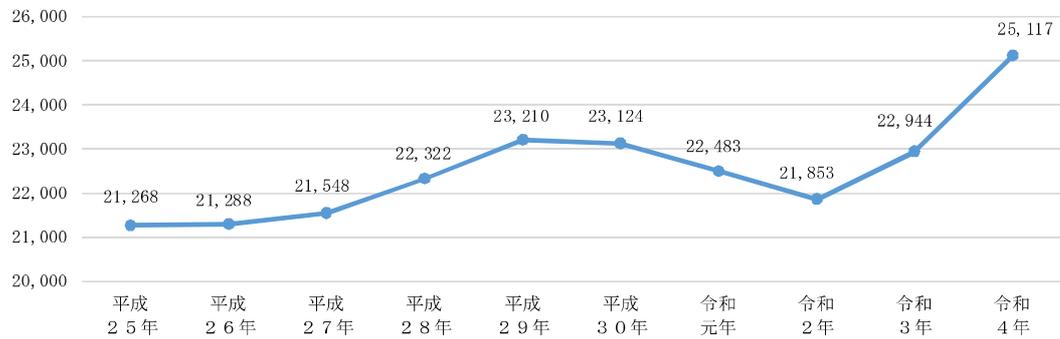
種別		年別									
		平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
出 場 件 数	合 計	23,434	23,640	24,019	24,801	25,741	26,120	25,539	24,517	25,729	28,788
	急 病	13,460	13,786	14,388	15,148	15,829	16,254	16,025	15,047	15,918	18,597
	一般負傷	3,513	3,723	3,640	3,949	4,229	4,416	4,304	4,412	4,769	5,026
	交通事故	1,632	1,551	1,506	1,354	1,314	1,222	1,135	1,067	972	1,044
	そ の 他	4,829	4,580	4,485	4,350	4,369	4,228	4,075	3,991	4,070	4,121

種別		年別									
		平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
搬 送 人 員	合 計	21,268	21,288	21,548	22,322	23,210	23,124	22,483	21,853	22,944	25,117
	急 病	12,397	12,486	12,861	13,481	14,071	14,140	13,819	13,129	13,906	15,817
	一般負傷	3,301	3,471	3,355	3,658	3,942	3,990	3,918	4,074	4,366	4,578
	交通事故	1,526	1,474	1,374	1,238	1,175	1,120	993	960	853	870
	そ の 他	4,044	3,857	3,958	3,945	4,022	3,874	3,753	3,690	3,819	3,852

出場件数



搬送人員



(6) 救急隊員が行った応急処置の状況

(令和4年中)

処置種別	件数
血中酸素飽和度測定	24,638件
血圧測定	24,113件
酸素吸入	3,977件
被覆	966件
固定	3,229件
止血	165件
気道確保	533件
心肺蘇生	427件
保温	74件
その他	24,197件

(7) 救急資格者別一覧表

(令和5年4月1日現在)

種別	救急救命士	救急科/ 救急標準課程	救急Ⅱ課程	救急Ⅰ課程
資格者数	100	145	25	6

(8) 年齢区分別搬送人員

年齢区分	種別	合計	急病	一般交通		自損	運動	加害	労働	火災	水難	自然	その他
	程度			負傷	事故								
合計	合計	25,117	15,817	4,578	870	157	96	46	142	9	7		3,395
	死亡	308	264	18	1	20			1		2		2
	重症	1,884	906	371	48	15		1	16	4	2		521
	中等症	14,078	8,792	2,151	251	59	22	7	63	2	2		2,729
	軽症	8,847	5,855	2,038	570	63	74	38	62	3	1		143
	その他	0											
高齢者	計	17,565	10,969	3,691	306	25	4	9	37	4	5		2,515
	死亡	261	238	13		7					2		1
	重症	1,538	761	339	23	4		1	5	2	1		402
	中等症	11,094	7,020	1,905	113	7	3	2	16	1	1		2,026
	軽症	4,672	2,950	1,434	170	7	1	6	16	1	1		86
	その他	0											
成人	計	6,194	4,033	649	517	129	19	35	104	5	2		701
	死亡	46	25	5	1	13			1				1
	重症	327	141	28	25	11			11	2	1		108
	中等症	2,527	1,532	208	131	50	3	5	47	1	1		549
	軽症	3,294	2,335	408	360	55	16	30	45	2			43
	その他	0											
少年	計	615	354	104	35	3	73	2	1				43
	死亡	0											
	重症	3	1	1									1
	中等症	175	98	21	5	2	16						33
	軽症	437	255	82	30	1	57	2	1				9
	その他	0											
乳幼児	計	668	454	134	12								68
	死亡	1	1										
	重症	11	3	3									5
	中等症	216	139	17	2								58
	軽症	440	311	114	10								5
	その他	0											
新生児	計	75	7										68
	死亡	0											
	重症	5											5
	中等症	66	3										63
	軽症	4	4										
	その他	0											

3 救助の概要

(1) 救助一目統計

出動件数 令和4年 191件 (前年比 4件減 2.1%減)
 令和3年 195件

活動件数 令和4年 155件 (前年比 5件増 3.3%増)
 令和3年 150件

救助人員 令和4年 140人 (前年比 4人増 2.9%増)
 令和3年 136人

事故種別		出動件数	活動件数	救助人員
建物等による事故		92件	78件	63人
交通事故		34件	21件	24人
水難事故		12件	9件	7人
火災		7件	7件	5人
機械による事故		4件	3件	5人
ガス及び酸欠事故		1件	1件	1人
自然災害事故		1件	1件	2人
破裂事故		0件	0件	0人
その他の事故		40件	35件	33人
	(転落事故・体動困難・山岳救助など)			

出場件数の多かった月 2月 25件
 出場件数の少なかった月 7月 9件



(2) 救助発生状況

▲は減少

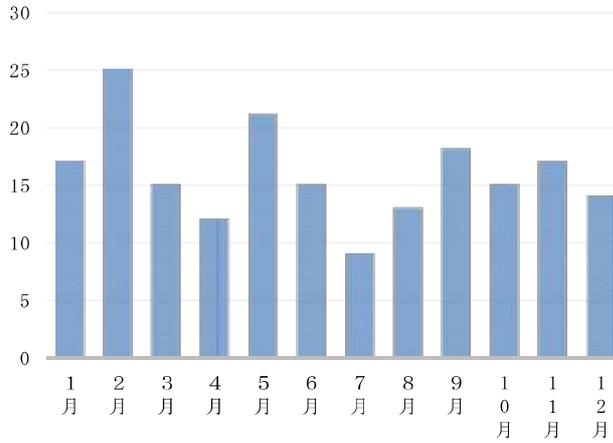
管轄別		合計			長崎市内			受託町			管外			
		4年	3年	増減	4年	3年	増減	4年	3年	増減	4年	3年	増減	
事故 種 別	合計	出動件数	191	195	▲ 4	176	182	▲ 6	15	13	2	0	0	0
		救助人員	140	136	4	130	132	▲ 2	10	4	6	0	0	0
	建物等 による 事故	出動件数	92	95	▲ 3	88	91	▲ 3	4	4	0	0	0	0
		救助人員	63	63	0	61	61	0	2	2	0	0	0	0
	交通 事故	出動件数	34	32	2	31	27	4	3	5	▲ 2	0	0	0
		救助人員	24	20	4	22	19	3	2	1	1	0	0	0
	水事 難 事故	出動件数	12	13	▲ 1	10	12	▲ 2	2	1	1	0	0	0
		救助人員	7	6	1	5	6	▲ 1	2	0	2	0	0	0
	火災	出動件数	7	6	1	6	6	0	1	0	1	0	0	0
		救助人員	5	5	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0
	機 械 事 故	出動件数	4	5	▲ 1	2	4	▲ 2	2	1	1	0	0	0
		救助人員	5	4	1	4	4	0	1	0	1	0	0	0
	自 然 災 害	出動件数	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
		救助人員	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
		救助人員	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0
破 裂 事 故	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他 の 事 故	出動件数	40	44	▲ 4	37	42	▲ 5	3	2	1	0	0	0	
	救助人員	33	38	▲ 5	30	37	▲ 7	3	1	2	0	0	0	

(3) 月・曜日・時間別救助発生状況

ア 月別

月	出動件数
1月	17
2月	25
3月	15
4月	12
5月	21
6月	15
7月	9
8月	13
9月	18
10月	15
11月	17
12月	14
合計	191

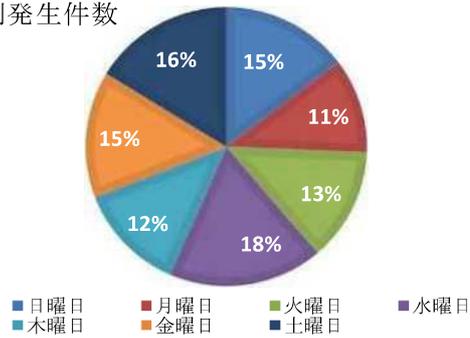
月別発生件数
件



イ 曜日別

曜日	出動件数
日曜日	28
月曜日	21
火曜日	25
水曜日	34
木曜日	24
金曜日	28
土曜日	31
合計	191

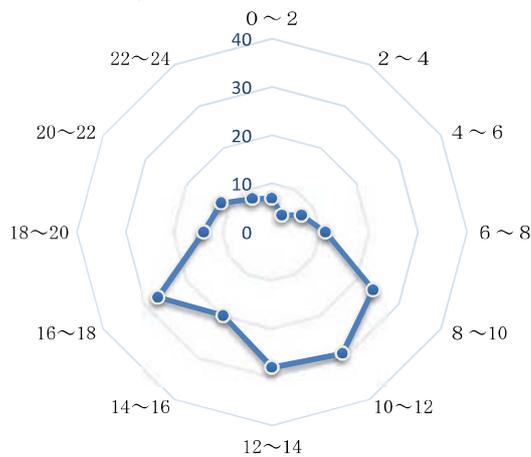
曜日別発生件数



ウ 時間帯別

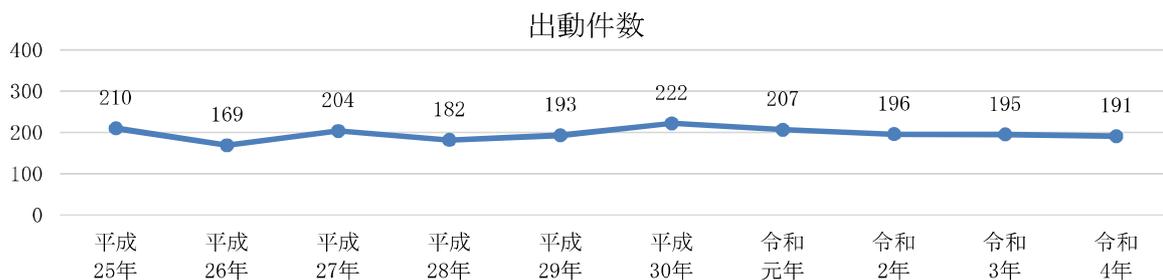
時間	出動件数
0～2	7
2～4	4
4～6	7
6～8	11
8～10	24
10～12	29
12～14	28
14～16	20
16～18	27
18～20	14
20～22	12
22～24	8
合計	191

時間帯別発生件数



(4) 過去10年間の救助発生状況

種別		年別	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
出 動 件 数	合 計		210	169	204	182	193	222	207	196	195	191
	建物等による事故		52	46	57	62	72	80	79	80	95	92
	交 通 事 故		67	48	58	38	44	45	46	33	32	34
	水 難 事 故		21	15	23	26	19	18	16	23	13	12
	火 災		9	5	10	9	9	10	10	7	6	7
	機械による事故		7	4	7	3	7	6	4	5	5	4
	風水害等自然災害		0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
	ガス及び酸欠事故		1	0	2	3	0	0	0	1	0	1
	破 裂 事 故		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の事故		53	50	47	40	42	63	52	47	44	40
活 動 件 数			142	115	156	138	152	173	164	145	150	155
救 助 人 員			145	108	148	131	144	173	153	134	136	140



第7 消防団 1 消防団の現勢

(令和5年4月1日現在)

		組 織				装 備							
		分団	部	分駐	現員数	ポンプ車	積載車	小型ポンプ	受令装置				
市	団 長	本 部	団本部			3				1			
			広域支援分団			48							
			中央地区本部			3							
			梅香崎地区本部			4							
			稲佐地区本部			4							
			福田地区本部			4							
			式見地区本部			3							
			東長崎地区本部			4							
			日見地区本部			4							
			茂木地区本部			4							
			土井首地区本部			4							
			深堀地区本部			3							
			三重地区本部			3							
			香焼地区本部			3							
			伊王島地区本部			3							
			高島地区本部			4							
			野母崎地区本部			2							
			三和地区本部			5							
			外海地区本部			4							
			琴海地区本部			6							
			東 方 面 隊		東長崎地区	第28分団	8		140	1	7	7	8
						第29分団	6		71	1	5	5	6
						第30分団	5		84	1	4	4	5
					日見地区	第31分団	5		53	1	4	4	5
					茂木地区	第32分団	2		44		2	2	2
第33分団	2					34		2	2	2			
第34分団	5					85	1	4	4	5			
第35分団	2					39		2	2	2			
稲佐地区	第18分団					12	1			1			
	第19分団					21	1			1			
	第20分団					16	1			1			
	第21分団					12	1			1			
	第22分団					9	1			1			
	第23分団	3				39	1	2	2	3			
	旭町水上分団					20		1	1	1			
福田地区	第24分団	3		58	1	2	2	3					
	第25分団	4		58		4	4	4					
式見地区	第26分団	3		47		2	2	2					
	第27分団	3	2	54		3	3	3					
三重地区	第40分団	2		37		2	2	2					
	第41分団	2	3	66	1	1	1	2					
	第42分団	2		28		2	2	2					
外海地区	第56分団	3		40		3	3	3					
	第57分団	2		31		3	3	3					
	第58分団	3		28		3	3	3					
	第59分団	4		32		4	4	4					
	第60分団			1		1	1	1					
琴海地区	第61分団			25		1	1	1					
	第62分団			26		1	1	1					
	第63分団	2		31		1	1	1					
	第64分団	2		44		1	1	1					
	第65分団	2		35		1	1	1					
	第66分団	3		35		2	2	2					
梅香崎地区	第12分団			30	1			1					
	第13分団			19	1			1					
	第14分団			12	1			1					
	第15分団			13	1			1					
	第16分団			17	1			1					
	第17分団			18	1			1					
	戸町水上分団			16		1	1	1					
土井首地区	第36分団	3		52	1	2	2	3					
	第37分団	2		33		2	2	2					
土井首水上分団			12		1	1	1						
深堀地区	第38分団	2		26		2	2	2					
	第39分団	2		29	1	1	1	2					
香焼地区	第43分団			15		1	1	1					
	第44分団			12		1	1	1					
	第45分団			18		2	2	2					
伊王島地区	第46分団	4		36		4	4	4					
高島地区	第47分団	3		19	1	3	3	4					
野母崎地区	第48分団	2		24		2	2	2					
	第49分団	2		42	1	1	1	2					
	第50分団	3		38		3	3	3					
	第51分団	3		35		3	3	3					
	第52分団	2		25		2	2	2					
三和地区	第53分団	3		48		3	3	3					
	第54分団	3		47		3	3	3					
	第55分団	4		54		4	4	4					
北 方 面 隊	中 央 地 区	第1分団			19	1			1				
		第2分団			22	1			1				
		第3分団			21	1			1				
		第4分団			18	1			1				
		第5分団			20	1			1				
		第6分団			12	1			1				
		第7分団	1		27	1			1				
		第8分団			27	1			1				
		第9分団			24	1			1				
		第10分団			22	1			1				
		第11分団			16	1			1				
1	団	1	8	地 区	70	分 団	116	6	2,391	34	111	111	155
	団長1人		副団長18人		分団	部	分駐	現員数	ポンプ車	積載車	小型ポンプ	受令装置	

(予備10を含む)

2 消防団員の勤続年数

(令和5年4月1日現在)

種別 年数	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	副 部 長	班 長	団 員
合計	2,391	1	18	89	84	225	194	492	1,288
平均	13	38	38	30	27	23	21	16	8
0	86								86
1	84			1				1	82
2	76								76
3	118							7	111
4	95							4	91
5	92							8	84
6	103					1	1	8	93
7	99				1	2	2	20	74
8	90							23	67
9	104					2	6	25	71
10	84				1	1	8	25	49
11	87					5	4	26	52
12	71					3	7	20	41
13	99				2	5	8	25	59
14	81			2	2	2	8	31	36
15	76				1	8	10	23	34
16	53			1		4	5	25	18
17	67				1	5	6	24	31
18	68			2	2	11	3	27	23
19	66			3		10	13	23	17
20	44				1	6	5	18	14
21	63			2	3	14	13	18	13
22	52			1	3	8	14	15	11
23	52			2	1	12	9	17	11
24	56			4	4	19	14	11	4
25	50			5	5	17	11	12	
26	50			5	7	14	4	15	5
27	51			6	10	13	8	9	5
28	38			2	3	9	10	8	6
29	39			3	8	11	5	5	7
30	31			5	9	6	5	5	1
31	27			3	5	4	6	6	3
32	20			1	2	12	2	2	1
33	15		3	3	1	6	1		1
34	22		2	8	2	5	1	1	3
35	15	1		7	3	2	1	1	
36	13		1	2	2	3	2	1	2
37	14		1	9		1	1		2
38	13		2	4	1	2	1	1	2
39	6		3	2	1				
40	7		2	2	1	1			1
41	5			2	1			1	1
42	3		1	1	1				
43	2			1				1	
44	2		1			1			
45	1		1						
46	1		1						
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									

3 消防団員の年齢

(令和5年4月1日現在)

種別 年齢	合 計	う ち 女 性	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	副 部 長	班 長	団 員
合計	2,391	77	1	18	89	84	225	194	492	1,288
平均	43.6	41.0	70.0	64.9	57.7	55.6	52.2	49.3	45.6	38.4
18										
19	9	2								9
20	7									7
21	9	1								9
22	10									10
23	23	4								23
24	24	1								24
25	32	1								32
26	27	3							2	25
27	27	2							1	26
28	42	3							4	38
29	41	1							2	39
30	34								5	29
31	53	3							5	48
32	50	2					1		5	44
33	62	2						1	4	57
34	68						1	4	12	51
35	61	2						2	5	54
36	61	2							10	51
37	59	1					1	3	10	45
38	67	6					1		13	53
39	66	3						3	21	42
40	92	1					3	8	26	55
41	80						1	3	21	55
42	77	1				1	2	4	19	51
43	77	1					2	9	18	48
44	83	1					5	4	29	45
45	78						4	8	27	39
46	90	3				3	11	12	34	30
47	92	2				1	11	18	31	31
48	91	2			2	2	9	12	37	29
49	79	3				4	19	9	18	29
50	77				3	6	17	19	18	14
51	72	3			6	5	21	9	11	20
52	58	2			4	3	12	5	17	17
53	56	3				5	17	8	10	16
54	53				3	5	13	5	13	14
55	57	2			6	4	12	8	13	14
56	34	5			5	6	2	6	8	7
57	48	2			6	7	10	7	7	11
58	48	1			9	3	15	6	10	5
59	44	2			10	7	8	5	6	8
60	42	3			9	4	9	8	5	7
61	43			2	14	5	6	5	1	10
62	27			2	5	5	4	1	7	3
63	28	1		2	3	5	5	1	4	8
64	23			3	4	3	3	1	3	6
65	2			2						
66	1			1						
67	2			2						
68	2			2						
69	2			2						
70	1		1							
71										
72										
73										
74										

4 消防団員数の推移

(令和5年4月1日現在)

年度	区分	条例定数	現員	前年度比
平成28年度		3,314	2,779	-4
平成29年度		3,314	2,763	-16
平成30年度		2,944	2,737	-26
令和元年度		2,944	2,662	-75
令和2年度		2,944	2,608	-54
令和3年度		2,944	2,581	-27
令和4年度		2,944	2,446	-135
令和5年度		2,944	2,391	-55

5 消防団員の年額報酬

(令和5年4月1日現在)

区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員	
人員	定員	2,944	1	18	89	89	241	218	606	1,682
	現員	2,391	1	18	89	84	225	194	492	1,288
年報酬(円)	—	82,500	69,000	50,500	45,500	38,000	37,500	37,000	36,500	

6 消防団員の出勤報酬

出勤報酬	水火災又はこれらに類する災害の警戒、防ぎょ活動に従事した時	日額	8,000円
	上記以外の警戒、儀式、訓練その他の消防業務に従事した時	日額	4,000円

7 消防団員の公務災害状況

年度	区分	合計	傷病程度別			業務別			
			殉職	重症	軽症	火災	風水害	訓練	その他
平成27年度		3		1	2	1		2	
平成28年度		3			3			2	1
平成29年度		2			2			2	
平成30年度		4		2	2			3	1
令和元年度		4			4			4	
令和2年度		2		1	1	1	1		
令和3年度		2			2	1			1
令和4年度		5			5	1		2	2

8 消防団の出動状況

(長崎市内) (令和4年中)

分団名	団区域火災	消防団火災出動状況		
	発生件数	出動件数	出動台数(他分団区域への出動台数含)	出動延人員
合計	88	38	79	749
団本部	0	0	0	0
中央地区本部	0	1	0	2
1	4	1	2	17
2	2	0	0	0
3	2	1	1	4
4	8	1	1	13
5	4	2	2	35
6	2	1	1	12
7	1	0	0	0
8	1	1	1	14
9	7	2	6	62
10	2	1	1	13
11	0	0	0	0
梅香崎地区本部	0	0	0	0
12	2	1	1	18
13	2	2	5	61
14	0	0	0	0
15	2	0	0	0
16	0	0	0	0
戸町水上	0	0	0	0
17	0	0	0	0
稲佐地区本部	0	0	0	0
18	1	1	1	19
19	1	1	1	13
20	2	2	4	48
21	2	1	1	6
22	0	0	0	0
23	1	0	0	0
旭町水上	0	0	0	0
福田地区本部	0	0	0	0
24	0	0	0	0
25	1	0	0	0
式見地区本部	0	0	0	0
26	1	0	0	0
27	2	1	1	19
東長崎地区本部	0	1	0	3
28	6	2	3	41
29	3	1	4	31
30	0	0	0	0
日見地区本部	0	0	0	0
31	2	1	2	15
茂木地区本部	0	0	0	0
32	0	0	0	0
33	0	0	0	0
34	2	1	6	73

分団名	団区域火災	消防団火災出動状況		
	発生件数	出動件数	出動台数(他分団区域への出動台数含)	出動延人員
35	2	2	6	70
土井首地区本部	0	0	0	0
36	2	1	4	21
37	3	1	4	28
土井首水上	0	1	0	5
深堀地区本部	0	0	0	0
38	1	1	3	20
39	1	0	0	0
三重地区本部	0	0	0	0
40	0	0	0	0
41	1	0	0	0
42	0	0	0	0
香焼地区本部	0	1	0	2
43	0	0	0	0
44	2	2	5	18
45	1	0	0	0
伊王島地区本部	0	0	0	0
46	0	0	0	0
高島地区本部	0	0	0	0
47	0	0	0	0
野母崎地区本部	0	1	0	2
48	0	0	0	0
49	0	0	0	0
50	0	0	0	0
51	1	1	12	60
52	2	0	0	0
三和地区本部	0	0	0	0
53	2	0	0	0
54	0	0	0	0
55	6	1	1	4
外海地区本部	0	0	0	0
56	0	0	0	0
57	0	0	0	0
58	0	0	0	0
59	0	0	0	0
60	1	0	0	0
琴海地区本部	0	0	0	0
61	0	0	0	0
62	0	0	0	0
63	0	0	0	0
64	0	0	0	0
65	0	0	0	0
66	0	0	0	0
その他の海上等	0	0	0	0

出動件数は出動区分に基づき、各分団が実際に出動した件数であり、P8の出動状況とは数字が異なります。

9 消防団格納庫所在地一覧

令和5年4月1日現在

147

分団	部	分駐	所在地	敷地面積 (㎡)	建 物				備考
					建築年月日	構造	建築面積	延面積	
本部			興善町3-1						消防局併設
1			葉山1丁目45-3	167.36	S49.3.30	鉄骨造2F	86.41	167.36	
2			中園町3-6	100.85	S62.7.31	軽量鉄骨造2F	52.25	100.85	
3			川平町1074-17	126.36	H6.3.28	木造2F	74.88	126.36	
4			平野町18-1	166.95	H16.12.2	木造2F	56.09	166.95	自主防災センター
5			万才町1-4	104.00	H9.3.14	木造2F	52.15	104.00	コミュニティ
6			今博多町4-1	255.82	S46.3.31	鉄骨造3F	80.94	255.82	
7			西山2丁目6-5	96.14	S60.3.30	木造2F	52.06	96.14	
	分駐		木場町1579-6	15.40	S42.10.1	木造1F	15.40	15.40	
8			新中川町1-6	99.65	S62.12.16	鉄骨造2F	49.83	99.65	コミュニティ
9			諏訪町7-26	100.05	H9.12.22	木造2F	51.97	100.05	コミュニティ
10			上小島3丁目1-53	101.99	H10.12.1	木造2F	54.61	101.99	コミュニティ
11			寄合町3-56	170.10	S53.3.31	木造2F	89.11	170.10	
12			新地町6-19	173.47	H3.11.30	鉄筋コンクリート造2F	75.94	173.47	
13			松が枝町2-35	99.49	H7.12.1	鉄骨造2F	-	99.49	コミュニティ
14			浪の平町1-29	104.30	H6.12.9	木造2F	52.15	104.30	コミュニティ
15			戸町4丁目10-2	101.90	H25.12.24	木造2F	55.40	101.90	
16			新戸町2丁目1-28	101.90	H20.12.28	木造2F	55.40	101.90	自主防災センター
17			小ヶ倉町1丁目620	129.52	S56.3.30	木造2F	74.87	129.52	
18			城栄町1-10	99.30	S61.11.12	木造2F	49.65	99.30	コミュニティ
19			竹の久保町1-32	99.91	S63.11.30	木造2F	51.89	99.91	コミュニティ
20			曙町5-7	517.15	H15.2.21	鉄筋コンクリート造2F	266.60	517.15	コミュニティ
21			飽の浦町1-47	99.30	S61.2.18	木造2F	49.65	99.30	
22			東立神町7-1	123.84	S39.4.27	鉄コン造3Fのうち2F, 3F	33.32	123.84	
23	1		木鉢町2丁目219	96.89	H15.12.18	木造2F	67.08	96.89	自主防災センター
	2		神ノ島町2丁目302-12	52.17	H27.2.23	木造1F	52.17	52.17	
	3		小瀬戸町1015-7	95.70	S51.3.30	鉄筋コンクリート造2F	-	95.70	小榎合同庁舎
24	1		大浜町850-10	99.36	H12.12.20	木造2F	49.68	99.36	コミュニティ
	2		小浦町859-4	50.16	H1.11.30	木造1F	50.16	50.16	
	3		福田本町1873	50.54	H4.11.30	木造1F	50.54	50.54	
25	1		小江町685-1	49.68	H5.12.8	木造1F	49.68	49.68	
	2		柿泊町692	49.68	S60.2.15	木造1F	49.68	49.68	
	3		手熊町1291-5	100.39	H9.12.6	木造2F	51.68	100.39	コミュニティ
	4		小江原3丁目20-15	49.95	H11.12.21	木造1F	49.95	49.95	
26	1		式見町357	175.32	S58.3.25	鉄筋コンクリート造2F	-	175.32	式見合同庁舎
	2		向町1157	81.44	S51.2.28	木造2F	40.57	81.44	
	3		園田町458	94.77	S57.3.29	木造1F	94.77	94.77	

27	1		相川町940	99.36	S61.12.1	木造2F	49.68	99.36	コミュニティ
		分駐	見崎町	50未満	不明	木造2F	-	50未満	公民館内
	2		式見町47-2	102.17	H6.5.30	木造1F	105.87	102.17	コミュニティ
	3		四杖町126	104.05	S56.3.30	鉄骨造2F	53.11	104.05	
分駐		四杖町1054	50未満	不明	木造1F	-	50未満	(田舎)	
28	1		矢上町24-11	178.95	H13.12.14	木造1F	100.20	178.95	コミュニティ
	2		矢上町50-28	39.70	S63.11.30	木造2F	27.50	39.70	
	3		平間町580-1	52.44	H19.1.31	木造1F	52.44	52.44	
	4		平間町1809-6	52.17	R3.1.29	木造1F	52.17	52.17	
	5		現川町1925-1	52.63	S56.11.30	木造1F	52.63	52.63	
	6		田中町3894-2	50.54	H13.2.27	木造1F	50.54	50.54	
	7		田中町1544	50.50	H4.11.30	木造1F	50.50	50.50	
	8		かき道1丁目8-22	49.68	S60.2.26	木造1F	49.68	49.68	
29	1		松原町2512-1	51.01	S56.2.27	木造2F	25.74	51.01	
	2		古賀町891-6	119.91	S48.12.17	鉄骨造2F	60.12	119.91	
	3		中里町442-4	46.98	H12.3.15	木造1F	46.98	46.98	
	4		船石町581-3	99.48	H1.11.30	木造1F	51.68	99.48	コミュニティ
	5		中里町1769-3	46.17	S55.3.29	木造1F	46.17	46.17	
	6		古賀町1649-1	52.72	H13.12.14	木造1F	52.72	52.72	
30	1		川内町363-1	51.21	H3.12.15	木造1F	51.21	51.21	
	2		上戸石町1529-5	51.06	H7.12.1	木造2F	25.53	51.06	
	3		戸石町1740-4	146.08	S59.2.16	鉄骨造2F	73.04	146.08	
	4		戸石町1668-20	84.04	S57.3.16	木造2F	48.08	84.04	
	5		牧島町753-1	41.31	S55.3.12	木造1F	41.31	41.31	
31	1		芒塚町15-1	70.20	H19.12.20	鉄コン一部木造2F	39.66	70.20	
	2		宿町65	52.43	H4.9.30	木造1F	52.43	52.43	
	3		網場町485-9	115.40	H2.3.31	木造2F	59.64	115.40	
	4		網場町55-1	47.79	S53.12.20	木造1F	47.79	47.79	
	5		潮見町882	49.68	R4.4.15	木造2F	24.84	49.68	
32	1		飯香浦町3449-6	49.68	S52.3.30	木造2F	24.84	49.68	
	2		太田尾町2225-1	52.17	H23.1.14	木造1F	52.17	52.17	
33	1		田上1丁目2-48	102.70	H15.10.10	木造2F	54.61	102.70	コミュニティ
	2		田手原町468-4	40.65	S59.3.21	木造1F	40.65	40.65	
34	1		茂木町165-2	52.27	S56.12.8	木造1F	52.27	52.27	
	2		茂木町1590-132	104.30	H9.3.14	木造2F	52.15	104.30	コミュニティ
	3		茂木町1493-1	41.58	S37.1.1	木造2F	20.79	41.58	
	4		宮摺町963	49.68	H6.12.15	木造1F	49.68	49.68	
	5		北浦町2128-6	120.00	S58.1.10	鉄骨造2Fのうち1F	120.00	120.00	

35	1	千々町269	50.07	S63.11.30	木造1F	55.74	50.07	
	2	大崎町821-4	87.10	S58.2.16	木造1F	87.10	87.10	
36	1	毛井首町96-7	103.68	S52.3.31	木造2F	51.84	103.68	
	2	三和町873-2	46.79	H23.12.15	木造1F	46.79	46.79	
	3	磯道町944-3	58.05	S53.11.10	木造1F	58.05	58.05	
37	1	江川町390-4	52.17	H28.12.21	木造1F	52.17	52.17	
	2	平山台1丁目1-2	101.89	H17.12.9	木造2F	55.40	101.89	自主防災センター
38	1	深堀町2丁目2-2	49.68	S53.3.31	木造2F	24.84	49.68	
	2	深堀町4丁目85-5	49.82	H7.12.10	木造1F	49.82	49.82	
39	1	深堀町3丁目167	99.55	S62.11.20	木造2F	51.20	99.55	コミュニティ
	2	大籠町878-2	41.31	H12.2.9	木造1F	41.31	41.31	
40	1	京泊3丁目22-22	102.06	H13.12.14	木造2F	51.03	102.06	コミュニティ
	2							
41	1	三重町1095-4	12.55	S48.3.31	ブロック造1F	12.55	12.55	(馬場)
		分駐 三重町170-1	10.83	S48.3.31	木造1F	10.83	10.83	(東上)
	2	三重町1095-4	93.40	S58.12.18	木造2F	52.34	93.40	(崎上)
		分駐 三重町1095-4	12.55	S48.3.31		12.55	12.55	(角上)
		分駐 三重町629-1	12.55	S48.3.31	ブロック造1F	9.72	12.55	(角)
42	1	檜山町2804	101.10	H11.12.24	木造2F	57.89	101.10	コミュニティ
	2							
戸町水上分団		戸町4丁目10-2	50.22	H10.12.1	木造1F	52.92	50.22	
旭町水上分団		旭町4-3	53.30	H2.12.20	軽量鉄骨造2F	29.13	53.30	
土井首水上分団		土井首町28	54.43	S57.12.13	木造1F	54.43	54.43	
43		香焼町1070-16(本村)	221.40	H7.3.10	鉄筋コンクリート造2F	116.10	221.40	コミュニティ
44	1	香焼町444-45	105.98	H25.3.8	木造2F	52.99	105.98	
	2							
45	—	香焼町1481-1(尾上)	185.58	H10.3.16	軽量鉄骨造2F	94.50	185.58	コミュニティ
	—	香焼町2721-2(栗之辰)	105.00	H16.2.13	鉄骨造1F	105.00	105.00	コミュニティ
46	1	伊王島町2丁目852	122.50	S49.3.31	鉄筋コンクリート造2F	69.30	122.50	
	2	伊王島町1丁目3271	224.00	H5.3.5	鉄筋コンクリート造2F	112.00	224.00	
	3	伊王島町1丁目1193	79.38	H3.3.31	鉄筋コンクリート造2F	39.18	79.38	
	4	伊王島町2丁目2047-5	97.09	H14.3.25	鉄骨造1F	97.09	97.09	
47	1	高島町1090	52.00	H9.11.1	鉄骨造2F	26.00	52.00	
	2	高島町2706-8	144.96	S42.4.1	鉄筋コンクリート造2F	74.46	144.96	
	3	高島町1728-1	518.23	H9.4.1	鉄骨造1F	487.70	518.23	
48	1	野母崎樺島町1698	41.40	S51.12.23	コンクリートブロック造2F	20.70	41.40	
	2	野母崎樺島町349-1	57.02	S55.2.20	コンクリートブロック造2F	33.42	57.02	
49	1	脇岬町3509-61	94.40	H30.3.13	木造1F	94.40	94.40	
	2							
50	1	野母町533-1	56.00	S63.3.25	コンクリートブロック造2F	30.00	56.00	
	2	野母町2151-5	55.00	S57.3.15	鉄骨造2Fのうち1F	29.73	55.00	
	3	野母町3515-4	55.00	S56.2.28	コンクリートブロック造2F	29.75	55.00	

51	1	高浜町3203-75	72.45	H16.3.31	鉄筋コンクリート造1F	72.45	72.45	
	2	高浜町4334-8	24.00	S58.3.20	コンクリートブロック造1F	24.00	24.00	
	3	脇岬町476-1	44.00	H11.3.30	鉄筋コンクリート造1F	44.00	44.00	
52	1	高浜町2508-3	55.00	S60.3.14	コンクリートブロック造2F	29.75	55.00	
	2	黒浜町823-1	28.00	S62.3.28	コンクリートブロック造1F	28.00	28.00	
53	1	宮崎町1943-4	65.18	H5.12.17	鉄骨造2F	32.59	65.18	
	2	宮崎町70-6	58.50	S53.4.1	鉄骨造1F	58.50	58.50	
	3	川原町2374-2	89.59	H7.12.8	鉄骨造2F	89.59	89.59	コミュニティ
54	1	為石町2020-2	66.00	S63.1.30	鉄骨造2F	33.53	66.00	
	2	椿が丘町2-1	65.15	H5.12.16	鉄骨造2F	32.50	65.15	
	3	藤田尾町349-3	40.60	S50.12.21	鉄骨造2F	20.30	40.60	
	3	藤田尾町458-3	27.00	S61.11.30	鉄骨造1F	27.00	27.00	車庫
55	1	布巻町922-5	54.00	S53.12.20	鉄骨造2F	27.00	54.00	
	2	蚊焼町1654	100.00	S49.10.31	鉄骨造2F	50.00	100.00	
	3	晴海台町41-2	70.40	H3.2.28	鉄骨造2F	39.48	70.40	
	4	蚊焼町4514-3	54.60	S56.12.20	ブロック造1F	-	54.60	
56	1	永田町1953-1	33.00	不明	木造1F	33.00	33.00	
	2	下黒崎町1453	88.38	H5.4.1	鉄骨造1F	88.38	88.38	
	3	上黒崎町680-1	42.00	H12.12.25	木造1F	42.00	42.00	
57	1	新牧野町558	42.00	不明	鉄骨造1F	42.00	42.00	
	2	西出津町134	105.17	H21.12.25	木造2F	53.00	105.17	
58	1	神浦下大中尾町字惣兵衛屋敷西平208番8、208番9、209番5	92.74	R5.3.10	木造1F	92.74	92.74	
	2							
	3							
	3	神浦扇山町字藤川387番1	192.00	不明	木造1F	19.44	19.44	車庫
59	1	下大野町2505-2	26.35	H14.3.25	木造1F	26.35	26.35	
	2	神浦丸尾町1461	21.00	不明	木造1F	21.00	21.00	
	3	神浦江川町2	101.75	H26.2.28	鉄骨造2F	合同庁舎	101.75	神浦出張所合築
	4							
	4	神浦上道徳町205番地	72.60	不明	木造1F	不明	不明	器具庫
60		池島町911-1	40.00	S53.4.1	鉄骨造1F	40.00	40.00	
61		琴海尾戸町400-2	53.00	S49.10.1	鉄骨造2F	26.50	53.00	
62		琴海尾戸町3136-2	55.35	S53.3.1	鉄骨造1F	55.35	55.35	
63	1	琴海形上町1840-2	49.00	S53.3.1	鉄骨造1F	49.00	49.00	
	2							
64	1	長浦町2606-6	80.00	S54.12.1	鉄骨造1F	80.00	80.00	
	2							
65	1	琴海戸根町2612-2	81.98	R2.3.27	木造1F	81.98	81.98	
	2							
66	1	琴海村松町752-1	71.50	H10.12.1	鉄骨造2F	37.00	71.50	
	2							
	3	西海町1859-1		H17.4.1	鉄骨造1F	29.00	29.00	器具庫

第8 広域消防

1 受託町別消防法施行令防火対象物数

(令和5年4月1日現在)

防火対象物の別		町 別	合計	長与町	時津町
		合 計			
合 計			2,134	942	1,192
1	イ	劇場、映画館	1		1
	ロ	公会堂、集会場	6	4	2
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	3	2
	ハ	風俗営業等の規制対象施設			
	ニ	カラオケ、インターネットカフェ等	1		1
3	イ	待合、料理店等			
	ロ	飲食店	49	9	40
4		百貨店、マーケット、物品販売	99	34	65
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	13	3	10
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	681	361	320
6	イ	病院、診療所、助産所	48	28	20
	ロ	老人福祉施設、児童福祉施設等	23	15	8
	ハ	ロに該当しない老人福祉施設、児童福祉施設等	45	21	24
	ニ	幼稚園、特別支援学校	15		15
7		小、中、高校、大学等	62	36	26
8		図書館、博物館、美術館等	2	1	1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場	3	3	
10		停車場、発着場	1	1	
11		神社、寺院、教会	15	8	7
12	イ	工場、作業場	241	55	186
	ロ	映画、テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫、駐車場	23	13	10
	ロ	航空機の格納庫			
14		倉庫	121	35	86
15		前各項に該当しない事業場	253	104	149
16	イ	特定複合用途防火対象物	177	78	99
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	250	130	120
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		文化財施設等			
18		アーケード(50m以上)			

2 受託町別火災予防条例等による届出状況

(令和4年度中)

区 分		届 出 件 数				
		合計	長与町	時津町		
合 計		1,098	475	623		
条 例	23条	喫煙等承認申請	21	5	16	
	51条	防火対象物使用開始届	67	25	42	
	52条	1号	熱風炉設置届			
		2号	炉設置届			
		3号	炉（前号の他、すえ付け面積2㎡以上）設置届			
		3号の2	厨房設備（入力合計350キロワット以上）設置届			
		4号	温風暖房機（入力70キロワット以上）設置届			
		5号	ボイラー、給湯湯沸設備（入力70キロワット以上）設置届	6	4	2
		6号	乾燥設備設置届			
		7号	サウナ設備設置届			
		7号の2	ヒートポンプ冷暖房機（内燃機関入力70キロワット以上）設置届			
		8号	火花を生ずる設備設置届			
		8号の2	放電加工機設置届			
		9号	高圧又は特別高圧の変電設備設置届	11	2	9
		10号	燃料電池発電設備設置届	2		2
		11号	急速充電設備設置届出書	2		2
		12号	内燃機関による発電設備設置届			
	13号	蓄電池設備設置届	4	3	1	
	14号	ネオン管灯設備（設備容量2KVA以上）設置届				
	15号	水素ガスを充填する気球設置届				
	53条	1号	火災とまぎらわしい行為等届			
		2号	煙火の打上げ又は仕掛け届			
		3号	催物開催届			
		4号	水道の断水又は減水届			
		5号	道路工事届			
		6号	露店等の開設届			
	53条の2	指定洞道等の届出				
54条	少量危険物・指定可燃物 貯蔵・取扱届	4	3	1		
規則	7条	たき火等の制限の一時解除許可申請				
消 防 法 関 係	8条	防火管理者選任・解任届	90	29	61	
	8条	消防計画作成届	95	33	62	
	8条の2の2	防火対象物点検報告	46	18	28	
	8条の2の5	自衛消防組織設置届				
	9条の3	圧縮アセチレンガス・液化石油ガス貯蔵・取扱届	14	3	11	
	17条の3の3	消防用設備等点検結果報告	736	350	386	
	36条	防災管理者選任・解任届				
36条	防災管理点検報告					
火災予防規程20条	旅館等に関する意見申請					

3 受託町別消防同意状況（棟数）

（令和4年度中）

町別	区分	合計	新築	増築	改築	修繕 模様替	用途変更	移転
合計		70	50	20				
長与町		24	20	4				
時津町		46	30	16				

4 受託町別危険物施設数

（令和5年4月1日現在）

危険物施設		合計	長与町	時津町
合計		69	31	38
製造所				
貯蔵所	屋内貯蔵所	13	4	9
	屋外タンク貯蔵所	3	1	2
	屋内タンク貯蔵所	2	2	
	地下タンク貯蔵所	12	7	5
	簡易タンク貯蔵所			
	移動タンク貯蔵所	5	3	2
	屋外貯蔵所	1		1
取扱所	給油取扱所	22	8	14
	販売取扱所	3	1	2
	一般取扱所	8	5	3
	移送取扱所			

5 受託町別危険物関係（少量危険物を除く）許認可・届出状況

(令和4年度中)

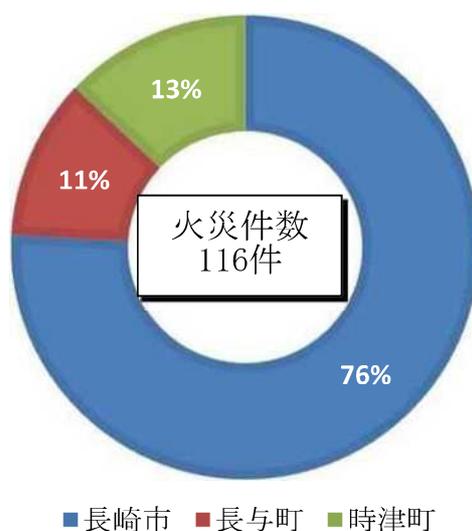
区 分		合 計	長 与 町	時 津 町	
申 請 事 項	計	45	5	40	
	設 置 許 可	1		1	
	設 置 完 成 検 査	1		1	
	変 更 許 可	10	1	9	
	変 更 完 成 検 査	11	1	10	
	仮 使 用	11		11	
	完 成 検 査 前 検 査	水 圧 検 査			
		水 張 検 査			
		溶 接 部 検 査			
	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	1		1	
	予 防 規 程	10	3	7	
	そ の 他 の 申 請				
届 出 事 項	計	32	7	25	
	譲 渡 引 渡				
	種 類 数 量 変 更	1	1		
	用 途 廃 止	2		2	
	保 安 監 督 者 選 解 任	8	2	6	
	名 称 等 変 更	9	1	8	
	使 用 休 止				
	取 下 願				
	変 更 届	12	3	9	
	そ の 他 の 届 出				

6 受託町別火災発生状況

令和4年中

	区 分	合 計	長崎市	長与町	時津町
火災種別	合 計	116	88	13	15
	建 物	64	48	8	8
	林 野	3	1	2	0
	車 両	11	9	0	2
	船 舶	1	1	0	0
	航 空 機	0	0	0	0
	そ の 他	37	29	3	5
火災のうち爆発		0	0	0	0
焼損棟数	合 計	106	83	14	9
	全 焼	33	22	7	4
	半 焼	3	2	0	1
	部 分 焼	22	17	3	2
	ぼ や	48	42	4	2
り災世帯数	合 計	108	94	9	5
	全 損	23	17	3	3
	半 損	2	1	0	1
	小 損	83	76	6	1
り災人員		205	174	23	8
死 者		8	7	0	1
負 傷 者		11	6	2	3
焼損面積	床面積 (㎡)	5,138	3,247	928	963
	表面積 (㎡)	233	221	4	8
	林 野 (a)	5	1	4	0
損害額 (千円)		319,748	228,175	36,434	55,139

市・受託町別火災発生状況

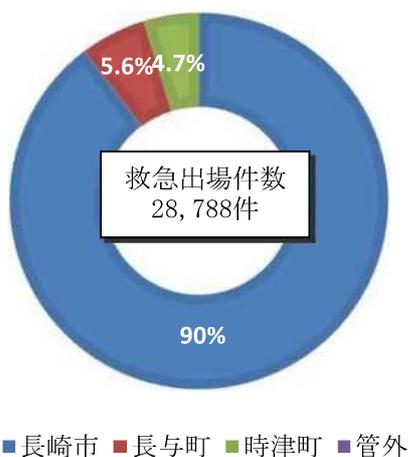


7 受託町別救急活動状況

(令和4年中)

種 別	町 別	合 計	長崎市	長与町	時津町	管 外
合 計	出動件数	28,788	25,817	1,609	1,362	0
	搬送人員	25,117	22,484	1,432	1,201	0
急 病	出動件数	18,597	16,783	1,045	769	0
	搬送人員	15,817	14,253	914	650	0
一般負傷	出動件数	5,026	4,553	272	201	0
	搬送人員	4,578	4,149	247	182	0
交通事故	出動件数	1,044	921	50	73	0
	搬送人員	870	763	43	64	0
自損行為	出動件数	233	211	18	4	0
	搬送人員	157	141	14	2	0
労働災害	出動件数	148	127	10	11	0
	搬送人員	142	123	9	10	0
運動競技	出動件数	100	91	5	4	0
	搬送人員	96	87	5	4	0
加害事故	出動件数	64	60	3	1	0
	搬送人員	46	43	2	1	0
火 災	出動件数	42	26	6	10	0
	搬送人員	9	5	2	2	0
水難事故	出動件数	12	9	1	2	0
	搬送人員	7	6	0	1	0
自然災害	出動件数	1	1	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0
そ の 他	出動件数	3,521	3,035	199	287	0
	搬送人員	3,395	2,914	196	285	0

市・受託町救急発生状

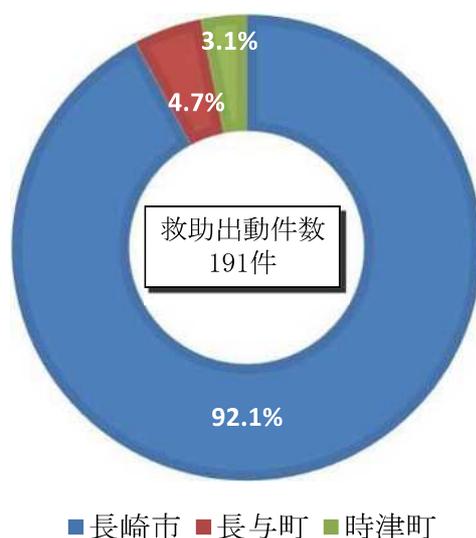


8 受託町別救助活動状況

(令和4年中)

種 別	町 別	合 計	長崎市	長与町	時津町	管 外
合 計	出動件数	191	176	9	6	0
	救助人員	155	143	7	5	0
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	92	88	3	1	0
	救助人員	78	75	2	1	0
交 通 事 故	出動件数	34	31	3	0	0
	救助人員	21	19	2	0	0
水 難 事 故	出動件数	12	10	0	2	0
	救助人員	9	7	0	2	0
火 災	出動件数	7	6	0	1	0
	救助人員	7	6	0	1	0
機 械 に よ る 事 故	出動件数	4	2	1	1	0
	救助人員	3	2	1	0	0
風 水 害 等 自 然 災 害	出動件数	1	1	0	0	0
	救助人員	1	1	0	0	0
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数	1	1	0	0	0
	救助人員	1	1	0	0	0
破 裂 事 故	出動件数	0	0	0	0	0
	救助人員	0	0	0	0	0
そ の 他 の 事 故	出動件数	40	37	2	1	0
	救助人員	35	32	2	1	0

市・受託町救助活動状況



9 受託町別過去10年間の火災発生状況

市町別	年別	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
合 計		110	100	131	104	106	93	91	106	116
長 崎 市		94	95	112	89	93	75	80	94	88
受 託 町 計		16	5	19	15	13	18	11	12	28
長 与 町		9	3	13	5	6	11	5	9	13
時 津 町		7	2	6	10	7	7	6	3	15

10 受託町別過去10年間の救急出場状況

市町別	年別	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
出 場 件 数	合 計	23,640	24,019	24,801	25,741	26,120	25,539	24,517	25,729	28,788
	長 崎 市	21,430	21,855	22,585	23,154	23,477	23,078	22,134	23,249	25,817
	受 託 町 計	2,208	2,162	2,213	2,584	2,643	2,461	2,380	2,473	2,971
	長 与 町	1,101	1,068	1,086	1,323	1,318	1,181	1,210	1,291	1,609
	時 津 町	1,107	1,094	1,127	1,261	1,325	1,280	1,170	1,182	1,362
	管 外	2	2	3	3	0	0	3	7	0

市町別	年別	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
搬 送 人 員	合 計	21,288	21,548	22,322	23,210	23,124	22,483	21,853	22,944	25,117
	長 崎 市	19,329	19,561	20,320	20,864	20,820	20,385	19,740	20,732	22,484
	受 託 町 計	1,957	1,987	2,001	2,344	2,304	2,098	2,110	2,205	2,633
	長 与 町	988	980	981	1,199	1,150	1,017	1,074	1,158	1,432
	時 津 町	969	1,007	1,020	1,145	1,154	1,081	1,036	1,047	1,201
	管 外	2	0	1	2	0	0	3	7	0

11 受託町別過去10年間の救助出動状況

別	年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
合 計		169	204	182	193	222	207	196	195	191
長 崎 市		146	187	164	174	195	189	184	182	176
受 託 町 計		23	17	18	17	27	18	11	13	15
長 与 町		11	6	11	11	15	10	4	4	9
時 津 町		12	11	7	6	12	8	7	9	6
管 外		0	0	0	2	0	0	1	0	0

資料編

1 昭和20年以降（戦後）の主な建物火災

(焼損面積1,000㎡以上、損害額3,000万円以上、死者2人以上、死傷者10人以上)
 (昭和46年12月以降は、焼損面積3,000㎡以上、損害額1億円以上、死者3人以上、
 死傷者10人以上)

建物火災以外については平成8年以降で、損害額1000万円以上

発生年月日	発生場所	原因	り災棟数			り災世帯			焼損面積 (㎡)	死傷者		損害額 (千円)
			全 焼	半 焼	部 分 焼	全 損	半 損	小 損		死 者	負 傷 者	
S20. 12. 13	新戸町(寮)	焚火	11						3,564			540
S20. 12. 27	江川町(造船所)	焚火	19						4,521			1,756
S21. 3. 16	東山手町(学生寮)	焚火	4						2,062			1,500
S21. 10. 25	飽の浦町(造船所)	不明	11						1,059			19,321
S21. 12. 9	上戸町(青年学校)	焚火	3						1,155			700
S22. 4. 23	八幡町(劇場)	たばこ	13			18			1,943			6,340
S22. 4. 24	新地町(飲食店)	不明	35	1		87	1		7,520			30,000
S22. 10. 3	元船町(店舗)	七輪	2						455	2	2	2,292
S22. 11. 15	本古川町(映画館)	漏電	11	3		19	2		4,059		3	12,012
S24. 1. 17	上戸町(学校)	放火	15			1			7,376	7		23,150
S24. 11. 2	万屋町(店舗)	取灰	14		4	20		4	3,450		7	45,645
S25. 3. 11	桜町(事務所)	不明	1						2,079			11,945
S25. 5. 7	立山町(官公署)	不明	4						5,099			70,388
S25. 7. 25	本石灰町(飲食店)	放火	30	6		30	6	2	2,189		3	23,411
S25. 8. 5	飽の浦町(倉庫)	不明	3						4,676		2	200,000
S27. 1. 21	江戸町(材木店)	煙道	7			3	1		1,119		1	19,671

発生年月日	発生場所	原因	り災棟数			り災世帯			焼損面積 (㎡)	死傷者		損害額 (千円)
			全 焼	半 焼	部 分 焼	全 損	半 損	小 損		死 者	負 傷 者	
S27. 11. 25	新戸町(共同住宅)	放火 (疑い)	10			153	1		5,099		6	28,786
S28. 9. 15	五島町(材木店)	不明	21	1	4	12		3	2,692		9	50,000
S28. 12. 23	船大工町(飲食店)	煙突	6			4			1,143		1	24,610
S30. 10. 4	西浜町(店舗)	ガ ス こんろ		1		1		1	22	2		550
S33. 3. 5	愛宕町(小学校)	不明	2		3	1	3	3	2,095		1	7,489
S34. 1. 11	館内町(市場)	取灰	5		2	12			1,040		1	4,740
S35. 8. 28	要町(住宅)	ローソク	20	4	5	31	1	3	3,487		10	36,944
S36. 6. 18	本石灰町(飲食店)	不明	6	3	2	11	3	3	2,037		4	47,089
S37. 4. 22	飯香浦名(住宅)	火遊び	2		1	1			180	2	3	2,000
S38. 4. 5	鍛冶屋町甲(飲食店)	石 油 ストーブ	2		2	2	4		980		8	32,160
S38. 8. 9	西小島町(住宅)	かまど	16	1	7	38		9	1,612		3	28,320
S39. 9. 8	大浦上田町(劇場)	蚊 取 線 香	7	4	1	19	4	1	1,449		5	14,780
S39. 12. 27	西浜町(劇場)	排気筒	1						1,073		2	27,150
S43. 4. 19	幸町(事務所)	たばこ	5	5	2	10	1		1,372		4	31,532
S43. 5. 10	浜町(銭湯)	ボイラー	5	1	6	5		4	5,932		15	216,060
S43. 5. 10	浜町(複合用途建物)	たばこ	1	2		1	2		1,174		16	79,643
S45. 1. 19	岩瀬道町(工場控所)	石 油 ストーブ	1						2,634		1	73,990
S45. 3. 16	富士見町(宿泊所)	風呂 煙突	64	1	3	65		3	2,856		5	51,833

発生年月日	発生場所	原因	り災棟数			り災世帯			焼損面積 (㎡)	死傷者		損害額 (千円)
			全 焼	半 焼	部 分 焼	全 損	半 損	小 損		死 者	負 傷 者	
S46. 5. 11	寄合町(飲食店)	不明	4	1		16		26	1,836	2	8	31,435
S48. 10. 13	金堀町(住宅)	不明	1		4	1		4	100	4		10,963
S50. 3. 24	出島町(倉庫)	焼却炉	6	1	3	8			1,834		2	179,939
S51. 7. 13	西彼時津町(工場)	不明	1						4,672		1	177,096
S52. 12. 26	本石灰町(店舗)	石油 ストーブ	5	1	3			4	1,442		3	147,250
S53. 11. 23	小曾根町(冷蔵庫)	溶断火		1					1,505		20	219,000
S54. 6. 22	扇町(倉庫)	放火	1	1	1				792			210,261
S57. 9. 9	西泊町(鋼業所)	溶断火	1		1				5,247			79,472
S59. 9. 29	元船町(複合用途建物)	こんろ			1				179			108,007
H11. 7. 19	西彼長与町(倉庫)	電気器具 配線		1					1,972		2	104,792
H13. 1. 18	西彼外海町(住宅)	ストーブ	12	1	5	5		1	1,310		2	190,539
H14. 10. 1	飽の浦町(船舶)	不明		1					——			22,240,000
H16. 5. 9	飽の浦町(船舶)	内燃機関			1				——		1	350,000
H21. 8. 1	西彼長与町(建物)	不明	1			1			90	3		3,793
H25. 2. 8	東山手町 (複合用途建物)	電気器具 配線			1			3	52	4	8	3,058
H27. 7. 23	文教町 (店舗併用住宅)	不明	1		2	1		2	192	3		5,796
R3. 6. 18	戸町(船舶)	電灯・電話 等の配線			1				——			126,200

発生年月日	発生場所	原因	り災棟数			り災世帯			焼損面積 (m ²)	死傷者		損害額 (千円)
			全 焼	半 焼	部 分 焼	全 損	半 損	小 損		死 者	負 傷 者	
R4.12.6	油屋町(建物)	不明	3		5	3		22	389	3		8,531

2 長崎県の風水害史

年 月 日	現 象	地 域	被 害 概 要	気 象 要 素
嘉禄元. 8. 15 (1225. 9. 18)	台 風 高 潮	肥 前 国	死者約100名	
寛永年間 (1624～1644)	洪 水	諫 早	大被害	
元禄12. 8. 13 (1699)	洪 水	諫 早	死者 487名	
正徳元 (1711)	洪 水	諫 早	未詳	
享保 6. 7. 28 (1721. 8. 20)	洪 水		死者 46名	
安永 6. 8. 25 (1777. 9. 26)	台 風 高 潮	肥 前 長 崎	死者多数	
寛政 7. 7. 19 (1795. 9. 2)	大 雨 洪 水	肥 前 国	死者26名、流家174戸 破損家190戸	
寛政 8. 5. 26 (1796)	洪 水	諫 早	流失家屋、溺死者あり その他未詳	
文化元 (1804)	洪 水	諫 早	り災者598名	
文化 5 (1808)	洪 水	諫 早	未詳	
文化 7. 3. 6 (1810)	洪 水	諫 早	溺死者 15名	
文化 7. 6. 7 (1810)	洪 水	諫 早	り災者588名	
文政11. 8. 9 (1828. 9. 17)	台 風 洪 水	九 州 山 陰 諸 国	死者71名、潰家3,359戸	
幕末期	水 害		り災者905名	
明治28. 7. 24 (1895)	暴 風 雨	男 女 群 島	行方不明30名	長崎 NE16. 9m/s 72mm
明治37. 8. 20 (1904)	暴 風 雨	県 下 全 域	死者2名、行方不明67名	長崎 S25. 1m/s 35mm
明治38. 7.17～28 (1905)	暴 風 雨	県 下 全 域	死者7名、行方不明6名	長崎 S27. 6m/s 151mm
明治38. 8. 8 (1905)	暴 風 雨	県 下 全 域	死者65名、行方不明20名、 家屋全壊1,311戸、同半壊976戸、 同流失353戸、同床上浸水 853戸、同床下浸水1,471戸、サンゴ 採取船及び漁船の沈没155隻、 乗組員死亡10名、行方不明209名	長崎 SSE30. 9m/s 42mm
明治39.10.22～24 (1906)	暴 風 雨	県 下 全 域	サンゴ船及び漁船沈没173隻、 死者119名、行方不明615名	長崎 N14. 4m/s 26mm
明治44. 9. 7～9 (1911)	豪 雨	諫 早・大 村	死者11名、行方不明2名、家屋 全壊13戸、同半壊39戸、同流失 16戸、同床上浸水370戸、同床下 浸水253戸	大村 374mm
大正 3. 6. 2～3 (1914)	暴 風 雨	県 下 全 域	死者16名、建物流失3,106戸、 サンゴ採取船30隻、遭難64名	長崎 S29. 3m/s 102mm
大正11. 7. 7 (1922)	暴 風 雨	県 下 全 域	死者7名、行方不明6名、家屋 倒壊89名、同浸水30戸	長崎 SSE24. 5m/s 24mm
大正13. 8.19～20 (1924)	暴 風 雨	県 下 全 域	死者15名、家屋全壊680戸、 同半壊264戸、同浸水471戸	富江 SW32. 4m/s 352mm
大正13. 9. 11 (1924)	暴 風 雨	県 下 全 域	死者46名、行方不明9名、 家屋倒壊168戸、同半壊130戸、 同浸水2,221戸	長崎 WSW26. 3m/s 106mm

年 月 日	現 象	地 域	被 害 概 要	気 象 要 素
昭和 2. 9.12～13 (1927)	台 風	県下全域 特に県中部 以南	死者57名、行方不明者3名、 家屋全壊1,479戸、同半壊 1,866戸、同流失314戸、 同浸水13,203戸	長崎 ESE33. 8m/s 187mm
昭和 3. 6.23～29 (1928)	豪 雨	全 県	死者8名、行方不明者1名、 家屋全壊25戸、同半壊31戸、 同流失2戸、同床上浸水 681戸、同床下浸水2,935戸	温泉岳 S25. 5m/s 1,020mm
昭和 5. 7. 18 (1930)	台 風	県下全域	死者47名、行方不明33名、 家屋全壊3,443戸、同半壊 3,363戸	長崎 SSE35. 5m/s 122mm
昭和 6. 7.25～26 (1931)	暴 風 雨	県下全域 特に県中南 部	死者8名、家屋全壊2戸、 同半壊3戸、同床上浸水64戸、 同床下浸水674戸	佐世保 184mm
昭和 6. 9.11～12 (1931)	台 風	県下全域 特に五島、 壱岐、対馬	死者3名、行方不明33名、 家屋全壊71戸、同半壊19戸	巖原 SSW25. 3m/s 83mm
昭和 8. 8. 2～ 3 (1933)	台 風	県下全域	行方不明18名、家屋全壊16戸、 同半壊22戸、同床下浸水126戸	長崎 SSE23. 9m/s 50mm
昭和10. 6.27～30 (1935)	豪 雨 竜 巻	全 県	死者5名、家屋全壊56戸、 同半壊16戸、同流失38戸、 同浸水1,000戸以上	今福 平戸 662mm 480mm
昭和11. 7. 23 (1936)	台 風	県下全域	死者8名、行方不明7名、 家屋全壊648戸、同半壊497戸、 同流失2戸、同一部破損 7,778戸、同浸水682戸	温泉岳 SSE34. 4m/s 262mm
昭和17. 8. 27 (1942)	台 風	県下全域	死者25名、行方不明10名、 家屋全壊2,096戸、同半壊 7,065戸、同流失43戸、同浸水 5,924戸	長崎 WNW35. 0m/s 134mm
昭和20. 9.17～18 (1945)	台 風	県下全域	死者16名、行方不明2名、 家屋全壊206戸、同半壊・流失 212戸、同床上浸水11戸、同床下 浸水240戸	壱岐 NE20. 7m/s 277mm 温泉岳 NW34. 3m/s 256mm
昭和20.10.10～11 (1945)	台 風	県下全域	死者17名、家屋全壊9戸、 同半壊4戸、同流失52戸、同床上 浸水76戸、同床下浸水136戸	温泉岳 NW30. 0m/s 299mm
昭和23. 9.10～11 (1948)	豪 雨	県下全域 特に佐世保 地 方	死者39名、行方不明79名、 家屋全壊34戸、同半壊65戸、 同流失64戸、同浸水5,973戸	佐世保 429mm
昭和24. 8.15～18 (1949)	台 風	県下全域	死者6名、行方不明10名、 家屋全壊26戸、同半壊13戸、 同流失7戸、同床上浸水357戸、 同床下浸水2,780戸	温泉岳 SSW34. 3m/s 696mm
昭和26. 10. 14 (1951)	台 風	県下全域	死者8名、行方不明51名、 家屋全壊1,198戸、同半壊 1,628戸、同流失24戸、 同床上浸水189戸、同床下浸水 1,301戸	福江 NNE22. 9m/s 335mm
昭和27. 6. 23 (1952)	豪 雨	県下全域 (壱岐・対馬 を 除 く)	死者15名、家屋全壊11戸、 同半壊8戸	上波佐見 172mm
昭和27. 9. 8～11 (1952)	豪 雨	県下全域	死者8名、家屋全壊10戸、 同半壊24戸、同床上浸水254戸、 同床下浸水1,384戸	上波佐見 461mm

年月日	現象	地域	被害概要	気象要素
昭和28. 6.25～29 (1953)	豪雨	県下全域 特に県南部	死者21名、家屋全壊148戸、 同半壊320戸、同流失12戸、 同床上浸水6,324戸、同床下浸水 16,285戸	平戸 598mm 佐世保 545mm
昭和30. 4.14～17 (1955)	豪雨	県中部・北 部	死者83名、家屋全壊33戸、 同半壊19戸、同床上浸水394戸	
昭和30. 4. 15 (1955)	豪雨 ボタ山 崩れ	佐世保市 紋珠岳 炭 鉦	死者73名、家屋全壊54戸、 同半壊127戸	佐々 佐世保 473mm 440mm
昭和31. 8.16～17 (1956)	台風 (9号)	県下全域	死者15名、行方不明1名、 家屋全壊1,028戸、同半壊 1,511戸、同流失32戸、 同床上浸水629戸、同床下浸水 2,215戸	長崎 SW26. 1m/s 257mm
昭和31. 9. 9～10 (1956)	台風 (12号)	県下全域	死者21名、行方不明2名、 家屋全壊1,931戸、同半壊 3,138戸、同流失69戸、 同床上浸水934戸、同床下浸水 2,465戸	長崎 SSW21. 4m/s 113mm
昭和32. 7.25～26 (1957)	豪雨	県下全域 (諫早市を 中心とした 大水害)	死者・行方不明782名、 家屋全壊799戸、同半壊2,656戸、 同流失501戸、同床上浸水 10,755戸、同床下浸水19,809戸	島原 842mm 北諫早 715mm
昭和32. 8.20～21 (1957)	暴風雨 (台風7号)	全 県	行方不明14名、家屋全壊19戸、 同半壊24戸、同床上浸水12戸、 道路損壊40件	富江 S25. 4m/s 150mm
昭和34. 7.13～16 (1959)	豪雨	県下全域 特に北松浦 郡	死者9名、行方不明3名、 家屋全壊・流失22戸、同半壊 35戸、同床上浸水668戸、 同床下浸水4,990戸	平戸 S13. 2m/s 628mm
昭和34. 9.16～17 (1959)	台風 (14号)	県下全域	死者14名、家屋全壊1,135戸、 同半壊1,691戸、同床上浸水 3,745戸、同床下浸水7,972戸	富江 SSW26. 7m/s 109mm
昭和42. 7. 5～9 (1967)	豪雨	県下全域	死者50名、家屋全壊328戸、 同半壊438戸、同床上浸水 9,261戸、同床下浸水19,966戸	佐世保 巖原 389mm 376mm
昭和47. 7. 3～13 (1972)	大雨	県中央部・ 南 部	死者5名、家屋全壊37戸、 同半壊44戸、同床上浸水359戸、 同床下浸水6,632戸	巖原 平戸 732mm 646mm
昭和48. 5. 8 (1973)	大雨	長崎市を中 心として県 南 部	死者5名、家屋全壊14戸、 同半壊8戸、同床上浸水524戸、 同床下浸水1,538戸	長崎 196mm
昭和57. 7. 23 (1982)	豪雨	長崎市、諫早 市、三和町、 多良見町、長 与町、時津 町、琴海町、 大瀬戸町、外 海町、飯盛町 (2市9町)	死者295名、行方不明4名、 家屋全壊584戸、同半壊 954戸、同床上浸水17,909戸、 同床下浸水19,197戸	長崎 SW9. 3m/s 448mm 雲仙岳 SW5. 5m/s 482mm
平成 3. 9. 27 (1991)	台風 (19号)		死者5名、家屋全壊158戸、 同半壊2,453戸、同床上浸水 61戸、同床下浸水138戸	
平成5. 8. 16～20 ※平成5年8月豪雨 九州南部中心 (7.31-8.7)	大雨	島原半島 県北	死者2名、全壊家屋1棟、半壊家屋 11棟、床上浸水27棟、床下浸水 156棟、道路損壊8件、山がけ崩れ 27件	佐世保 390. 5mm 72.5mm(1時間最大11時～)

年 月 日	現 象	地 域	被 害 概 要	気 象 要 素
平成9. 10. 14 13:45～14:00	竜 巻	壱岐 郷ノ浦町	死者1名、船舶沈没2、船舶損壊1、 農業被害528万8千円、 水産業被害3,400万円	藤田スケール F1～F2 被害域幅100m 被害域長5.0km
平成11. 6. 29	大 雨	壱岐	死者1名、全壊家屋2棟、半壊家屋 2棟、床上浸水3棟、床下浸水11棟、 道路損壊1件、山がけ崩れ41件	芦辺 257.0mm 95mm(1時間最大06時～)
平成11. 7. 23	大 雨	諫早	死者1名、全壊家屋1棟、 床上浸水47棟、床下浸水106棟、 山がけ崩れ31件	諫早 340mm 101mm(1時間最大09時～)
平成11. 8. 27	大 雨	対馬	死者1名、半壊家屋4棟、 床上浸水116棟、床下浸水234棟、 道路損壊1件、山がけ崩れ25件	豊玉 340mm 75mm(1時間最大21時～)
平成15. 7. 20	大 雨	県中央部	死者1名、全壊家屋2棟、半壊家屋 4棟、床上浸水1棟、床下浸水5棟、 道路損壊6件、山がけ崩れ38件	大瀬戸 200mm 44mm(1時間最大06時～)
平成16. 10. 20	台 風 (23号)	県下全域	死者1名、半壊家屋3棟、一部損壊 9棟、山がけ崩れ4件	佐世保 雲仙岳 49.3m/s 63.7m/s
平成17. 7. 8	大 雨	県下全域	死者1名、床上浸水6棟、床下浸水 27棟	
平成21. 7.19～26 ※平成21年7月	豪 雨 中国・九州	県下全域 北部豪雨※	死者1名、一部損壊家屋5棟、 床上浸水1棟、床下浸水35棟	1時間雨量観測史上1位更新 壱岐市芦辺 103mm (24日16:32まで)
平成28. 1. 24	大 雪	県下全域		24日17時までの積雪量、 長崎市17cm(観測史上最高)
令和3. 8. 13	大 雨	雲仙市	死者3名、全壊家屋3棟	12日 雲仙岳 415.5mm

3 長崎県の被害地震一覧

日本歴	西暦	時間	場所	種別	摘要
貞観2年2月8日	860年3月8日		肥前温泉岳	異状	
正嘉元年	1257年		対馬	地震	
宝徳元年	1449年 夏		対馬	地震	
正保3年12月8日	1647年1月14日		長崎	地震	やや強し
4年3月27日	5月1日		長崎	地震	少しく震ふ
明歴2年9月12日	1656年10月29日		長崎	地震	
11月19日	1657年1月2日		長崎	地震	強く震ひ被害あり家の接目は口を開き、柱及び壁は倒れる
寛文10年8月15日	1670年9月28日		対馬	地震	強く震ふ
21日	10月4日		対馬	地震	おびただしく地震つかまつる
元禄4年閏8月23日	1691年10月14日		長崎	地震	強し
9月21日	11月10日		長崎	地震	強し
13年2月27日	1700年4月16日	10時	対馬	地震	26日家屋壊る 27日城内、民家の石垣も壊る
			壱岐	地震	村里石垣墓所尽くづる 屋宅大半くづる
宝永4年10月4日	1707年10月28日	18時	長崎	地震	大に震ひ 高潮 諸所破損す
			平戸		大地震あり
			佐世保早岐		相当の被害あり
享保10年4月25日	1725年6月5日		長崎	地震	強く震ふ
9月26日	10月31日		長崎	地震	強く震ふ、所々破損す
10月4日	11月8日		長崎	地震	強く震ふ、諸所破損せり
			平戸	地震	破損多し
15年1月24日	1730年3月12日	11時	対馬	地震	大に震ふ
17年9月26日	1732年11月12日	昼夜	長崎	地震	八十余度震ふ
寛政4年4月1日	1792年5月21日	20時	島原温泉岳	破裂	M6.4島原大變 津波発生 死者・行方不明者15,000名
12月3日	1793年1月13日	夜半	対馬	地震	石垣など所々崩る
文政8年8月19日	1825年10月1日		長崎	地震	同23日・24日また震ふ
11年4月13日	1828年5月26日	22時	長崎	地震	強く震ひ。出島の周壁潰る。高島炭坑陥没せり。野母崎にては石の仏像は邸上より海中に転び落ちと言う
弘化2年	1845年8月初旬		長崎	津波	江戸にて風説あり
慶応2年3月～4月	1866年		千々石村	地震	諸所破損す
明治22年7月28日	1889年	23時45分	熊本	地震	M6.3熊本直下の地震 島原半島の眉山で山崩れ
大正4年4月～9月	1915年		喜々津	地震	地震群
11年12月8日	1922年	1時50分	千々石灘	地震	M6.9(1回目)、M6.5(2回目) 〔M6.5、M5.9理科年表〕 死者26名、負傷者39名、家屋全壊654戸 半壊1,428戸(1回目:震度VI)(2回目:震度IV～V)
昭和6年12月26日	1931年	10時42分	熊本県大矢野島	地震	M5.9眉山の一部が崩れた。被害は家・土蔵の壁の亀裂・剥落。 道路の亀裂など
35年5月24日	1960年	6時12分		津波	(チリ地震) 女神の検潮記録 最大全震幅 160cm 大波止記録 最大全震幅 230cm
43年～49年	1968年～1974年		島原半島	群発地震	M4程度。震度IV程度
59年	1984年	17時30分	島原半島	群発地震	8月6日 M5.7、震度V
平成17年3月20日	2005年3月20日	10時53分	福岡県西方沖	群発地震	長崎市震度III 壱岐市震度IV(建物火災1件発生) 死者0名、負傷者0名
平成28年4月14日	2016年4月14日	21時26分	熊本県熊本地方	地震	長崎市最大震度4 (4月16日午前1時25分発生) 南島原市最大震度5強(同上)

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	記事
1571	元亀 2年 3月	大村純忠、家臣の朝長対馬を長崎に派遣し、町づくりを始める。
1587	天正 15年	豊臣秀吉、長崎を公領とする。
1653	承応 2年 7月 17日	稲佐浦で「船たて」中の唐船が焼失する。これ以降、唐船に附町制度を設け、町々が順番で消防その他の警備に当たるようになった。(長崎の消防組織の始め)
1663	寛文 3年 3月 8日	筑後町より出火、折からの烈風により市街の9割までが灰燼に帰す。(寛文の大火) この大火により、消防への関心が高まり、長崎市街の区画を改め道幅を広げる。(都市計画整備)
1672	寛文 12年	寛文の大火以降、その再建に当たって都市計画整備が実施されてきたが、本年完全に整備され、今日の長崎市街の始となる。
1673	延宝 1年	倉田水桶完成する。(水道の始め)
1676	延宝 4年	各町乙町(町年寄の下部組織80人の乙名)の支配により「火の用心水桶」などの消防器具を設け、消防要員を置く。(長崎町火消しの初め)
1689	元禄 2年	「出火の節、町々詰所」の定を令す。(消防出動区分)
1698	元禄 11年	後興善町より出火、2町延焼。(元禄の大火又は末次の大火)
1711	正徳 1年	「火付訴人の不令」の高札が出る。
1718	享保 3年	長崎で「手突水鉄砲」が作られる。
1751	宝暦 1年	蘭人が長崎に「龍吐水」を伝える。
1765	明和 2年 10月	官衛所属の町火消しに「飛水筒」8筒を配布する。
1766	明和 3年 2月 27日	西古川町より出火、16町に延焼(明和の大火)
1767	明和 4年	「初期消火の実施及び消防水利妨害禁止」の定を令す。
1782	天明 2年	米価騰貴し、盗賊、放火が多くなったため、他役人が市街を巡回して盗人や放火を取り締まる。(消防特別警戒の始め)
1787	天明 7年 2月	各町に火事場道具(龍吐水、手桶、水籠、霧口、大鯨、竹梯子、大団扇、火の子消し)を備え付ける。
	7年	出火の際の火消役及び場所詰を制定する。(町火消担当区域及び出動区分)
1804	文化 1年 11月 17日	魯国軍艦乗員の梅香崎上陸地の消防警備(消防特別警備)
1812	文化 9年 11月	町火消担当区域及び出動区分を定め、一町当たりの消防器具も規定する。
1817	文化 14年 10月	組合消防制度が確立する。
1822	文政 5年 12月	町火消担当区域及び出動区分を制定する。
1838	天保 9年 4月 4日	小川町より出火、数10町に延焼(天保の大火又は小川町大火)
1863	文久 3年 3月	非常の際の報知の法を定める。(聖福寺、大徳寺の梵鐘を連打する。)
1868	明治 1年 5月 4日	長崎府が設けられる。
1869	明治 2年 2月	25カ町の有志による篤志消防組合を編成する。
1871	明治 4年	廃藩置県により長崎府を廃止
	4年	長崎、島原、平戸、大村、福江の5県を廃し、新たに長崎県を置く。
1873	明治 6年 6月	浦上瀬村、戸町村の一部を編入する。
1874	明治 7年 4月	長崎区警保課が設けられ篤志消防組を発揮し、火災の鎮圧に当たる。
1887	明治 20年 2月 1日	「火災消防規則」を定め、長崎区内消防組は警察署長が管理することになる。燻屋を整理し、市街区画整理が始まる。
1888	明治 21年 4月 25日	市制及び町村制公布される。
1889	明治 22年 4月 1日	長崎市制施行される。
	22年 4月 22日	本河内高部水道起工される。(長崎市水道創設)
1891	明治 24年 3月	本河内高部水道完成する。
	24年 5月 16日	給水開始される。
	24年 11月	県公布の消防組規定及び編成基準に基づき、長崎市消防組準則を定める。
1894	明治 27年 4月 11日	勅令消防組規則の制定に伴い、長崎消防組が設置され警察の指揮下におかれる。
1900	明治 33年 3月	市域拡張により長崎消防組のほか、梅香崎・稲佐の2消防組を増設する。市内要所に「火の見やぐら」を設置する。
1907	明治 40年 12月 13日	小川兼次郎消防手 火災による殉職
1909	明治 42年 9月 30日	長崎市寄合町と出島埋立地で、3消防組初の消防演習を行った。
1914	大正 3年 1月 23日	藤沢源太郎消防手 歳末警戒中に発病し殉職
1916	大正 5年 5月 1日	長崎市消防組は、市役所高塔詰所で非常警戒開始
1917	大正 6年 6月 2日	長崎消防協会発足
1919	大正 8年	長崎消防に初めて手引きガソリンポンプを購入
1920	大正 9年 3月 6日	柴原喜太郎消防手 消防活動中に殉職
1920	大正 9年 3月 7日	宮崎廣太消防手 火災出動中の交通事故による殉職
1922	大正 11年 1月 5日	井上愨之助消防手 消防訓練中の事故による殉職
1922	大正 11年 11月 18日	鳥越甚助消防手 消火活動により発病し殉職
1924	大正 13年 4月 11日	長崎消防組第1部に常備消防部を置く。
	13年 6月	市役所望楼にモーターサイレンを設置し、火災警報用に使用する。
	13年 9月	警察部に消防主任警部を配置する。
1926	大正 15年 1月 30日	初めて防空演習を行う。
1927	昭和 2年 8月 27日	青山磯吉消防手 消防活動中に殉職
1928	昭和 3年 5月 25日	初めて消防ポンプ自動車を購入
1931	昭和 6年 4月 3日	燈火管制始まる。
1933	昭和 8年 10月 9日	梶原徳三郎消防手 消防活動中に殉職
1935	昭和 10年 8月 13日	水上消防班「旭」進水式挙行

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	記事
1935	昭和 10 年 12 月	水上消防組を設立
1936	昭和 11 年	殉職消防組員招魂除幕式を挙行
1937	昭和 12 年 8 月 1 日	市内に防護団本部を設置
	昭和 12 年 11 月 11 日	最初の空襲警報発令される。
1939	昭和 14 年 4 月 1 日	警防団令施行により消防組を解散、長崎・梅香崎・稲佐・土井首・水上の5警防団に改める。
1939	昭和 14 年 10 月 19 日	金子八百蔵警防員、迫太市警防員 消防活動中に殉職
1940	昭和 15 年 5 月 5 日	松尾芳雄警防員 火災出動途上の交通事故による殉職
1940	昭和 15 年 12 月	市内4地区に常備消防隊を設置
1941	昭和 16 年 6 月	梅香崎・稲佐両警防団に常備消防部を設置
1942	昭和 17 年 10 月 10 日	長崎県防空学校開校
1943	昭和 18 年 1 月 15 日	特設消防署規定により常備消防部を廃止し、警察部の所管のもとに長崎消防署を新設し、同時に松ヶ枝と稲佐に出張所を置く。
	18 年 1 月 15 日	消防官吏の初任教習及び現場講習、消防手の採用試験に関することを処理するため立山町に消防練習所を設置
	18 年 3 月 28 日	長崎市総合防空訓練を実施する。
	18 年 11 月 20 日	消防協力者 河間鷹信 消火活動従事中に殉職
	18 年 12 月 1 日	全国一斉に防水日運動が実施される。
1944	昭和 19 年 5 月 18 日	太平洋戦争激化に伴い長崎消防大隊を編成
	19 年 8 月 11 日	初めて長崎が空襲される。
	19 年 9 月 16 日	防空に関する事務を処理するため、防衛本部を設置
1944	昭和 19 年 10 月 1 日	長崎消防署丸尾出張所開設
1945	昭和 20 年 4 月 5 日	長崎消防署駒場出張所開設
	20 年 7 月 15 日	長崎消防署大橋出張所を開設し、駒場出張所を廃止
	20 年 7 月 31 日	白濱伊勢松部長 消防活動従事中に空襲を受け殉職
	20 年 8 月 9 日	長崎に原子爆弾投下される。大橋町出張所原爆の直撃を受け壊滅。 原子爆弾により166名が殉職
1946	昭和 21 年 5 月 13 日	消防練習所を長崎消防署に併置する。
	21 年 10 月 21 日	全国一斉に火災予防週間が始まる。
	21 年 11 月 3 日	本古川町に家庭消防隊が結成される。
	21 年 11 月 20 日	消防練習所を警察練習所に併置する。
1947	昭和 22 年 1 月	長崎消防署桜馬場出張所開設（進駐米軍司令部警備のため）
	22 年 2 月 18 日	飽の浦町に青年消防隊が結成される。
	22 年 6 月 2 日	火災警報発令制度が制定される。
	22 年 9 月	消防団令の公布により、従来の警防団を解消し、長崎・梅香崎・稲佐・土井首・水上の5消防団に改める。
	22 年 10 月 3 日	田中亦四郎消防士兼警部補 火災出動途上の交通事故により殉職
	22 年 10 月 21 日	長崎防火協会が結成される。
1948	昭和 23 年 3 月 7 日	消防組織法の施行により、消防は警察から分離し、自治体消防に改められる。長崎市消防本部を設置すると共に、長崎市消防署及び長崎市消防訓練所を設置する。消防署は、本署のほか丸尾町・松が枝町・桜馬場町の3出張所、消防団は長崎・梅香崎・稲佐・土井首・水上の5消防団34分団の陣容で自治体消防の第1歩を印した。
		初代消防長 助役黒沢平八郎兼任
	23 年 9 月 24 日	第2代消防長 重橋勇作専任として就任 長崎市消防職員定数条例公布 消防職員191人
1949	昭和 24 年 6 月	救急業務を開始
	24 年 9 月 17 日	長崎市職員定数条例、消防事務部局の定数215人
1949	昭和 24 年 10 月 18 日	西彼長与村との間に消防相互応援協定を締結
	24 年 12 月 10 日	消防本部に予防課を新設（消防・予防の2課制となる）
1950	昭和 25 年 6 月 5 日	長崎海上保安部との間に「長崎港内における船舶火災の消防に関する協定」を締結
1951	昭和 26 年 1 月 31 日	三連梯子付の新消防車購入
	26 年 8 月 1 日	長崎市消防本部を長崎市消防局と改称
	26 年 12 月 1 日	長崎市火災予防・危険物取締各条令公布施行
1952	昭和 27 年 11 月 17 日	水上出張所を新設し、消防艇「白龍」を設置 火災予防運動が年2回春秋に実施される。
1953	昭和 28 年 3 月 3 日	長崎市消防局、国家消防本部長より表彰
	28 年 5 月 4 日	長崎市消防局及び消防署の旗章制定される。
1954	昭和 29 年 2 月 10 日	長崎市消防団7分団に機関員（消防吏員）を配置
	29 年 7 月 17 日	原爆で焼失した大橋町出張所を再建
	29 年 10 月 5 日	消防局新庁舎完成
1955	昭和 30 年 1 月 1 日	福田・深堀の2消防団を加え7消防団46分団2、141人となる。
	30 年 2 月 1 日	日見の消防団を加え8消防団51分団2、284人となる。
1956	昭和 31 年 9 月 28 日	消防局に一斉指令装置を設置
1957	昭和 32 年 8 月 13 日	消防用中短波無線電話局を開設基地局1、移動局5（県下初の消防無線）
1958	昭和 33 年 10 月 20 日	江川派出所を開設
	33 年 10 月 23 日	西彼東長崎町との間に消防相互応援協定を締結
1959	昭和 34 年 9 月 17 日	消防協力者 太田尾民五郎 台風12号による殉職

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	記事	
1959	昭和 34 年 12 月 2 日	西彼茂木町との間に消防相互応援協定を締結	
1960	昭和 35 年 3 月 17 日	初めてはしご付消防ポンプ自動車（16.7m）購入	
1962	昭和 37 年 1 月 1 日	茂木・式見の2消防団を加え、10消防団74分団2、326人となる。	
	37 年 3 月 31 日	長崎市火災予防条例の全部を改正する条例を公布	
	37 年 6 月 5 日	長崎県消防学校完成	
	37 年 12 月 19 日	消防長 重橋勇作 退職	
	37 年 12 月 20 日	第3代消防長 小芦馨 就任	
1963	昭和 38 年 4 月 15 日	救急業務法制化	
	38 年 4 月 20 日	東長崎町の1消防団を加え、11消防団86分団2、819人となる。	
	38 年 6 月 12 日	松が枝町出張所改築落成	
	38 年 11 月 1 日	局組織の一部を改正し、課に係制を設ける。	
	38 年 11 月 25 日	式見地区に市内最初の婦人防火クラブ結成（5クラブ）	
1964	昭和 39 年 1 月 21 日	市内21病院を救急医療機関に指定	
	39 年 4 月 1 日	消防職員16人を増員、条例定員231人	
	39 年 6 月 30 日	県衛生部、長崎市立病院など13箇所を救急病院に指定	
	39 年 8 月 1 日	救急分隊を専務制として設置	
	39 年 8 月 10 日	茂木・日見・手熊各派出所を開設	
	39 年 10 月 1 日	消防団の改編を実施し、3消防団42分団2、047人となる。	
	39 年 10 月	4年計画により消防用中短波無線を短波への切換えが開始される。	
		長崎市全域、未曾有の異常洪水に見舞われる。消防洪水対策非常態勢	
1965	昭和 40 年 4 月 1 日	消防職員4人を増員、条例定員235人 消防団員退職報償金条例を公布	
	40 年 6 月	異常洪水ようやく脱す。	
	40 年 9 月 1 日	式見派出所を開設	
	40 年 12 月 1 日	東長崎派出所を開設	
	40 年 12 月 3 日	化学消防自動車を購入	
	40 年 12 月 3 日	化学消防自動車を購入	
	40 年 12 月 3 日	化学消防自動車を購入	
1966	昭和 41 年 3 月 31 日	消防長 小芦馨 退職	
	41 年 4 月 1 日	第4代消防長 山下儀勇 就任 消防職員4人を増員、条例定員239人	
1966	昭和 41 年 9 月 4 日	日曜日の当番医制度実施	
	41 年 9 月 24 日	満浦寛消防士長 消防活動中に殉職	
	41 年 10 月 22 日	屈折梯子付消防ポンプ自動車購入	
	41 年 11 月 1 日	福田派出所を開設	
1967	昭和 42 年 3 月 28 日	丸尾町、水上両派出所改築落成	
	42 年 4 月 1 日	消防職員12人を増員、条例定員251人	
	42 年 7 月 3 日	消防職員1人を増員、条例定員252人	
	42 年 8 月 8 日	長崎市消防隊の歌を公募。（10月25日入選歌詞決まる。曲は、11月18日公募し、翌年2月26日入選曲決まる。）	
	42 年 9 月 1 日	消防長 山下儀勇 市長事務局へ転出 第5代消防長 西恒就任 局組織の一部を改正、消防課・予防課の2課から総務課・予防課・警防課の3課となり、予防課に危険物係を新設	
1967	昭和 42 年 9 月 25 日	長崎市全域、異常洪水に見舞われる。	
	42 年 9 月 28 日	消防洪水対策非常態勢	
	42 年 11 月 1 日	深堀派出所を開設	
	42 年 12 月	異常洪水ようやく脱す。	
1968	昭和 42 年 12 月 26 日	濱田善生(西)団長 歳末警戒中の交通事故による殉職	
	43 年 4 月 1 日	消防職員11人を増員、条例定員263人 消防団の改編を実施し、1消防団42分団2、047人となる。	
	43 年 4 月 5 日	彦山無線中継局開設	
	43 年 8 月 1 日	大橋町出張所に1個分隊増強	
	43 年 9 月 4 日	高発泡装置を署に配置	
	43 年 10 月 12 日	「毎月10日は防火の日」「毎日10時は消防の時間」を制定	
	43 年 11 月 29 日	3.2m梯子付消防ポンプ自動車を購入	
	43 年 12 月 2 日	初めて自衛消防隊旗及び婦人防火クラブ旗を授与	
	1969	昭和 44 年 4 月 1 日	消防職員16人を増員、条例定員279人
		44 年 9 月 5 日	国体夏季大会消防警備本部設置
44 年 9 月 7 日		第24回国民体育大会夏季大会、県下各会場において開催	
44 年 9 月 10 日		第24回国民体育大会夏季大会閉会	
44 年 9 月 11 日		国体夏季大会消防警備本部解散	
44 年 9 月 28 日		長崎市全域、異常洪水に見舞われる。 消防洪水対策非常態勢（翌年3月4日まで）	

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	年 代	記 事
1969	昭和	44年10月23日	国体秋季大会消防警備本部設置
		44年10月25日	第24回国民体育大会秋季大会、県下各会場において開催
		44年10月31日	第24回国民体育大会秋季大会閉会 国体秋季大会消防警備本部解散
1970	昭和	44年11月1日	長崎市北消防署開設（長崎市中央消防署と2署となる。）
		45年3月	異常洪水ようやく脱す。
		45年4月1日	消防職員16人を増員、条例定員295人
1970	昭和	45年8月14日	県下一円、台風9号に見舞われた。
		45年10月1日	本市消防吏員階級規則に新たに消防副士長制度を採用
		45年11月1日	中央消防署小島出張所開設
		45年11月12日	広報映画『長崎市消防』を製作完成
		45年12月25日	北消防署木鉢派出所開設
1971	昭和	45年12月28日	照明灯付器具車を購入
		46年1月7日	長崎市消防局・本消防団は長崎市長より業績表彰を受けた。
		46年2月10日	長崎市消防団は日本消防協定より竿頭綬を受けた。
		46年4月1日	消防職員16人を増員、条例定員311人
		46年5月1日	中央消防署欠上出張所開設（東長崎派出所廃止）
		46年5月11日	野口義次消防司令補 飲食店火災において人命検索中殉職
		46年9月1日	長崎市消防団に運営費支給開始
		46年10月1日	長崎市消防団弔慰見舞金給付制度実施
		46年12月20日	高発泡車を購入
		1972	昭和
47年3月31日	消防長 西 恒 退職		
47年4月1日	第6代消防長 富田 司 就任 西彼杵郡（時津町・長与町・琴海町・三和町・三重村）の隣接5箇町村の消防事務を受託 北消防署浜田・西海両出張所開設 中央消防署土井首出張所開設（江川・深堀両派出所を合併） 消防職員37人を増員、条例定員348人		
1973	昭和	47年5月1日	北消防署浦上出張所を開設 災害情報自動通報装置を設置
		48年3月31日	三重の消防団を加え、1消防団45分団2、197人となる。
		48年4月1日	消防局警防課に通信係、消防訓練所に教養係を新設し、消防局各課に主任制を設置 消防署に副署長、係制及び主任制を設置 消防職員25人を増員、条例定員373人
		48年9月15日	祭日当番医制度を実施
		48年10月23日	40m梯子付消防ポンプ自動車を購入
		49年3月30日	消防局庁舎4階部分を増築
		49年4月1日	北消防署滑石出張所開設 西彼杵郡（野母崎町・高島町・伊王島町・香焼町・大瀬戸町・外海町）の隣接6箇所の消防事務を受託 中央消防署高島・野母崎両出張所及び伊王島派出所を開設 北消防署大瀬戸出張所及び神浦・池島両派出所を開設 消防職員51人を増員、条例定員424人
		49年8月1日	中央消防署に赤バイ（2台）を配置
1974	昭和	49年9月4日	中央消防署・北消防署の望楼勤務廃止
		49年10月1日	長崎市消防団員共済会制度実施
1975	昭和	50年4月1日	消防職員6人を増員、条例定員430人
		50年8月4日	消防局組織の一部を改正する。予防課の指導係を予防係と建築係の2係とし、調査係を警防課に移設、通信係を通信1・2係とし、消防署の機構を課制とし、予防指導課と警防救急課とした。副署長を廃止した。
		50年10月1日	中央消防署古賀派出所開設
1976	昭和	51年4月1日	中央消防署に救急第2分隊を配置
		51年4月16日	北消防署木鉢派出所を小榎合同庁舎に移設し、小榎派出所と改称
		51年8月19日	第5回九州地区消防救助技術大会を長崎市立商業高校グラウンド（陸上）、長崎市民プール（水上）において開催
1977	昭和	52年2月21日	川原敏夫消防監 火災現場へ急行途上に殉職
		52年3月2日	長崎地域救急医療対策協議会発足
		52年3月31日	消防長 富田 司 退職
		52年4月1日	第7代消防長 馬場三好 就任
		52年6月25日	人員輸送車（マイクロバス）を購入
		52年7月4日	北消防署浦上出張所新築
		52年9月1日	消防局組織の一部を改正し、総務課に企画係を新設

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	年 月 日	記 事
1978	昭和	53年2月	福島勇正 夜景巡視中に気分が悪くなり、意識障害となり殉職
		53年3月5日	自治体消防制度発足30周年記念防火パレード実施
		53年3月29日	北消防署西海出張所新築移転
		53年4月1日	中央消防署小ヶ倉出張所開設 消防職員15人を増員、条例定員445人
		53年10月1日	消防署組織を一部改正、予防指導課に庶務係を新設 予防指導課調査係を警防救急課に移設 消防職員14人を増員、条例定員459人
1979	昭和	54年4月1日	長崎市休日夜間急患診療制度実施 北消防署小江原出張所開設
		1980	昭和
1980	昭和	55年3月10日	救助工作車配置
		55年4月1日	消防職員3人を増員、条例定員462人
		1981	昭和
1981	昭和	56年4月1日	中央消防署茂木出張所開設（茂木派出所を廃止） 消防職員を6人増員、条例定員468人
		56年6月30日	上戸直義団員 土砂災害により殉職
1982	昭和	57年3月1日	中央消防署上井首出張所新築移転
		57年4月1日	長崎市民防火センター完成開館
		57年7月16日	消防艇を神戸より譲り受け「はくりゅう」を命名、前消防艇廃船
		57年7月22日	第11回九州地区消防救助技術指導大会を長崎総合科学大学総合グラウンド（陸上）、県網場プール（水上）において開催
		57年7月23日	長崎大水害、市内の死者・行方不明者262人。（消防団員4名 消防協力者2名殉職） 関幸二郎班長、山口哲夫班長、田尻耕二団員、大野憲二団員、消防協力者 川浪孝博、消防協力者 松本弘
1983	昭和	57年10月31日	消防長 馬場三好 退職
		57年11月1日	第8代消防長 馬場博男 就任
		58年4月1日	中央消防署堂茶屋出張所開設（桜馬場出張所を廃止し移設）
1983	昭和	58年4月19日	北消防署式見派出所新築移転
		58年4月25日	北消防署神浦派出所新築移転
1984	昭和	59年3月31日	消防長 馬場博男 退職
		59年4月1日	助役、宮川雅一 消防長事務取扱
		59年5月1日	第9代消防長 山口秋吉 就任
		59年12月13日	3.2mはしご付消防ポンプ自動車を購入
1985	昭和	60年8月14日	今村寛二消防士長 訓練中の負傷による殉職
		60年9月2日	消防艇の係留場所を元船町より小ヶ倉3丁目柳ふ頭に変更し、水上分隊員は小ヶ倉出張所に勤務
		60年10月15日	第17回九州地区消防剣道大会を国際体育館において開催
		60年11月7日	婦人防火クラブ全国大会を国際体育館において開催
1986	昭和	61年3月7日	化学消防ポンプ自動車（IV型）を購入
		61年4月15日	国際消防救助隊発隊式を公会堂前公園で実施
		61年4月25日	第40回全消会九州支部総会及び九州地区消防職員意見発表会を東急ホテルにおいて開催
1987	昭和	62年4月1日	南消防署開設（中央・北・南の3署体制となる。） 警防課通信指令室を指令課とし、通信第1・2係を指令第1・2係と改称、3課体制から4課体制となる。
		62年10月2日	中央消防署の赤バイ隊（2台）廃止
		62年11月5日	救助工作車（II型）を購入
		1988	昭和
1988	昭和	63年3月31日	消防長 山口秋吉 退職
		63年4月1日	消防職員13人を増員、条例定員481人 第10代消防長 末次 勝 就任
1988	昭和	63年8月2日	昭和63年度九州地区予防広報講習会をセンチュリーホテルにおいて開催
		63年10月19日	第58回全国消防長会財政委員会を長崎東映ホテルにおいて開催
1989	平成	1年3月1日	長崎医師会平日準夜急患診療所開設される。（場所：新地町医師会館内 診療科目：内、小、外科）
		1年3月8日	屈折はしご付消防ポンプ自動車（スカイアームΣ・1.6m）を購入
		1年3月31日	消防長 末次 勝 退職
		1年4月1日	第11代消防長 源 幸之助 就任 局組織規則の一部を改正し、救急救助主幹を設け、警防課に配置、主査を廃止し、消防司令の階級にある司令主任を配置 署処務規定等の一部を改正し、矢上、浜田、土井首各出張所に消防司令の階級にある出張所長を配置
1989	平成	1年6月1日	中央消防署日見派出所を廃止
		1年7月20日	第18回九州地区消防救助技術指導会を油木町旧商業高校グラウンド（陸上）、松山町市民総合プール（水上）において開催
1990	平成	2年4月	ファイリングシステム運用開始
		2年11月14日	はしご付消防自動車（3.0m級）を購入（南消防署）
1991	平成	3年3月31日	消防長 源 幸之助 退職
		3年4月1日	第12代消防長 田平貞夫 就任

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	記 事	
1991	平成 3 年 6 月 3 日	雲仙普賢岳噴火災害に伴い島原市へ応援出動（～9月11日まで） 延人員212人（災害37人、避難所175人）	
		台風19号被災	
1992	平成 4 年 4 月	英会話放送開始	
	4 年 5 月 22 日	初の救急救命士誕生	
	4 年 6 月	長崎市消防局水難救助隊を発足（長崎市中央消防署へ配置）	
	4 年 9 月 29 日	国際消防救助隊 九州地区合同訓練 於：長崎市（～10月2日まで）	
1993	平成 5 年 4 月 15 日	消防局庁舎移転	
	5 年 8 月 13 日	九州地区一般教養講習会 於：長崎市センチュリーホテル	
	5 年 12 月 13 日	はしご付消防自動車（40m級）を購入	
1994	平成 6 年 3 月 1 日	消防緊急通信指令施設運用及び高齢者緊急通報システムを運用開始	
	6 年 3 月 31 日	消防長 田平貞夫 退職	
	6 年 4 月 1 日	第13代消防長 井上良彦就任 中央消防署に高規格救急車を配置、運用開始 消防職員定数改正、条例定数527人	
	6 年 7 月 23 日	「大暑」過去長崎市観測史上最高37.1度を記録	
	6 年 8 月 25 日	「山火事多発警報」を発令（消防局開設以来初）	
	6 年 10 月 1 日	北消防署に救急第2分隊を配置	
	6 年 10 月 3 日	長崎市洪水対策本部、消防局洪水対策本部を設置 （火災件数過去最多を更新）	
	1995	平成 7 年 1 月 1 日	平成6年の救急出動件数が初の1万件を突破（10,109件）
	7 年 1 月 20 日	阪神・淡路大震災に救助隊11名、救援隊5名を派遣（～1月30日まで）	
	7 年 3 月 22 日	消防艇「かくりゅう」を配置。これに伴い、消防艇「はくりゅう」を廃船	
7 年 4 月 25 日	全国消防長会 九州支部総会及び意見発表会 於：ホテルニュー長崎（～4月26日まで）		
7 年 6 月 3 日	緊急消防援助隊結成		
7 年 11 月 29 日	緊急消防援助隊合同訓練（東京都）へ参加		
1996	平成 8 年 3 月 29 日	救助工作車Ⅲ型・支援車を中央消防署に配置	
	8 年 4 月 1 日	局組織を一部改正し、調査課・防災対策室を設け、司令主任を廃止し主査とした。	
1996	平成 8 年 4 月 1 日	消防署の警防救急課を警防1課、警防2課とした。 長崎県防災航空隊発足（長崎市4名、佐世保市4名、島原市4名）	
	8 年 4 月 9 日	画像伝送システム運用開始	
	8 年 8 月 1 日	全国消防長会九州地区消防長研修会 於：セントヒル長崎	
	8 年 10 月 1 日	4週8休を試行	
	8 年 10 月 3 日	全国消防長会74回財政委員会 於：東急ホテル（～4日まで）	
	1997	平成 9 年 1 月 1 日	女性消防団員（20名）を登用
1998	9 年 7 月 1 日	北消防署 手熊派出所を廃止	
	9 年 10 月 1 日	4週8休を施行	
	10 年 2 月 26 日	自治体消防発足50周年記念式 於：原爆資料館ホール	
	10 年 10 月 1 日	中央消防署 古賀派出所廃止	
1999	10 年 11 月 5 日	全国消防長会九州地区 消防実務講習会 於：センチュリオンホテル	
	11 年 3 月 31 日	消防長 井上良彦 退職	
	11 年 4 月 1 日	第14代消防長 坂口敏治 就任	
	11 年 9 月 28 日	第31回九州地区消防職員剣道大会 於：長崎県立総合体育館	
	11 年 10 月 1 日	中央消防署 福田派出所を廃止	
	11 年 10 月 19 日	緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 於：多以良町	
	11 年 11 月 24 日	油木町不発弾処理で900世帯に避難勧告	
	11 年 12 月 31 日	Y2K 2000年問題で年越し 市職員1,200人で警戒体制	
	2000	平成 12 年 4 月 1 日	長崎市防災行政無線システム再整備完了運用開始
		12 年 4 月 1 日	県内初の女性消防吏員（2名）を採用
12 年 9 月 22 日		県内緊急消防援助隊訓練・集団救急事故訓練及び国際消防救助隊訓練実施（長崎市総合科学大学）	
12 年 10 月 1 日		中央消防署に救急第3小隊を配置	
12 年 10 月 12 日		移転に伴う北消防署庁舎工事着工	
12 年 10 月 23 日		緊急消防援助隊全国合同訓練（東京都）へ参加（～24日まで）	
12 年 11 月 28 日		九州地区消防駅伝大会（長崎市総合運動公園）	
2001		平成 13 年 3 月 8 日	救助工作車（Ⅲ型）を南消防署に配置
		13 年 3 月 21 日	消防局データ管理システム運用開始
		13 年 4 月 1 日	長崎市のえり章をリニューアル
	13 年 5 月 9 日	第83回全国消防長会財政委員会 於：ホテルニュー長崎	
	13 年 9 月 1 日	長崎市北消防署（コミュニティ消防センター併設）を大橋町へ新築移転	
13 年 10 月 1 日	特殊災害救助隊発足（長崎市北消防署へ配備）		

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	記 事	
2001	平成 13 年 12 月 25 日	消防局及び各署の電話番号を変更	
2002	平成 14 年 3 月 15 日	長崎市消防局ホームページを新設	
	14 年 3 月 15 日	長崎市北消防署旧庁舎解体	
	14 年 3 月 22 日	消防訓練塔を新設（南消防署）	
	14 年 3 月 31 日	消防長 坂口敏治 退職	
	14 年 4 月 1 日	第 15 代消防長 吉原昭信 就任	
	14 年 12 月 1 日	災害情報のインターネット配信を開始	
	14 年 12 月 24 日	長崎市中央消防署小島出張所新築移転	
2003	平成 15 年 2 月 1 日	長崎市中央消防署松が枝出張所仮庁舎移転	
	15 年 2 月 13 日	30m 災害対応特殊はしご車配備（北消防署はしご車の代替）	
	15 年 2 月 27 日	自治体消防発足 55 周年記念式を長崎原爆資料館において開催	
	15 年 3 月 15 日	北消防署三重出張所を開設	
	15 年 3 月 31 日	消防長 吉原昭信 退職	
	15 年 4 月 1 日	第 16 代消防長 紅露孝也 就任	
	15 年 5 月 8 日	第 57 回全国消防長会九州支部総会 於：ホテルニュー長崎	
	15 年 5 月 9 日	第 26 回九州地区消防職員意見発表会 於：ホテルニュー長崎	
15 年 6 月 25 日	長崎市消防局・中央消防署庁舎建設に係る PFI 導入可能性調査実施		
2004	平成 16 年 3 月 15 日	長崎市中央消防署松が枝出張所新築移転 （中央消防署救急第 3 小隊を松が枝救急小隊へ移動）	
	16 年 5 月 28 日	長崎市中央消防署解体セレモニー開催	
	16 年 6 月 15 日	長崎市中央消防署旧庁舎解体	
2005	平成 17 年 1 月 4 日	長崎市及び周辺 6 町（香焼、伊王島、高島、野母崎、外海、三和）との編入合併	
	17 年 1 月 4 日	新長崎市スタート	
	17 年 1 月 4 日	市町村合併に伴い、長崎市消防団が 1 団、17 地区、63 分団、条例定員 3,066 人となる。	
	17 年 1 月 4 日	長崎市南消防署伊王島派出所において救急搬送業務を開始	
	17 年 3 月	自動体外式除細動器（AED）配置 1 号 中央消防署 矢上救急小隊	
	17 年 4 月 1 日	西部ガス株式会社との連携に関する覚書締結	
	17 年 6 月 13 日	気管挿管認定救急救命士第 1 号誕生	
	17 年 7 月 20 日	第 34 回九州地区消防救助指導会を長崎市宮陸上競技場（陸上）、長崎市民総合プール（水上）において開催	
	17 年 9 月 30 日	長崎市北消防署大瀬戸出張所を閉所（西海市との合併に伴うもの）	
	17 年 10 月 1 日	長崎市北消防署三重出張所へ救急小隊を配置	
2006	平成 18 年 1 月 4 日	長崎市及び琴海町との編入合併	
	18 年 3 月 4 日	長崎市北消防署の救助工作車を代替（高圧噴霧消火装置【インパルス】配備）	
	18 年 3 月 4 日	長崎市中央消防署矢上出張所の救急車を高規格へ代替	
2006	平成 18 年 3 月 31 日	消防長 紅露孝也 退職	
	18 年 4 月 1 日	第 17 代消防長 中川昭明 就任	
	18 年 4 月 1 日	薬剤投与認定救急救命士第 1 号誕生	
	18 年 4 月 1 日	中央消防署高度救助隊が運用開始	
	18 年 10 月 4 日	南消防署三和出張所を開設	
	18 年 10 月 4 日	大串積班長 鬼火警戒中の事故により殉職	
2007	平成 19 年 3 月 20 日	消防局・中央消防署新庁舎完成 総合消防情報システムの運用開始	
	19 年 3 月 26 日	野母崎出張所へ高規格救急車を代替配備	
	19 年 3 月 29 日	消防局・中央消防署完成記念式典	
	19 年 3 月 31 日	市民防火センター解散（閉館）	
	19 年 4 月 1 日	防災体験ひろば一般公開	
	19 年 4 月 17 日	伊藤市長銃撃事件	
	19 年 5 月 11 日	不発弾発見（飽の浦町）	
	19 年 6 月 3 日	不発弾処理に伴う警備	
	19 年 7 月 9 日	市民防火センターを市に寄贈（7/30 付県知事届出）	
	19 年 8 月 1 日	消防団第 3 1 分団 5 部分駐（春日） 廃止	
	19 年 9 月 9 日	救急協力事業所標章交付制度 「救急サポートステーション」実施	
	19 年 12 月 21 日	三和出張所へポンプ車を代替配備	
	2008	平成 20 年 1 月 7 日	消防出初式を実施。今回から分列行進を水辺の森公園で行う。
		20 年 2 月 20 日	自治体消防発足 60 周年記念式・平成 20 年長崎市消防殉職者追悼式を開催
20 年 3 月 14 日		小江原出張所へポンプ車を代替配備	
20 年 3 月 19 日		土井首出張所へ高規格救急車を代替配備	
20 年 3 月 31 日		消防長 中川昭明 退職	

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	記事
2008	平成 20年	3月31日 消防団第29分団4部分駐(上座) 廃止
		4月1日 第18代消防長 寺坂義光 就任
		4月1日 局組織統廃合 総務課(総務係・企画係・経理係 ⇒ 総務係・企画管理係) 予防課(予防係・建築係・危険物係 ⇒ 予防審査係・危険物係) 警防課(警防係・救急救助係・機械係 ⇒ 警防装備係・救急救助係) 消防訓練所 廃止
	平成 20年	4月1日 防災を市長部局へ移管(総務部、防災危機管理室)
		11月14日 全国消防長会九州地区消防長研修会 於:長崎県市町村会館
		11月24日 「ベト岐部と187殉教者列福式」開催に伴う特別警備(ビッグN)
2009	平成 21年	3月31日 消防長 寺坂義光 退職
		4月1日 第19代消防長 菅原 哲 就任
		4月1日 局組織統廃合 予防課(予防審査係・危険物係 ⇒ 予防係・審査係・調査1係・調査2係) 調査課 廃止
2009	平成 21年	11月13日 全国消防長会九州地区総務関係実務研修会 於:長崎県市町村会館
2010	平成 22年	1月1日 消防団第57分団3部及び消防団第57分団4部を廃止し、消防団第57分団2部へ統合
		3月31日 消防団第54分団4部(三和行政センター内) 廃止
		4月1日 局組織統廃合 3署予防指導課 廃止(予防指導課 ⇒ 警防1課 査察指導係) 予防課 予防係・審査係・調査1係(隔勤)・調査2係(隔勤) ↓ 予防審査係・市民消防係・調査係(日勤)
	平成 22年	5月13日 第92回全国消防長会財政委員会 於:ホテルニュー長崎
		6月1日 長崎市中央消防署矢上出張所新築移転
2011	平成 23年	1月1日 平成22年中の救急出場件数が初の2万件を突破(21,191件)
		2月7日 長崎海上保安部との業務連携確認書締結
		3月1日 中央消防署屈折はしご車(中央はしご第2小隊)を廃止 矢上出張所へはしご車(矢上はしご隊)を配備 北消防署へ3.5m級先端屈折型はしご消防自動車を代替配備
		3月14日 東日本大震災の発生に伴い、長崎市消防局から緊急消防援助隊4隊16名が被災地へ出動 (県下10消防本部から長崎県隊19隊68名が出動)
		5月19日 第65回全国消防長会九州支部総会 於:ホテルニュー長崎
		5月20日 第34回九州地区消防職員意見発表会 於:ホテルニュー長崎
		6月16日 旧長崎市消防団車両を被災地宮城県へ引き渡し
9月22日 長崎電気軌道株式会社との連携に関する覚書締結		
2012	平成 24年	1月31日 新型積載車(デッキバンタイプ)を配備
		3月1日 中央消防署の救助工作車を代替
		3月22日 中央消防署砲の浦出張所新築移転
		3月27日 北消防署琴海出張所新築移転
		3月31日 消防長 菅原 哲 退職
		4月1日 第20代消防長 時津哲郎 就任
		4月1日 消防職員定数改正、条例定数512人
		4月1日 南消防署三和出張所の救急車運用開始
		4月10日 長崎大学病院とのドクターカー運用に関する覚書締結
		8月 消防団ヘトランシーバーを配布
		10月1日 北消防署神浦派出所を、神浦出張所へ名称を変更 救急車運用開始
11月2日 南消防署のはしご車を代替		
2013	平成 25年	2月15日 自治体消防発足65周年記念式
		3月31日 中央消防署小幡派出所、南消防署伊王島派出所を廃止
		3月31日 消防長 時津哲郎 退職
		4月1日 第21代消防長 福本恵介 就任
		4月1日 中央消防署砲の浦出張所の救急車運用開始
		5月 市内の全中学生を対象に、スクール救命サポーター育成事業開始
7月19日 第42回九州地区消防救助技術指導会(県消防学校)		
2014	平成 26年	3月25日 北消防署神浦出張所新築移転

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	記 事
2014	平成 26 年 4 月 1 日	中央消防署松が枝出張所へポンプ車（水難救助車併用型）を代替配備
	27 年 3 月 31 日	消防長 福本恵介 退職
2015	平成 27 年 4 月 1 日	第 2 2 代消防長 三谷国弘 就任
	27 年 4 月 1 日	消防救急デジタル無線運用開始
2016	平成 28 年 1 月 22 日	北消防署滑石出張所新築移転
	28 年 3 月 31 日	消防団第 6 0 分団 3 部（池島） 廃止
	28 年 4 月 1 日	外国人からの 119 番通報等に対応するため、多言語通訳委託（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語）を開始
	28 年 4 月 14 日	熊本地震の発生に伴い、長崎市消防局から緊急消防援助隊 2 0 隊 7 9 名が被災地へ出動 （県下 1 0 消防本部から長崎県隊 1 0 0 隊 3 4 5 名が出動）
	28 年 7 月 23 日	高校生消防防災サポーター育成事業開始（～令和元年度）
	28 年 9 月 29 日	中央消防署のはしご車を代替
2017	平成 28 年 12 月 18 日	指導消防団員養成研修を 6 日間実施、1 0 8 人を認定
	29 年 3 月 31 日	消防長 三谷国弘 退職
	29 年 4 月 1 日	第 2 3 代消防長 平石弘行 就任 消防局次長が中央消防署長を兼務（～令和 4 年 3 月 31 日） 長崎市消防団員定数条例及び長崎市消防団組織等規則の改正に伴い、長崎市消防団が 1 団、4 方面隊、1 8 地区、7 0 分団、条例定員 2, 9 4 4 人となる。 消防法令違反対象物の公表制度 運用開始 多言語通訳業務委託に、タガログ語とベトナム語を追加し、7 言語の 1 1 9 番通報等に対応開始
	7 月 6 日	平成 2 9 年 7 月九州北部豪雨の発生に伴い、長崎市消防局から緊急消防援助隊 3 3 隊 1 3 4 名が被災地へ出動 （県下 10 消防本部から長崎県隊 164 隊 536 名が出動）
	11 月 9 日	子どものけがの予防対策 絵本「おうちのアブナカ」発行 保育園、幼稚園、図書館等に配布
	2018	平成 30 年 1 月 19 日
30 年 2 月 3 日		自治体消防発足 7 0 周年記念式
30 年 4 月 1 日		各消防署の警防 1 課に課長補佐を 1 名配置（隔日勤務）
30 年 7 月 30 日		東長崎商工会、三重商工会、長崎南商工会、琴海商工会と消防団活動の充実強化に向けた支援に関する細目協定締結
2019	令和 1 年 12 月 26 日	長崎市消防団員の任免等に関する条例の改正を行い、消防団員の資格要件を拡充
2020	令和 2 年 3 月 31 日	消防長 平石弘行 退職
	2 年 4 月 1 日	第 2 4 代消防長 北村正 就任
2021	2 年 4 月 1 日	消防局組織改正 予防課調査係を廃止し、指揮隊の名称を指揮調査隊へ変更 警防課救急救助係へ日勤体制の救急隊を配置し、運用開始
	2 年 4 月 16 日	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全国一斉に緊急事態宣言を国が発令（～5 月 14 日）
	2 年 4 月 20 日	クルーズ船「コスタ・アトランチカ号」で新型コロナウイルス感染者の大規模クラスターが発生し救急搬送などを実施
	2 年 7 月 1 日	救命率向上を図るため、救命サポートエコバッグを作成
	2 年 7 月 4 日	令和 2 年 7 月熊本南部豪雨災害の発生に伴い、長崎市消防局から緊急消防援助隊 1 1 隊 3 9 名が被災地へ出動 （県下 10 消防本部から 56 隊 175 名が出動）
	2 年 10 月 1 日	西部ガス株式会社と火災予防啓発の連携に関する覚書を締結
	2 年 10 月 9 日	新型コロナウイルス感染症患者搬送用資機材アイソレーターを長崎市で初めて導入
	2 年 11 月	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、防火のつどい中止
	令和 3 年 1 月 7 日	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和 3 年長崎市消防出初式中止 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、長崎市非常事態行動が発令（～2 月 7 日）
	3 年 1 月 18 日	南消防署高島出張所改修移転
	3 年 2 月	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、長崎市消防殉職者追悼式中止
	3 年 3 月 12 日	中央消防署矢上中隊へ消防庁から緊急消防援助隊用車両として無償使用許可を受けた重機及び重機搬送車を配備
	3 年 3 月 22 日	総合消防情報システム更新
	3 年 3 月 25 日	新型コロナウイルス感染症クラスター対策として警防課へ人員搬送車を配備
3 年 3 月 28 日	消防出初式中止に伴い、令和 3 年長崎市消防表彰式を実施	
3 年 4 月 1 日	特殊災害救助隊を南消防署に再編成 指令課の指令 1 係及び 2 係に課長補佐を 1 名配置（隔日勤務） 各消防署の課長補佐を隔日勤務から日勤へ変更	
3 年 5 月 7 日	東京 2020 オリンピック聖火リレー開催に伴う警備（～5 月 8 日）	
3 年 5 月 12 日	中央消防署矢上中隊へ土砂災害救助隊を配置し、運用開始	
3 年 8 月 16 日	火災予防啓発のため、長崎市消防局管内で実際に発生した火災の原因を再現した動画（1 1 9 チューバーヘンリーの恐怖出火体験談）を作成	
3 年 10 月 5 日	消防団員が活動しやすい環境づくりのため、消防庁の委託事業を活用し消防団協力事業所等マップを作成	
3 年 11 月	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、防火のつどい中止	
2022	令和 4 年 1 月 7 日	令和 4 年長崎市消防出初式を出島メッセ長崎で開催
	4 年 2 月	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、長崎市消防殉職者追悼式中止
	4 年 2 月 21 日	WEB 会議システムを活用した救急講習を開始
	4 年 3 月 2 日	職場内の新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、除染等の処置が行えるシャワーブース付きの執務室を中央消防署及び北消防署に整備
	4 年 3 月 22 日	情報収集用活動用ドローン及び映像伝送装置を配備
	4 年 4 月 1 日	長崎市消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例を改正し、報酬の名称、支給単位、金額及び支給時期の見直しを実施
4 年 11 月 1 日	消防体制の見直しの実施（高度救助隊⇒中央特別救急小隊、北特別救助小隊⇒高度救助隊、松が枝小隊⇒水難救助隊、南水上小隊⇒南第 1 小隊）	

4 長崎消防のあゆみ

西暦	年代	記事
2023	令和 5 年 1 月 26 日	南消防署へ消防庁からNBC災害対応資機材として無償使用許可を受けた大型除染システム等を配備
	5 年 4 月 1 日	警防課訓練管理係を新設
	5 年 5 月 1 日	中央消防署蚩茶屋出張所廃止

5 歴代消防長

(令和5年4月1日現在)

歴代	氏名	就任年月日	退職年月日
初	黒沢平八郎	昭和23年3月7日	昭和23年9月23日
2	重橋勇作	昭和23年9月24日	昭和37年12月19日
3	小芦馨	昭和37年12月20日	昭和41年3月31日
4	山下儀勇	昭和41年4月1日	昭和42年8月31日
5	西恒	昭和42年9月1日	昭和47年3月31日
6	富田司	昭和47年4月1日	昭和52年3月31日
7	馬場三好	昭和52年4月1日	昭和57年10月31日
8	馬場博男	昭和57年11月1日	昭和59年3月31日
9	山口秋吉	昭和59年5月1日	昭和63年3月31日
10	末次勝	昭和63年4月1日	平成元年3月31日
11	源幸之助	平成元年4月1日	平成3年3月31日
12	田平貞夫	平成3年4月1日	平成6年3月31日
13	井上良彦	平成6年4月1日	平成11年3月31日
14	坂口敏治	平成11年4月1日	平成14年3月31日
15	吉原昭信	平成14年4月1日	平成15年3月31日
16	紅露孝也	平成15年4月1日	平成18年3月31日
17	中川昭明	平成18年4月1日	平成20年3月31日
18	寺坂義光	平成20年4月1日	平成21年3月31日
19	菅原哲	平成21年4月1日	平成24年3月31日
20	時津哲郎	平成24年4月1日	平成25年3月31日
21	福本恵介	平成25年4月1日	平成27年3月31日
22	三谷国弘	平成27年4月1日	平成29年3月31日
23	平石弘行	平成29年4月1日	令和2年3月31日
24	北村正	令和2年4月1日	在職中

昭和59年4月1日～4月30日 長崎市助役 宮川雅一 消防長事務取扱

6 歴代消防団長

(令和5年4月1日現在)

歴代	氏 名	就 任 年 月 日	退 職 年 月 日
初	森 高 傳	昭 和 43 年 4 月 1 日	昭 和 53 年 11 月 30 日
2	北 村 性 吉	昭 和 53 年 12 月 11 日	昭 和 60 年 2 月 28 日
3	吉 原 源 次	昭 和 60 年 3 月 1 日	平 成 9 年 4 月 25 日
4	池 田 研 治	平 成 9 年 4 月 26 日	平 成 20 年 1 月 20 日
5	寺 田 信 雄	平 成 20 年 2 月 1 日	平 成 29 年 6 月 30 日
6	佐々木真登己	平 成 29 年 7 月 1 日	令 和 5 年 1 月 31 日
7	鉄 川 惠 一	令 和 5 年 2 月 1 日	在 職 中

令和5年8月発行
令和5年版 長崎市消防局消防年報
編集・発行／長崎市消防局 総務課
TEL :095-822-0441
Mail:shoubo_somu@city.nagasaki.lg.jp

